

日本勤労者山岳連盟 第35回総会

「権利としての登山」を掲げて、  
新しい登山文化を創り出そう！

2022年2月19日（土）～20日（日）

会場・ホテルコンチネンタル

## 決議・決定集



日 本 勤 労 者 山 岳 連 盟

## 目 次

表 紙	P 1
目 次	P 2
発刊にあたって	P 3
総会議案 主な目的と主要な課題	P 4
第 34 期下期の活動総括と第 35 期上期の活動方針（1号議案）	P 5～13
<b>2022 年度</b> の全国的な規模の集会・会議予定	P 14
全国連盟規約・規定の一部改定について（第 3 号議案）	P 15～22
労山事故対策基金規定の一部改定について（第 4 号議案）	P 23～29
一般財団法人山岳基金 定款	P 30～32
一般会計・特別会計、新特別基金会計等の決算報告、監査報告、安全対策基金活用状況一覧表等の資料	P 33～ P 50
<b>2022 年度</b> 予算編成方針及び各種予算及び参考資料	P 51～P 57
連盟費一覧表、都道府県別組織推移表、同組織動向表など	P 58～P 62
<b>2021 年度</b> 加盟・脱退団体一覧	P 63～P 64
加盟団体一覧表	P 65～P 75
都道府県別 平均年齢 年代別人数	P 76～P 77
1931 年以前生まれの会員	P 78
栄誉功労章 贈呈者一覧	P 79～P 82
基金無事故報奨金一覧	P 83
リニア署名集計	P 84
労山基金 <b>2021 年</b> の集計	P 85～P 89
<b>2021 年度</b> 事故の概況（事故一報より）	P 90～P 93
第 35 期 全国連盟 役員	P 94
住所・アドレス	P 95
裏表紙	P 96



## 第 35 回総会 決議・決定集の発刊にあたって

日本勤労者山岳連盟  
理事長 川嶋 高志

日本勤労者山岳連盟は第 35 回総会において、アフターコロナの世の中に即した活動を展開するために、若手の役員を積極的に起用して役員体制を大幅に刷新した。その根幹には、進化し続ける情報通信技術を使いこなし組織の継続発展を見据えるという展望がある。平和で民主的な国民生活には登山・ハイキングが欠かせない、という私たちの主張は、広く全世界に普及すべき理念である。この理念のもと、コロナ禍においてもロシアのウクライナ侵攻のニュースが配信されるなかでも、組織の強化・拡大は不可欠であり、会員一人ひとりの力を結集させて一層大きな運動としていきたい。

振り返るならば、第 34 期では、非常事態宣言下であっても、遭難対策部・組織部・メディア局・自然保護委員会・ハイキング委員会・山筋ゴーゴー体操推進委員会では継続した活動が維持できた。反面、登山時報・女性委員会・海外委員会・国際部では活動が制限され、進展の望めない側面もあった。また、日本国内の少子高齢化の影響で、組織数の減少は想定内ではあるものの、若い世代の会員も少しずつではあるが増えてきているという明るい側面も垣間見られている。特に関東・関西の大都市より地方都市で会員を増やしているのは特筆に値する。

今期、登山文化をますます発展させるためには、まず教育体制の充実が必須であると私は考えている。それには、技術的な側面のみならず、仲間づくりや自然保護活動を含め、多様な考えを取り入れて学習する機会を持たなければならない。現在登山では、先鋭的な登山者が多いとは言えない現状にもかかわらず、遭難事故が多発し、登山用具と技術の進化への対応、情報機器の発達による組織形態の変化、温暖化と大規模化する自然災害への備え、など、課題が山積している。

ここで私たちは今一度、会・クラブは何のためにあるのか、地方連盟や全国連盟の役割は何なのか、と自らに問い直す必要があるだろう。分かりやすく整理された登山情報、応用範囲の広い技術教育、死亡事故を防ぐ遭難対策、登山を継続できる生活環境の整備、後世に残すべき山岳自然など、個人で対処できないことであっても、組織を拡大することで可能になることに目を向け、積極的に新しい仲間を迎え入れよう。特に、今秋東京で開催予定の登山研究集会において、今後必要とされる組織のあり方、会・クラブの在り方について、将来に向けて大いに発展性のある議論ができることを期待している。

# 日本勤労者山岳連盟 第35回総会 議案

第35回総会の主な議題は、次のとおりである

- ・ 1号議案 第34期下期の活動総括と第35期上期（2022年度）の活動方針
- ・ 2号議案 第34期下期の財政活動総括と第35期上期の財政方針、予算案の策定
- ・ 3号議案 日本勤労者山岳連盟の規約・規定の一部改定について
- ・ 4号議案 労山山岳事故対策基金規定の一部改定について
- ・ 5号議案 全国役員を選出、その他

今総会の主な目的と主要な課題は、次のとおりである。

- (1) コロナ後の登山界での、組織の強化と拡大を目指す活動について
- (2) 遭難事故を減らす安全登山教育の充実について
- (3) 大規模開発から山岳自然を守る活動について
- (4) 平和な社会で、登山文化を発展させる取り組みについて

## <第1号議案>

### 第34期下期（2021年）の活動総括と第35期上期（2022年）の活動方針

#### 1. 登山をめぐる情勢

##### 1) 登山をめぐる社会情勢

労山創立61年目もコロナで明け暮れる年となった。オリンピック・パラリンピックは強行開催されたが、無観客となり8月の感染者数は1日2万人を超える日もあった。入院することができずに亡くなる人も出て、医療現場は大きな負担を強いられた。9月以降はワクチン接種の効果がでたのか、コロナ感染者数は大きく減少した。

10月、4年ぶりに衆議院選挙が行われ、首相が変わったものの政策に大きな変化はなく、世界的には新しい変異株によるコロナ感染拡大への懸念が広がっている。地球温暖化・気候変動はヒマラヤなどの氷河の後退、豪雨による登山道の崩壊など山岳自然にも大きな影響を及ぼしている。国連で核兵器禁止条約は批准されたが、唯一の戦争被爆国である日本政府はこれに背を向けている。2022年2月に開催される北京オリンピックを前にした米中の対立、ウクライナ問題、シリアをはじめとする難民問題、政治情勢が不安定なアフガニスタン、ミャンマー軍事政権など先の見えない状況にあり、平和と登山について真剣に考えていかなければならない状況にある。

##### 2) 国内登山の情勢

アウトドアスポーツはコロナ感染拡大の中で、対策を講じながら動き出している。夏山シーズンにコロナ感染者数が急増したが、山小屋など宿泊者を制限しながらも営業を継続、テント場や登山口の駐車場などは一杯となっているところも多く、遭難事故の報道からも2020年より登山者数が増えていることがわかる。

初めてオリンピック競技としてクライミングが行われ、女子は銀と銅のメダルを獲得した。無観客開催だったこともあり世間的な注目は今一つだったが、室内ジムの開業やスポーツゲレンデでの混み具合から、クライミングをきっかけとした山の世界への入り口が拡大したことは間違いない。

##### 3) 労山のコロナ対応

コロナ感染拡大のため全国雪崩講習会、全国登山研究集会、全国自然保護担当者会議、全国女性集会などは中止または延期となった。他の全国行事も規模を縮小しZoomによる参加を取り入れ開催することになった。特に組織部は延期した全国登山研究集会のプレとして、課題を見つけるために8回にわたりZoomを利用した課題別講演会を開催した。会議や集会でのZoomの活用が情報を共有するために、大きな手段となることが明らかになった。

#### 2. 労山各分野の活動

##### 1) 組織強化・拡大

労山の会員数は2021年11月末の組織調査で577団体、17106名となり、前年に比べて7団体減。444名の会員減となり、脱退の会・クラブは10団体だった。2019年末の会員減少520名、2020年末の会員減少719名と比べると、年間減少会員数が少し落ち着いてきた。組織数が減らなかった道県連盟が20あり、その中で15道県連盟が会員数を増やしている。会員減となった会・クラブを調べてみると、「脱退」、「ハイキングクラブ」「高齢化会員の退会」、「もともと少人数で会員が増えなかった会」等である。

「第34期第1回評議会議案書資料加盟団体一覧表(2020年11月末日現在)」によると、110の会・クラブが会員を増やしていたことがわかった。この会員増の会・クラブに焦点を当てて組織拡大の「アンケート調査」を実施した。組織拡大に優れた会・クラブの拡大経験などを調査し、集め、地方連盟全ての会に組織拡大への取り組みの資料として発信することにした。なお昨年、全会員配布の「労山ニュース」に北海道央スマイルマウンテンクラブの「コロナ禍でも会員は増やせる」や、埼玉県連大宮労山等の取り組みを配信した。これも併せて参考にして欲しい。

予定していた全登研集会は「中止」したが、労山の魅力を広く伝え、様々な活動を紹介する、「プレ全登研・課題別講演会」を開催した。時代の変化への対応として、会員にオンライン・ZOOMを身近に駆使することにもなった。オンラインの着眼・取り入れは、集会も講座も「オンライン」で行えることがわかりこれからの労山の活動形態に大きな示唆を与えた。

また、ジェンダー平等の立場から、女性会員が積極的に評議員、代議員への参加をしていただくように地方連盟に呼びかけた。

## 2) 遭難対策の現状と課題

### ①国内の山岳遭難概況

2020年の警察庁による山岳遭難者数は2,294名。発生件数・遭難者数共に減少している。緊急事態宣言など山に行けない期間があった事が原因と考えられる。死者・行方不明者も278名となり減少しているが、高止まりの状況で推移している。死亡・行方不明278名の内37名が行方不明で前年同様の状況が続いている。負傷者974(36.1%)、無事救出者1,445人(53.6%)。2020年は、コロナ渦の影響で相次いだ緊急事態宣言が登山者の減少に繋がったが、遭難者のうち60歳以上が1,350人と全体の50.1%。死亡・行方不明では60歳以上が203人と全体の73.0%を占めている。40歳以上の中高年の登山志向は継続し、こうした傾向は過去5年間変化がなく65歳以上の前期高齢者の遭難者数も増加傾向にある。遭難の原因は、道迷いが最多で1186人(44.0%)で、滑落、転倒、病気、疲労、転落が続いた。2020年は、滑落の事例が多かった。野生動物による襲撃も39人いた。

### ②労山内の山岳遭難概況と対策

2021年は死亡・行方不明者が4名と、このコロナ渦の中では2021年より1人減少した。事故件数は258件、事故者数は269人でコロナ渦の状況下でも増加した。昨年の事故者数236名を超え、この10年で2番目に少なくなったものの、登山活動は緊急事態宣言下の中でも感染対策を行い続いていたと思われる。

2019年とコロナ渦の2020年での年代別の事故者数は、60代・70代以上の減少が明らかになった。2019年は、60代108名・70代以上95名。2020年は、60代81名・70代以上42名であり70代以上では半数以下となった。2021年は、60代107名・70代以上60名と増加した。

遭難対策部会での行事・集会について「全国雪崩講習会」を省いて、7月の「全国救助

技術交流集会」、9月の「遭難対策部員研修会」、10月の「若手クライミング講習会」、11月の「全国登山学校担当者交流会」予定通りの開催ができた。

「全国救助技術交流集会」は、福岡県連が主管となりはじめてドローンによる搜索訓練や搜索事例・運用状況の紹介など事故を起こしても命を落とさず助ける技術や知識を学べたと好評であった。参加者は、59名。「遭難対策部員研修会」は、2021年8月に北海道小樽市赤岩で起きた登攀事故の検証を行った。事故の多いゲレンデでの壁の状況や事故の様子を事故現場で聞き、具体的な内容が見え登り方や、より慎重な行動の確認を行う必要を感じ、今後の遭難対策部会の取り組みに繋げる機会となった。参加者は、北海道連盟の役員を含めて12名。「若手クライミング講習会」は、天候に恵まれ参加者の希望に沿った講習会になったが、技術レベルの向上だけではなく登攀で扱うロープをはじめとする各種のデバイスの知識を学べる内容にするには時間的な制約があり今後の課題となった。参加者は、講師も含めて20名。

「全国登山学校担当者会議」は、兵庫県連の主管で開催された。各地で開催されている登山学校の状況や課題等が持ち寄られ参考になる内容や今後の課題が整理できたとの声もあった。また、現地の兵庫県連の配慮で野外での交流会は、久しく出来なかった事もあり好評であった。翌日の交流登山も参加者全員が雪彦山の登攀に参加し快晴の中、無事に終了できた。参加者は、31名。その他の活動として、各県連での講習会・研修会・「MFAプロバイダー養成講講座」に遭難対策部員や全国理事を講師派遣し遭難対策活動を行った。

### 3) 自然保護活動

#### ①全国一斉クリーンハイク・清掃登山

クリーンハイク・清掃登山活動は、2年続きのコロナ禍、首都圏や大都市では緊急事態宣言や、特別措置法の適用で県内でも密を避ける必要があり自粛・中止が大半であった。そんな状況下、24の地方連盟107の会1439名の会員が参加し実施された。全体としては132コース・1439名の参加者で、収集量は可燃ごみ454kg、不燃ごみ456.4kg、合計910.4kgであった。

#### ②全国自然保護講座の開催

第24回全国自然保護講座を京都府連盟主管で、「北陸新幹線巨大隧道工事と山岳自然」をテーマに開催し38名(女10名、男28名)が参加した。地方連盟からは、太陽光発電(徳島県連)、登山道整備(栃木県連)、南アルプスを壊すリニア問題(静岡県連)、圏央道高尾山トンネル(東京都連盟)の報告があった。

③全国自然保護担当者会議は、コロナ禍、第5波のため自粛中止とした。

④「リニア新幹線で南アルプスの自然を壊さないでください」の署名目標数は3万筆を目標に取組んできた。これまで2回の国会請願を行った後、集約数は1万6千782筆(2021/11末現在)と伸び悩み頭打ちの状況である。

### 4) ハイキング分野の活動

6月26日(土)オンラインで「全国ハイキング活動者会議」を開催した。全国34団体・38名が参加。①1980年代前後のハイキングクラブがあちこちで創設され、飛躍的に拡大した時期、雪山やクライミングをめざす仲間との組織的矛盾を我々は趣意書の確立や規約改正の議論の中で克服してきたことを再確認した。②総合山岳会で雪山技術をハイカーに教

えることで、ハイカーの山行範囲を広げ、同時に会員拡大もできたこと③コロナ禍の中でも年間 300 回以上の山行を実施して、会員減を食い止めてきた大型ハイキングクラブの経験④この会議に向けたアンケート（108 団体回答）で 81%の会・クラブがコロナ禍の中会員を増やしていたことなどが報告・確認された。

11 月 27 日（土）西日本で行う予定の「全国ハイキング交流集会」は全国事務所を中心にオンラインで開催した。この集会には 26 団体 30 名が参加。冒頭、白神山地の魅力を写真家・原田勇成さんに語ってもらった。討論のはじめに千葉県連盟がハイカー向けに行った「コロナ禍の山行等のオンライン講習会」の経験が発表された。この取り組みは山行自粛など厳しい情勢の中で多くの会員を励まし、今後の活動へとつながる内容であった。その後の交流・討論では「例会はハイブリッドが当たり前、入会の年齢制限は？」など多くの発言があった。

## 5) メディア局

### ①機関誌「登山時報」の発行について

コロナ禍で会・クラブの月例会（定例会）が 2020 年から改善したとはいえ、依然として開催されなかったことから、会員に届く手段が失われ時報が届かない状況が生まれた。また、前年のHPへのリアルに掲載することの反省を踏まえて、従来通りに 3 カ月後に登山時報をHPにアップし閲覧できるようにした。しかし、コロナ禍で得た教訓は、これまでのように紙媒体で購読団体に送付するやりかたから、登山時報の発行と同時に会員に迅速に見られるように電子媒体で送付し購読できる体制が求められている。会員のニーズに応えられないまま購読数の減少が続き、団体購読は 2021 年 10 月に大台の 2000 部を切る状態となった。

### ②「ろうさんニュース」の発行について

労山ニュース第 40 号（5 月）、労山ニュース第 41 号（12 月）を発行した。

### ③「全国連盟メールニュース」：第 49 号から 52 号まで 4 回タイムリーにニュースをネットで発信した。

### ④ J W A F 公式ホームページ：適宜ページの更新を年間約 60 回行なった。

全国連盟ホームページの訪問者数は、2021 年の年間訪問数は約 18 万人とコロナ禍の影響ではあったが、HPが刷新されたこともあって現状維持した。それでも多い月は 6 月の約 2 万人、大体 18,000 人前後が平均して訪れている。

閲覧ページのトップスリーはトップページの最新情報、労山基金、各会・クラブのページがよくみられている結果となっている。

なお、ホームページから投稿された問い合わせメールは、全部で 220 件、労山基金に関するものが 90 件、次が一般的な事柄・事務連絡が 75 件、次いで登山時報、ホームページに関する順となっている。

## 6) 機関誌委員会

### ①「登山時報」の購読者の減少は、2019 年 10 月号が 2625 部、2020 年 10 月号が 2373 部、2021 年 10 月号が 2080 部とこの 2 年間で 545 部減少し、減少は加速している状況にある。

### ②第 34 期第 1 回評議会では、一般財源からの投入を抑えるために、「2021 年は、登山時報の

発行費用を極力抑える」こととしたが、大幅な赤字を出すことになった。

③機関誌である「登山時報」の発行の諸問題を検討する機関会議として、6月に地方連盟に呼び掛けて「全国機関誌会議」を開催、評議会決定に基づいて議論した。その後、全国理事・役員6名、地方連盟の希望者6名で検討委員会を発足させ、3回の会議を経て、全国労山の機関誌・紙のあり方について35回総会に全国労山の機関誌・紙の在り方等について提案することとした。

## 7) 女性と登山

「女性委員会の再編成については、引き続き検討していく」ことになっていたが、再編成には様々な困難があった。それは、全国労山の委員会の責任者にふさわしい全国理事を見いだせなかったことである。

「全国女性集会の開催を検討した」が、コロナ禍によって開催を中止した。地方連盟の意見を聞くために、アンケートを実施、13地方連盟（女性委員会がないところ5地方連盟）からアンケートへの回答が寄せられた。

アンケートの内容は、一昨年 of 女性担当者会議で出された「携帯トイレ普及」、「女性委員会の名称」問題、女性と登山」の対策等についてだった。

地方連盟に女性委員会・女性ネット・女性部などの名称があるのは、約35%前後（2017年の女性委員会の調査と今回のアンケート調査によるもの）で、主な活動は、交流山行、山筋ゴーゴー体操普及、ロープワークの学習、地方協議会の搬出訓練に参加などである。

山のトイレ問題については、ごく一部に「それは自然保護委員会の問題」という意見もあった。アンケートでは、やく50%が、①山のトイレ問題で質問され、②トイレに行かないように水分を控えている、③下山するまでおしっこを我慢している一状況にあった。

「女性委員会」の名称問題では、このままでよいと答えたのが8地方連盟（この内女性委員会がないのが4地方連盟）、名称を変えたほうがよい、と答えたのが5地方連盟であった。「女性と登山」対策の委員会に、「男性も入れるべき」と答えたのが6地方連盟、「女性だけがいい」と答えたのが5地方連盟だった。

## 8) 国際活動

- ・アジア山岳連盟の会議は今年度も中止となった。会長を輩出している韓国からはホームページへの投稿依頼、ネパールからはメールでの近況報告が届いているが、カザフスタンでは山岳団体活動ができないという連絡も届いた。

## 9) 海外委員会

- ①海外登山計画書は、コロナ関連で渡航が難しく数件であった。
- ②外務省のホームページから渡航の安全について、パキスタンなど案内をした。
- ③海外委員を各地方連盟から選出、委員会を開催できなかった。

## 10) 山筋ゴーゴー体操推進委員会

### ①山筋ゴーゴー体操の普及活動

北海道央連盟、大阪府連盟、長野県連盟、埼玉県連盟の主催で4回、開催された。新た

にDVD使用を講習内容に取り入れた。

#### ②サポーター養成講座の開催

12月11(土)～12日(日)に全国連盟主催で開催した。受講生3名で、長野県1名、埼玉県2名のサポーターが誕生した。

#### ③山筋ゴーゴー体操Tシャツ、冊子の普及販売活動

### 11) 登山界の共同の活動

全国山の日協議会からは新理事長となった梶正彦氏が労山事務所へ来訪。第5回「山の日」記念全国大会が大分県九重町で開催され、全国連盟から4名と大分県連の会員が参加した。日本雪崩捜索救助協議会(AvSAR)では2月(群馬県谷川岳山麓)と3月(長野県栂池高原)に上級コースを開催。労山から2名がスタッフとして参加。

### 12) 他団体との共同行動、新日本スポーツ連盟など

- ・5月10日に新宿の保険医団体連合会事務所で1年4か月ぶりに「共済の今日と未来を考える懇話会」を開催。近況について懇談した。
- ・新日本スポーツ連盟が事務所を移転。11月16日に労山から三役6名が新日本スポーツ連盟の新事務所を訪問して役員懇談会を開催した。近況の報告とスポーツ庁への要望などについて懇談した。

## 3. 各分野の活動方針

### 1) 組織強化拡大をめざす取り組み

- ①地方連盟との情報交換を密にし、組織拡大を推進する。
- ②全国登山研究集会を開催する  
日時：2022年10月29日(土)～30日(日) 場所：コンチネンタルホテル府中  
規模：100名
- ③Zoomでのミニ講演会・HP講習会を開催する
- ④新たな発想の下に、会クラブが誕生している。情報収集等部員の学習・研修を持つ。

### 2) 遭難事故防止の活動と教育活動

- ①地方連盟の遭難対策活動を支援  
気象・読図・運動生理学・緊急連絡体制他、講師派遣を継続して充実させる。
- ②教育体制の充実
  - ・全国遭難対策担当者会議を開催し、地方連盟での安全登山教育体制を強化する。
  - ・中央登山学校「雪崩講習会」、「MF A講習会」を充実させ継続開催する。
- ③健康管理
  - ・年代による心身の特性を知り健康状態の把握、健康づくりの必要性を啓発する。
  - ・「山筋ゴーゴー体操講習会」の開催を促進していくために、サポーターの養成を推進してインストラクターの育成につなげたい。
- ④遭難対策に役立つ各種団体・会議・学会に継続して参加

「日本山岳サーチ&レスキュー研究機構」、「全国山岳遭難対策協議会」、「日本雪氷学会」「日本山岳文化学会」、「日本イカール委員会」などに参加する。

#### ⑤遭難事故の原因分析

労山内外の山岳遭難事故の情報を収集・分析して、その結果を普及・活用していく。

⑥クライマーの交流によるレベルアップ・安全意識向上支援、若手クライミング講習会の開催を継続し、登山技術についての交流会も検討する。

⑦各都道府県連盟登山学校担当者の交流・情報交換・地方連盟での登山学校運営の課題や安全対策について、現状を把握する。

⑧ココヘリ労山捜索隊の編成組織による研修会を開催し、救助活動のより円滑な体制を確認する。

#### ⑨遭難対策部員の研修会

各地で登攀や沢登りに関する墜落・転落・溺死等の事故が発生している。事故の検証と遭難対策部員の技術レベルアップを目的とした研修を開催する。

### 3) 自然保護活動

地球規模での温暖化や自然破壊が進むなか、新型コロナ感染拡大が世界を席卷している。日本をはじめ、それぞれの国で貴重な自然を守る運動と脱炭素社会への実現が、ますます重要な課題となっている。自然保護憲章の第1章「登山活動をとおして、自然を見る目を養い、自然の変化を捉え、山と地球規模の環境保全に寄与します」との自然保護の原点を軸に、以下の活動を実施していく。

①全国一斉クリーンハイク・清掃登山を、5月29日及び6月5日に実施していく。

②第25回全国自然保護講座を開催する。

③第21回全国自然保護集會を開催する。

④南アルプスの自然や環境を破壊する「リニア中央新幹線建設」に反対していく。

⑤山岳自然を破壊するメガ風力発電・メガソーラー建設など、自然破壊や健康被害を伴う計画に対し、地元地方連盟と連携しその実態把握と問題点を公表していく。また反対署名活動などにも協力していく。

⑥ライチョウ保護の立場から、引き続き登山者からの「目撃情報」を写真や動画等で収集し実態把握に努める。また、結果を研究機関や自治体関係機関に提供していく。

⑦「排泄物で山を汚染しない」ことの実践として、携帯トイレを携行し活用を図るとともに「使用紙」の持ち帰りを徹底していく。また、トイレブースや回収ボックス設置について環境省や自治体に要請していく。

⑧山岳団体自然環境連絡会で、それぞれの自然保護活動について情報交換し、交流をしていく。

### 4) ハイキング委員会

①委員会活動強化のため広域委員数名を確保する。基本的に委員会はオンラインで実施するが、全国総会・評議会開催時を含めて可能な範囲での対面での委員会を開催に努力する。

②コロナウイルス感染状況にもよるが9月西日本で「第23回全国ハイキング交流集會」を実施する。

この集会では「登山の社会的文化的価値」を前面にかかげ、「総合山岳会内でのハイキング活動のあり方」「高齢化に伴う山行や入会年齢のあり方」など当面する課題に正面から議論・交流に取り組む。

③大型ハイキングクラブ内で「山筋ゴーゴー体操」など、高齢会員が安心して山行を続けられる取り組みの実施を進めていく。

④ハイキングの安全対策のひとつとして「スマホアプリを活用」した地図読み等の研究を進め、「ハイキングABC」「ハイキングセカンドステップ」の改定にも反映させる。

## 5) メディア局

①2022年度も引き続き、登山時報の毎月発行、ホームページの日々の更新作業を行う。

②全国連盟・メールニュース：2カ月に1回の発信を目安に継続し、労山ニュースを発行する

③登山時報は登山時報紙媒体と電子登山時報の2本立てとし、HPから無料で登山時報全部が購読できるようにはなるのは発行時期から3カ月遅らせてHPに掲載する。

誌面の充実に向けては、ネットアンケートで得られたデータを参考に検討していく。

具体的には、2015年に「労山組織基本問題調査会」から答申を受けた「魅力あり、興味のわく会活動・新入会員の紹介や山行ガイドを投稿させる」ことを基本にし、企画特集として山岳中の事故事例、特に遭難対策事故の実例の掲載を充実させる。併せて山岳中における事故補償、労山基金の山岳保険と比較した場合の優位性、花特集、岩山特集、紅葉などは相変わらず関心が高くアルパイン層向けの記事とバランスをとった特集を組んでいく。

④労山ニュースはデジタルで閲覧できるように継続する。

## 6) 機関誌委員会

①全国労山の今後の『機関誌・紙媒体』のあり方について、評議会決定に基づいて、全国機関誌会議及び検討委員会で議論を重ねてきた。その議論を経て、「機関誌・紙であるならば全会員に届けることを原則とすべきであること」、「その場合、会・クラブが取り扱いやすい体裁（A—4 8頁）にすること」、「会・クラブ（会員）の希望に沿って、紙媒体と電子媒体で届けるようにする」、「全国労山および地方連盟のHPからダウンロードできるようにする」、「新しい『機関誌・紙媒体』の名称については、新たな『機関誌・紙検討委員会』（仮称）で、全国の意見を取り入れながら検討する」—こととした。

②現在の『登山時報』は、購読料金が前払いになっているので、2022年12月までは発行する必要がある。このことから、『登山時報』の廃刊と新たな機関誌・紙媒体の発行時期については、総会後の理事会のもとに、新たに『機関誌・紙媒体』発行の検討委員会（仮称）を発足させて具体的に検討していく。

③機関誌・紙媒体の体裁、誌・紙面の内容等についても、「機関誌・紙発行の検討委員会（仮称）」で検討し、新たな機関誌・紙の発行体制を整えていく。

④発行費用については、『機関誌・紙媒体』発行費用として一般会計の中から賄うこととし、『山と仲間』の二の舞にならないように予算内での発行にする。

⑤以上の問題を進めるために、全国労山の規約および規定の改正を行う。

## 7) 女性と登山

- ①女性委員会の再編成については、「女性と登山」の観点から引き続き検討していく
- ②女性のトイレ問題は、男性と比べ深刻であることから、携帯トイレ等の普及など、「女性集会」などで議論を深め対応していく必要がある。
- ③昨年、コロナ禍で開催できなかった「女性全国集会」を開催し、「女性と登山」対策の問題で議論を深めていく。

## 8) 国際部

アジア山岳連盟の活動が再開されれば参加を検討する。「総合登山技術ハンドブック」の活用について、各地方連盟へ普及していく。

## 9) 海外委員会

- ①海外委員会を立ち上げ、委員を地方連盟から募りズーム等会議を開催する。
- ②外務省ホームページからの情報をもとに渡航の安全について知らせていく。
- ③海外登山計画書の集約をする。
- ④各地方連盟で開催される海外関連行事を集約する。

## 10) 山筋ゴーゴー体操推進委員会

- ①山筋ゴーゴー体操の全会員への普及を、遭難対策部やハイキング委員会と共に取り組む。
- ②サポーター養成講座の開催を推進し、全国にサポーターを増やしていく。
- ③インストラクター制度を確立し推進していく。
- ④山筋ゴーゴー体操Tシャツ、冊子の販売及びDVD活用の進める。

## 11) 自然災害等への支援活動について

第34回総会で決まった「労山会員被災者支援委員会」の設置と災害支援規定、基金設立を検討する。

## 12) 他団体との共同行動について

- ・新日本スポーツ連盟との懇談会（定期協議）を再開し、共同でスポーツ庁への要望と懇談会の開催を行っていく。
- ・2022年国民平和行進に参加し、核兵器廃絶と核兵器禁止条約への署名・批准を求める。
- ・「共済の今日と未来を考える懇話会」の定期協議再開に向けて努力する。
- ・日本山岳・スポーツクライミング協会、日本山岳会、日本山岳ガイド協会との山岳4団体役員懇談会に参加し、全国山の日協議会の活動に継続して協力する。

## 2022年度の全国的な規模の集会・会議予定

第35期上期(2022年度)

### 機関会議・集会

第35回総会	2月19日～20日(東京・ホテルコンチネンタル)
全国遭難対策担当者会議	7月2日～3日

### 行事・集会

第35回全国雪崩講習会	2月4日～6日(長野県・梅池高原) 延期
第23回全国ハイキング交流集会	10月1日～2日(山口県・ )
全国自然保護講座	7月9日～10日(滋賀県立比良山岳センター)
若手クライミング講習会	10月1日～2日(長野県・小川山)
全国登山学校担当者交流会	
全国登山研究集会	10月29日～30日(東京・ホテルコンチネンタル)
全国自然保護集会	11月12日～13日

### 国際会議・集会

アジア山岳連盟(UAA)理事国会議	
アジア山岳連盟(UAA)年次総会	

### 友好山岳団体との共同の集会・会議等

全国山岳遭難対策協議会	
第6回「山の日」記念全国大会	8月10日～11日(山形県 山形市・上山市)

## <第3号議案>

「日本勤労者山岳連盟規約」及び「各部局および専門委員会に関する規定」などの一部改定について

全国労山は「日本勤労者山岳連盟規約」及び「各部局および専門委員会に関する規定」などに基づいて活動してきている。しかし、規約・規定などの各条項について検討した結果、今日の活動状況と照らし合わせると削除及び文言の追加・削除など整理する必要があるもの、又これからの活動を活発化するために改定することが必要な個所があるため下記のように提案する。

### 記

#### 1. 日本勤労者山岳連盟規約改正案

##### 【改正理由】

「講演会 福島をわすれない」の主催団体等なっている「福島の子どもたちと夏休み 保養プロジェクト」が、「パル未来花基金」に支援金の支援を得るための申請書に、日本勤労者山岳連盟が「保養プロジェクトを立ち上げました」と、全国連盟が主体的に取り組んでいるような記述を行っていた。

これについて、全国連盟が代表に事実と違う記述で申請している「事の真相と事実経過について説明」を求めた。

プロジェクト代表は、全国連盟事務所に説明文を送るのではなく、全国連盟の役員全員のメールアドレスを入手し、メールで役員に送り付けた。

これに対して、役員からは①知らない人からメールが送られてきたが、誰が役員の個人情報を出したのか、②個人情報の流出は組織としてあってはならないことです、③私が知らない人物に、私のメールアドレスを提供してよいと許可した覚えはありません、④私の個人情報のメールアドレスがこの方に伝わったのか、無断使用できたのか、大至急調べて報告してほしい—などとの問い合わせと講義が寄せられた。

全国連盟の役員全員に一斉配信した代表に、問い合わせしたところ、①役員のメールアドレスの一部は全国連盟役員から教えてもらった、②他は、他の人から教えてもらったがそれは言えない、ということであった。

全国連盟の規約には、個人情報や全国連盟が公開していない重要な情報の漏洩問題について、規定がないことから、第19条に、第3項を新たに追加することとした。

そして、「賞罰」について、「連盟の名誉と団結を著しく損なう行為があった場合は、評議会の決定で役員の罷免を、総会の決定で加盟団体の除籍をすることができる」規定はあるが、理事会でも機敏に対応する必要がある場合に、「理事会の決定で役員の活動の停止」ができるように、第29条に挿入することとした。

## 日本勤労者山岳連盟規約案

### ※赤字は追加したもの

#### 第1章 総則

第1条 この連盟は、日本勤労者山岳連盟（略称「労山」とよび、事務所を〒~~162-0814~~ 東京都新宿区新小川町5-~~24~~）におく。

第2条 この連盟は、登山・ハイキングを健康で文化的な生活のひとつであり平和で民主的な国民生活に根ざしたスポーツ・レクリエーションとして、普及し発展させることを目的とする。

第3条 この連盟は、前条の目的を遂行するために次の活動をおこなう。

- 1 加盟団体相互の交流。
- 2 広範な登山愛好者の組織化。
- 3 国民の登山要求に応える活動。
- 4 登山の技術とモラルの向上。
- 5 登山事故の防止と救助・救済。
- 6 登山をする条件の改善。
- 7 山岳自然保護。
- 8 登山を通じての国際交流。
- 9 機関紙誌や書籍の発行。
- 10 諸団体との協力・共同。
- 11 その他、目的遂行に必要な活動。

第4条 この連盟は、この規約を承認する山岳会・クラブ（以下「加盟団体」）によって構成される。

#### 第2章 組織

第5条 この連盟の基礎組織は加盟団体である。加盟団体はこの連盟の活動に等しく参加する権利と義務を有する。

第6条 加盟団体は連盟活動を推進するために、都道府県を単位に「都道府県勤労者山岳連盟」（以下「地方連盟」）をつくり所属する。

- 2 地方連盟は、その活動の補助機関として「地区連盟」をつくることのできる。地区連盟の地域、名称、活動等については、当該地方連盟が定める。
- 3 地方連盟に関する規定は別に定める。

第7条 歴史的・地理的に関係の深い複数の地方連盟は、当該の地方連盟の活動に資するために、「地方協議会」をつくることのできる。

- 2 地方協議会の名称・範囲は別に定める。

### 第 3 章 機 関

第 8 条 この連盟に、次の機関をおく。

- 1 総会
- 2 評議会
- 3 理事会

第 9 条 総会は、この連盟の最高決議機関であり、原則として 2 年に 1 回理事会の決定により会長が招集する。ただし、理事会が必要と認めるとき、または 3 分の 1 以上の評議員からの要求があったときは、臨時に総会を招集しなければならない。

- 2 総会は、役員および地方連盟ごとに選出された代議員によって構成される。
- 3 総会は、代議員の過半数の出席で成立し、決議は出席者の過半数を必要とする。委任状は議長宛で会議の多数意志にしたがうものとし、総会の成立要件に含める。
- 4 総会代議員は、地方連盟ごとの構成員（以下「会員」）の人数に応じて選出し、その基準は評議会で定める。

第 10 条 総会は、次の事項を審議決定する。

- 1 連盟活動の総括と方針。
- 2 予算および決算。
- 3 連盟役員を選出。
- 4 規約にかかわる賞罰。
- 5 趣意書および規約の改廃。
- 6 その他、連盟の目的遂行に必要な事項。

第 11 条 評議会は、総会に次ぐ決議機関であり、2 年に 1 回以上、理事会の決定により理事長が招集する。ただし、3 分の 1 以上の評議員から要求があったときは、評議会を招集しなければならない。

- 2 評議会は、連盟役員および評議員によって構成される。
- 3 評議会は、評議員の過半数の出席で成立し、決議は出席者の過半数で成立する。委任状は議長宛で、出席者の多数意志にしたがうものとし、評議会の成立要件に含める。
- 4 出席できない評議員は、当該の地方連盟から代理人を出席させることができる。
- 5 評議員は、別に定める選出基準により、地方連盟ごとに選出し登録する。

第 12 条 評議会は、次の事項を審議決定する。

- 1 連盟の諸活動の具体化。
- 2 総会より委任された事項。
- 3 中間の予算および決算。
- 4 規約についての疑義の解釈。
- 5 規定、細則、定款の改廃。
- 6 専門委員会および特別委員会の設置、改廃。

- 7 補充役員の選出。
- 8 その他、連盟活動に必要な事項。

第13条 理事会は、連盟の方針にもとづき連盟業務を執行する。

- 2 理事会は、理事長が随時招集する。
- 3 理事会は、理事長、副理事長、事務局長、理事によって構成される。
- 4 理事会は、必要に応じて会長、副会長に出席を求めることができる。
- 5 理事会は、執行事項を評議会および総会に報告し、承認をうける。

第14条 理事会は、次の事項を執行する。

- 1 総会および評議会決定事項の具体化。
- 2 各種原案の企画作成。
- 3 所轄の事務連絡および報告。
- 4 各種集会および代表者会議の開催。
- 5 事務局・専門委員会の統括と運営。
- 6 事務局員・専門委員の選任。
- 7 専従職員の職務に関する事項。
- 8 緊急事項の処理。
- 9 その他、連盟の日常業務に必要な事項。

第15条 この連盟は、事務局および専門委員会をおく。事務局の任務および専門委員会の種類、名称、任務については別に定める。

- 2 専門委員会は、理事会の議を経て理事長が委託した専門委員で構成する。ただし、その責任者は理事会の構成員とする。
- 3 この連盟は、評議会が目的遂行のために必要と認めたときは、特別委員会をおくことができる。特別委員会の構成等は第2項に準じ、その活動内容は総会に報告する。

#### 第4章 役員・職員

第16条 この連盟は、次の役員をおく。

- 1 会長(1名)
- 2 副会長(若干名)
- 3 理事長(1名)
- 4 副理事長(若干名)
- 5 事務局長(1名)
- 6 理事(若干名)
- 7 監事(2名)

第17条 役員は会員から選出する。役員選出に関する規定は、別に定める。

第18条 役員の任務は、次のとおりとする。

- 1 会長は、この連盟を代表する
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3 理事長は、連盟業務の執行を統括する。
- 4 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるときはその職務を代行する。
- 5 事務局長は、事務局を統括するとともに、連盟の会計業務を行う。

6 理事は、連盟業務を統括する。

7 監事は、連盟業務および会計を監査し、その結果を総会および評議会に報告する。

第19条 役員の任期は2年間とし、改選は総会でおこなう。ただし、再選は妨げない。

2 補欠役員の選出は評議会でおこなう。その任期は前任者の残任期間とする。

3 役員は、役員として知りえた個人情報および全国連盟が公開していない重要な情報を漏洩してはならない。

第20条 この連盟は、会長・副会長の任にあった者、および長年にわたりこの連盟の顧問・役員等の任にあつて、連盟の充実・発展に著しく貢献した者を評議会の発議、総会の承認によって名誉会員にする。

2 この連盟は、評議会または総会の承認によって顧問を委嘱することができる。顧問は連盟の諮問にこたえる。

第21条 この連盟は、事務局に専従職員をおくことができる。

2 専従職員の任免は、理事長がおこない、理事会の承認を受ける。

## 第5章 加盟・脱退

第22条 山岳会・クラブは、所定の手続きにもとづき加盟費を添えて、地方連盟に申し込み、その執行機関の承認を得れば、この連盟の加盟団体となることができる。

第23条 加盟団体は、この連盟を自由に脱退することができる。ただし、所属の地方連盟に所定の手続きを取り、連盟費を精算しなければならない。

2 地方連盟は、所属の加盟団体が連盟費の納期を一定期間経過しても理由なく滞納している場合は、除籍することができる。

第24条 地方連盟は、加盟・脱退について速やかに事務局長に報告しなければならない。

2 特別な理由がある場合は、事務局長が加盟・脱退の事務処理を代行することができる。

## 第6章 財政

第25条 この連盟の経費は連盟費および行事・事業収入、寄付金等によってまかなう。

第26条 連盟費は、地方連盟ごとの加盟団体数と会員数によって算出し、その細目は総会において定める。加盟団体の加盟費および連盟費は、地方連盟が別に定める。

第27条 この連盟の会計年度は、1月1日より12月31日までとする。

2 この連盟は、一般会計の他に、必要によって特別会計を設けることができる。

3 この連盟の会計は複式簿記とし、処理については別に規定を定める。

## 第7章 賞罰

第28条 この連盟は、評議会が必要と認めたときは、加盟団体および会員を総会で表彰することができる。

第29条 この連盟は、連盟の名誉と団結を著しく損なう行為があった場合は、**理事会の決定で役員**の活動停止、評議会の決定で役員**の罷免**を、総会の決定で加盟団体の除籍をすることができる。ただし、これらの決議は出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

#### 第8章 付則

第30条 この連盟のすべての会議は、会員に対して公開することを原則とする。

2 この連盟の会議運営の細則は、別に定める。

第31条 この規定に定められていない事項については、評議会が規約の趣旨にもとづいて処理することができる。

第32条 この連盟の英語名称は、**JAPANWORKERS' ALPINE FEDERATION**（略称「**JWAF**」）とする。

第33条 この規約の目的遂行の改廃は、総会において出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

付則 この規約は 1963年7月7日より実施する。

1988年2月7日全面改定。

1990年2月12日一部改定。

2000年2月20日一部改定。

2020年2月16日一部改定。

**2022年2月20日一部改定。**

## 2. 各部局および専門委員会に関する規定の改定案

### 【改定理由】

「登山時報」「労山ニュース」の名称変更や発行形式の変更に対応するため。  
「不動産管理委員会」の廃止と「一般財団法人山岳基金」設立のため。

### 各部局および専門委員会に関する規定案

#### ※二重の取り消し線は削除、赤字は追加・変更したもの

第1条 この規定は、日本勤労者山岳連盟規約第15条第1項に基づき、この連盟の各部局、委員会の任務、特別委員会の名称、任務について定める。

第2条 この連盟に、理事及び登山技術などの知識を有する会員を構成員として次の部局をおく。

- ① 山行活動部 ② 遭難対策部 ③ 技術教育部 ④ 組織部  
⑤ メディア局 ⑥ 事務局 ⑦ 渉外・環境部 ⑧ 財政部 ⑨ 国際部

第3条 この連盟の部局のもとに次の委員会をおき、任務を分掌する。

- ① ハイキング委員会 ② 海外委員会 ③ ホームページ委員会  
④ 全国救助隊連絡交流会 ⑤ カリキュラム委員会 ⑥ 自然保護委員会  
⑦ 青年・学生対策委員会 ⑧ 女性委員会 ⑨ 登山時報 機関誌・紙編集委員会  
~~⑩ 登山ニュース編集委員会~~ ⑩ 技術委員会 ⑪ 山筋ゴーゴー体操推進委員会

第4条 この連盟に次の特別委員会をおく。

- 1 登山基金運営委員会
- 2 ~~不動産管理委員会~~ 一般財団法人山岳基金
- 3 中央登山学校
- 4 全国登山研究集会

第5条 事務局の任務は次のとおりとする。

- 1 日常業務の執行と各種文書、書類等の保管
- 2 地方連盟および加盟団体、役員、その他関係団体等の連絡
- 3 連盟財政の運用と管理・保管
- 4 広報活動および事業活動
- 5 青年・学生対策に関する事項
- 6 女性の登山に関する事項
- 7 他の委員会に属さない事項

第6条 メディア局の任務は次のとおりとする。

- 1 機関誌「~~登山時報~~」・紙の定期発行、普及と発展に関する事項  
~~2 季刊紙「登山ニュース」の定期発行、普及に関する事項~~
- 2 ホームページの管理と運営に関する事項
- 3 登山の情報を内外に複合的に発信、普及することに関する事項

第7条 組織部の任務は次のとおりとする。

- 1 加盟団体相互の交流に関する事項
- 2 広範な登山愛好者の組織化
- 3 地方連盟の組織運営に関する事項
- 4 山岳会・クラブの組織強化に関する事項

第8条 技術教育部の任務は次のとおりとする。

- 1 登山やハイキングの技術向上に関すること
- 2 登山の教育、研究、安全に関すること
- 3 中央登山学校の運営に関すること

- 4 技術委員会に関すること
- 5 カリキュラム委員会に関すること

第9条 遭難対策部の任務は次のとおりとする。

- 1 山岳遭難事故の実態や原因などを分析すること
- 2 山岳遭難事故の調査・研究および防止に関すること
- 3 救助・搬出技術の研究と普及に関する事項
- 4 全国救助隊連絡交流会に関すること

第10条 山行活動部の任務は次のとおりとする。

- 1 国内の登山活動の動向・傾向や実際の山行状況を調査・分析すること
- 2 ハイキング委員会に関すること
- 3 海外委員会に関すること
- 4 ネットワーク世話人会に関すること

第11条 渉外・環境部の任務は次のとおりとする。

- 1 政府・自治体への制度要求など登山条件の整備に関すること
- 2 山岳自然の保護に関すること
- 3 他団体との共同と交流、平和、民主主義などの課題に関すること

第12条 財政部の任務は次のとおりとする。

- 1 予算の編成、連盟財政の入金、出金の承認、月次報告書および決算書の作成

第13条 各部局、専門委員会、特別委員会の構成は、規約第15条第2項による。

第14条 各部局、専門委員会、特別委員会は、その活動内容を随時、理事会に文書で報告する。

第15条 各部局、特別委員会及び専門委員会の任期は総会後の第1回理事会から総会までとする。

第16条 この規定の改廃は、総会および評議会の3分の2以上の賛成を必要とする。

付 即 この規定は、1998年2月15日より実施する。

2002年2月17日 一部改定

2006年2月19日 一部改定

2016年2月21日 一部改定

2020年2月16日 一部改定

2022年2月20日 一部改定

※以上の改定については、総会で決定された場合には、2022年2月20日より実施する。

以上

## <第4号議案>

### 労山山岳事故対策基金規定の一部改定について

大きく分けて7項目での改訂（規定赤字表記）を、以下のとおり提案します。

#### 1. 救助搜索交付の増額改訂

本制度をさらに魅力あるものにし、他の制度との差別化を図るため交付倍率を、  
現行400倍から500倍に引き上げるもの。

#### 2. 入通院日数の短縮改善

医療の高度化、医療機関の入院短縮などにより、従来と比較して入院日数が短縮傾向のため入通院に数を最短入院2日、通院1日とする。

一方で、最大日数210日/50日を据え置くのは、会員の高齢化に伴い入通院が長引く傾向にあり、受傷後のリハビリテーションが手厚くなっているため。

## 現行

### 細則—1 [交付金額および算出方法]

交付金額および算出方法はこの細則による。ただし、個人の寄付金の申込口数が10口を超える場合は、10口を限度とする。

救 助・搜索交付+死亡・傷害交付=交付金額

#### 1. [救助・搜索交付]

##### (1) 加入団体の場合

申込口数×2000円×A倍（Aとは交付係数で「労山基金制度」に継続加入年で変化する）

国内の事故のみを対象とし海外は適用されない。また、団体と個人の併用を妨げない。

##### (2) 加入者個人の場合

申込口数×1000円×A倍（Aとは交付係数で「労山基金制度」に継続加入年と「コヘリ」加入年で変化する）

#### 2. [加入者死亡交付]

申込口数 × 1000円 × 200倍（加入団体への適用はされない）

#### 3. [加入者傷害交付]

（入院）申込口数 × 800円 × 入院日数（3～210日）

（通院）申込口数 × 400円 × 通院日数（3～50日）

#### 4. 救助・搜索交付の増加

継続して労山基金制度に加入する場合、1年継続が増えるごとに10倍加算して交付する。

加入初年度は 300 倍とし、最高 400 倍までとする。

「ココヘリ」に加入した場合はココヘリサービス対象者に限り1000倍とする。

(注) 海外やココヘリ不携帯、またはOFFモードの場合はサービスの対象外。

5. いったん労山基金制度の交付を受けた場合、継続による倍率は1年据え置く。

#### **改訂**

細則一 1 [交付金額および算出方法]

交付金額および算出方法はこの細則による。ただし、個人の寄付金の申込口数が 10 口 を超える場合は、10 口を交付金限度とする。

救 助・搜索交付+死亡・傷害交付=交付金額

1 . [救助・搜索交付]

(1) 加入団体の場合

申込口数× 2000 円× 交付倍率

交付倍率は、加入初年度は 400 とし、1年継続ごとに 10 を加算し最大 500 とする。

国内の事故のみを対象とし海外は適用されない。また、団体と個人の併用を妨げない。

(2) 加入者個人の場合

申込口数×1000 円×交付倍率

交付倍率は、加入初年度は 400 とし、1年継続ごとに 10 を加算し最大 500 とする。

ただし、海外登山の場合は加入継続年数にかかわらず 400 とする。

なお、労山基金加入者が「ココヘリ」にも加入し、かつココヘリサービス対象 (海外、ココヘリ不携帯、または電源オフの場合は対象外) の場合に限り交付倍率1000とする。

2 . [加入者死亡交付]

申込口数 × 1000 円 × 200 倍 (加入団体への適用はされない)

3 . [加入者傷害交付]

(入院) 申込口数 × 800 円 × 入院日数 2~210 日

(通院) 申込口数 × 400 円 × 通院日数 1~50 日

4. 労山基金の交付を受けた場合、登録期間当該年の継続による倍率は1年据え置く。

#### **現行**

第 20 条 [交付の対象と算出方法]

交付金額および算出方法は細則の定めるところによる。

2. 加入者の傷病による入院は交付の対象とし、事故発生日から1年以内の入院日数 3~210日とする。

3. 加入者の傷病による病院等への通院は交付の対象とし、事故発生日から1年以内の通院日数3～50日とする。

**改訂**

#### 第20条 [交付の対象と算出方法]

交付金額および算出方法は細則の定めるところによる。

2. 加入者の傷病による入院は交付の対象とし、事故発生日から1年以内の入院日数2～210日とする。

3. 加入者の傷病による病院等への通院は交付の対象とし、事故発生日から1年以内の通院日数1～50日とする。

**現行**

#### 細則—6 [付加見舞金制度]

(公開山行の事故見舞金の交付要件と交付回数の限度)

加入者が責任者(リーダー等)になり、団体の主催する公開行事や公開山行などで、会員外である第三者が死亡または傷病などの事故にあった場合(行方不明も含む)、責任者である労山会員の所属する団体に、被害者または遺族に支払う見舞金を交付する。この交付には、以下の3条件を満たすこと。①不特定多数に周知したことの証拠を示すこと②企画内容が「交付の特典」の5要件を満たしていること③企画・準備の段階で、通常必要な安全対策を講じた根拠を示せること。また、交通機関等の事故については対象としない。この制度の適用による交付の決定については、委員会が行う。

1. この交付は、会員外である第三者が事故者である場合に適用される。

2. 交付金額は、第三者の被害に応じ次のランクで交付する。金額のランク決定については、委員会が行う。

(1) 死亡・行方不明、または後遺障害を残す重度の傷病----- 30万円

(2) 3日以上の入院または 20日以上の長期通院を要する重度の傷病----- 10万円

(3) 短期の通院 (3日以上～20日未満) などの治療を要する軽度の傷病----- 3万円

**改訂**

#### 細則—6 [付加見舞金制度]

(公開山行の事故見舞金の交付要件と交付回数の限度)

加入者が責任者(リーダー等)になり、団体の主催する公開行事や公開山行などで、会員外である第三者が死亡または傷病などの事故にあった場合(行方不明も含む)、責任者である労山会員の所属する団体に、被害者または遺族に支払う見舞金を交付する。この交付には、以下の3条件を満たすこと。①不特定多数に周知したことの証拠を示すこと②企画内容が「交付の特典」の2項ハイキングまたは軽登山の事故5(削除)要件を

満たしていること③企画・準備の段階で、通常必要な安全対策を講じた根拠を示せること。また、交通機関等の事故については対象としない。この制度の適用による交付の決定については、委員会が行う。

1. この交付は、会員外である第三者が事故者である場合に適用される。
2. 交付金額は、第三者の被害に応じ次のランクで交付する。金額のランク決定については、委員会が行う。
  - (1) 死亡・行方不明、または後遺障害を残す重度の傷病----- 30 万円
  - (2) 2日以上の入院または 20 日以上長期通院を要する重度の傷病----- 10 万円
  - (3) 短期の通院 (1日以上～20日未満) などの治療を要する軽度の傷病----- 3 万円

### 3. 海外登山におけるトレッキング以外の具体的な規定および交付対象者の明確化

### 4. **文章表現の簡潔明瞭化**などの改訂

①略称の明確化

②**文章表現の明瞭化**

#### 現行

##### 第 1 条 [目的]

日本勤労者山岳連盟（以下、単に「全国連盟」という）は、遭難対策事業の一環として、労山山岳事故対策基金制度(以下、「労山基金」という)を運営する。

#### 改訂

##### 第 1 条 [目的]

日本勤労者山岳連盟（以下、単に「全国連盟」という）は、遭難対策事業の一環として、労山山岳事故対策基金制度(略称「**労山基金**」とし、以下略称表記する)を運営する。

**※以下「労山基金制度」の文言 30 か所は、「**労山基金**」と表記するものとする。**

#### 現行

##### 細則一 2 [山行規定]

1. 団体は、会員の登山活動を事前に管理する。
2. 事前管理には、技術教育、指導、訓練、健康管理、個別の山行管理を含む。
3. 個別の山行管理は、所属団体の定めにより山行計画書の提出によって行う。
4. 海外登山（トレッキングを含む）中の事故に対して交付を必要とする場合、登山計画書を事前に全国連盟海外委員会へ提出しておかなければならない。トレッキングとは異なる 5,000メートル以上の高所登山については、加入から 1年以上経過した会員に対して交付対象とする。

## 改訂

### 細則一 2 [山行規定]

1. 団体は、会員の登山活動を事前に管理する。
2. 事前管理には、技術教育、指導、訓練、健康管理、個別の山行管理を含む。
3. 個別の山行管理は、所属団体の定めにより山行計画書の提出によって行う。
4. 海外登山（トレッキングを含む）中の事故に対して交付を必要とする場合、登山計画書を事前に全国連盟海外委員会へ提出しておかなければならない。トレッキングとは異なる **5,000メートル以上の高所登山および、すべてのバリエーション登山等**については、**労山基金**加入から1年以上経過した会員に対して交付対象とする。

## 現行

### 細則一 3 [交付の特典]

1. 加入者のハイキングまたは軽登山の事故に対しては、定められている交付率の3倍まで交付する。ただし、通常交付の10口分までを交付の上限とする。
2. ここでいうハイキング、軽登山の事故とは、①一般登山道、②標高2000m以下、③標準コースタイム5時間以内、④日帰りの要件に該当するもの。また、⑤岩場、沢、雪山、海外は含まない。当該山行がこれにあたるかどうかは委員会が認定する。

## 改訂

### 細則一 3 [交付の特典]

1. 加入者のハイキングまたは軽登山の事故に対しては、定められている交付率の3倍まで交付する。ただし、通常交付の10口分までを交付の上限とする。
2. ここでいうハイキング、軽登山の事故とは、①一般登山道、②標高2000メートル以下、③標準コースタイム5時間以内、④日帰りの要件に該当するもの。  
**ただし、**岩場、沢、雪山、海外は含まない。  
当該山行がこれにあたるかどうかは委員会が認定する。

## 現行

細則一 7 「不動産等の管理」 運用・運営は、全国理事会のもとに「不動産委員会」を設置し、その管理規定は別途定める。

## 改訂

細則一 7 「不動産等の管理」 運用・運営は、全国理事会のもとに「**一般財団法人山岳基金**」を設置し、その管理規定は別途定める。

## 現行

### 細則一 9 [救援者費用]

1. 遭難者の安否確認や身柄の保護のために、当該団体が現地に要員を派遣する必要がある場合、交通費の実費について 10 万円を限度として交付する。ただし、救助捜索費を申請する場合は、この救援者費用は交付対象から除外する。また、海外については対象としない。
2. ココヘリ加入者の山岳遭難時に、ココヘリへ「捜索要請」の連絡をした者の現地への交通費を交付する。ただし、1名分とし、遭難者の基金加入口数（1口1万円、最大10口10万円）を上限とする。これは救助捜索費申請時（注）も交付する。

（注）ココヘリの任務は捜索であり、位置を特定したら救助機関に連絡する。次に「捜索要請」をした者が救助捜索に加わることは排除しておらず、加わった場合も交付の対象になる。

## 改訂

### 細則一 9 [救援者費用]

1. 遭難者の安否確認や身柄の保護のために、当該団体が現地に要員を派遣する必要がある場合、交通費の実費について 10 万円を限度として交付する。ただし、救助捜索費用を申請する場合は、この者が救助捜索に加わった場合交付する。また、海外については対象としない。
2. ココヘリ加入者の山岳遭難時に、ココヘリへ「捜索要請」の連絡をした者の現地への交通費を交付する。ただし、1名分とし、遭難者の基金加入口数（1口1万円、最大10口10万円）を上限とする。救助捜索費を申請する場合（注）この者が救助捜索に加わった場合交付する。

（注）ココヘリの任務は捜索であり、位置を特定したら救助機関に連絡する。また「捜索要請」をした者が救助捜索に加わることは排除しておらず、加わった場合も交付の対象になる。

## 6. 無事故報奨金制度廃止

無事故報奨金制度については10年間交付申請のない団体に対して無事故報奨金を交付する制度として2014年4月1日から発足。趣旨は、個人の安全山行のみならず会・クラブの努力によるところが大きいことから、無事故に向けた長年の努力を顕彰するとともに、更なる安全山行への個人・団体に対する今後の努力を促す制度である。

しかし、これまでの全国基金担当者会議で、「報奨実績は団体の無事故への努力が適正に反映されていない、本来趣旨が機能していない」「公平な評価ではない」という指摘がされてきた。

委員会として制度の再考の必要性を認識し、制度の廃止を提案し、2020年11月の全国基金担当者会議に向けてアンケート実施し意向を確認したところ、廃止に賛成する意見が多数を占める結果となった。

以上の経緯から、無事故報奨金制度は2021年度末(2022年3月末)をもって廃止することを提案する。

これまで報奨の原資としてあててきた前年度の寄付金額の10%については、会員のサービス向上のために別の制度に活用していく。

**現行**

細則一10 [無事故報奨金制度]

1. 10年間交付申請のない団体に対して無事故報奨金を交付する。

報奨金は、前年度の寄付金額の10%を目途にし、当該年度の該当団体数を勘案して按分する。

**改訂**

全文削除

## 7. 本規定の改正および施行日について

第35回総会最終日2022年2月20日改正し、会員への周知期間を設け2022年4月1日施行とする。

# 一般財団法人山岳基金 定款

## 第1条（名称）

この法人は、一般財団法人山岳基金と称し、英文では **Muntai neering Fund(MF)** と表示する。

## 第2条（事務所）

この法人は、主たる事務所を東京都新宿区に置く。

## 第3条（目的）

この法人は、権利能力なき社団である日本勤労者山岳連盟の目的を遂行するための財産管理を行う。具体的には、日本勤労者山岳連盟が運営する「労山山岳事故対策基金制度」の資産管理と保全および 有効な活用を目的とする。

## 第4条（事業）

この法人は、第3条の目的を達成するために次の事業を行う。

- （1）不動産の所有及び不動産の登記書類と関連書類の管理。
- （2）建物の維持に必要な補修、設備機器の保全。
- （3）不動産有効活用のための事業。
- （4）近隣の不動産所有者および使用者との調整。
- （5）その他、この法人の目的を達成するために必要な事業。

## 第5条（事業年度）

この法人の事業年度は毎年1月1日に始まり、12月31日に終わる。

## 第6条（公告の方法）

この法人の公告は、電子公告による。

## 第7条（設立者および財産の拠出）

この法人の設立者は、この法人設立時に日本勤労者山岳連盟の副理事長（労山山岳事故対策基金運営委員長）である以下の者とし、氏名および住所並びにこの法人の設立に際して設立者が拠出する財産及びその価額は、次のとおりである。

住所 東京都豊島区上池袋4丁目4番8号

氏名 白井邦徳

拠出財産及びその価額 現金 300万円

## 第8条（財産の種類別）

この法人の財産は、基本財産及びその他財産の2種類とする。

2. 基本財産は、この法人の目的である事業を行うために不可欠な財産として理事会で定

めたものとする。

3. その他財産は、基本財産以外の財産とする。
4. 前項の財産は、評議員会において別に定めるところにより、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、処分するときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

### 第9条 (剰余金)

この法人は、剰余金の分配を行うことができない。

### 第10条 (残余財産の分配)

この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

### 第11条 (評議員)

この法人に評議員3名以上5名以内を置く。

2. 評議員の選任と解任は、日本勤労者山岳連盟総会において行う。
3. 評議員の候補者は日本勤労者山岳連盟の役員選考委員会で推薦する。
4. 評議員の任期は選任後、2年間とする。再任を妨げない。
5. 評議員は評議員会を構成し、第12条に規定する事項の決議に参画する。

### 第12条 (評議員会)

評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

2. 評議員会は理事及び監事の選任と解任を行う。
3. 評議員会は各事業年度の事業報告及び決算の承認を行う。
4. 評議員会は各事業年度の事業計画及び予算の承認を行う。
5. 評議員会は定款の変更（この法人の目的並びに評議員の選任及び解任の方法に関する定めを含む）を行う。
6. 評議員会は、本条2項から5項に定める事項の他、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に規定する事項及びこの定款に定める事項を行う。
7. 評議員会は毎年の事業年度終了後2か月以内に開催する。
8. 評議員会の決議は、議決に加わることができる評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

### 第13条 (役員)

この法人に、3名以上5名以内の理事と2名以内の監事を置く。

2. 理事のうち、1名を代表理事とする。
3. 理事及び監事は、評議員会の決議により選任する。
4. 理事及び監事の任期は選任後、2年間とする。再任を妨げない。

5. 各理事について、理事とその理事の親族等である理事の合計数が、理事の総数の3分の1以下であること。

#### 第14条 (理事会)

この法人に、理事会を置く。

2. 理事会は、すべての理事をもって構成する。
3. 理事会は、評議員会の開催を行う。
4. 代表理事は、理事会の決議を経て事業計画・予算と事業報告・決算を作成し、作成された事業計画・予算について評議員会の承認を受けるものとする。
5. 理事会は、各事業年度に1回以上開催する。
6. 理事会の決議は、議決に加わることができる理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

#### 第15条 (監事)

監事は、理事の職務執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

#### 第16条 (設立時の評議員・役員)

この法人の設立時評議員と役員は次の通りとする。

評議員 浦添 嘉徳、久保 典子、高橋 友也

理事 白井 邦徳 (設立時代表理事)、川嶋 高志、今野 善伸

監事 石川 友好、荒川 俊之

#### 第17条 (最初の事業年度)

当法人の最初の事業年度は、当法人成立の日から令和4年12月31日までとする。

#### 第18条 (定款に定めのない事項)

この定款に定めのない事項は、すべて一般社団法人及び一般財団法人に関する法律その他法令の定めるところによる。

~~以上、一般財団法人山岳基金設立のため、この定款を作成し、設立者が次に記名押印する。~~

~~2022年2月24日~~

~~設立者 白井 邦徳~~

## 2021年度決算の概要

財政部

### <一般会計>

#### (収入)

##### ・連盟費収入

現時点での未収は、石川県 321,930円、三重県 3680円（だいぶ少なくなった）

岡山県が会員数登録を増加訂正したので、6,240円の増収

- ・事務所分担金では、ほぼ予算どおりの収入があった。カレンダー収支では、前年より収入額が29万円減ったが、赤字を出した前年の教訓を踏まえて支出を切り詰めた結果、34万円超の収益をあげることができた。テキスト収入では、「ハイキングA・B・C」「ハイキング セカンド・ステップ」等の注文が増え、また、「労山60年史」や「UIAA登山技術ハンドブック」の売れ行きも順調で、カレンダーも含めたこの費目全体で、約145万円の収益をあげることができた。
- ・コロナ禍との関連で、公益財団法人「日本スポーツ協会」に申請していた「スポーツ事業継続支援補助金」が認定され、103万9千円の交付を受けた。

#### (支出)

##### ・部局・委員会活動費、渉外費、全国集会関係費、役員行動費

2021年度は、さまざまな催しを実施してきたが、それでもやはり、1月～9月はコロナ禍が全国に広がり、予定した行事の中止を余儀なくされたり、広域にまたがる移動もひかえたことなどの影響で、大幅な支出減となった。

#### (一般会計全体として)

会員数減少により、連盟費収入は前年より100万円超減少したが、その分は「スポーツ事業継続支援補助金」で埋めあわせができ、また、コロナ禍のもとでの支出減があり、全体では、繰越金が前年からの額を約400万円上まわり、1000万円の繰越金となった。

### <特別会計（安全対策基金）>

ココヘリよりの繰入金が増え、前年より増大して75万円となり、大きな財政的貢献をしている。支出では、前年に続いて、コロナ禍で活動が全面展開できなかった。また、地方ブロック・地方連盟も十分な活動ができず、それに対する補助金が予算枠よりも260万円少ない支出だった。この結果、次期への繰越金は前年と同程度の約1,000万円となった。

### <機関誌会計（登山時報）>

2021年度は一般会計からの繰入（編集助成金）を300万円に増額して予算を組んだ。それにもかかわらず、「登山時報」購読者数の減少に歯止めがかからず、購読料収入も大幅に減少した。また、広告料収入もついに1社のみとなってさらに減少した。

このため、2021年10月号からは作成部数を見直し、ほとんど予備もない作成部数に切り詰めて印刷費を削減した。それでも、93万円の赤字決算となってしまった。

登山時報のあり方については、現在、機関紙のあり方についての全国的な検討委員会が設置され、検討が進められてきた。この赤字の処理をどうするかも含めて、今後の検討のなかで、方向性を協議していかなければならない。

**2021年(第35期上期) 一般会計決算書**

2021年1月1日～12月31日

**I 収入の部**

(単位:円)

科目	補助科目	2021年予算	2021年決算	予算残	執行率	備考
1	連盟費収入	29,171,640	29,177,880	△ 6,240	100%	584団体、17,574名
2	労山基金事務受託費	2,200,000	2,200,000	0	100%	
3	事務所分担金・コピー機使用料	2,560,000	2,545,000	15,000	99%	
	労山基金事務所分担金	1,200,000	1,200,000	0	100%	労山基金より 100,000円×12ヶ月
	労山基金事務消耗費	600,000	600,000	0	100%	労山基金より 50,000円×12ヶ月
	東京都連盟事務所分担金	660,000	660,000	0	100%	都連盟より 55,000円×12ヶ月
	会議室分担金	100,000	85,000	15,000	85%	労山団体1回3,000円
4	カレンダー・テキスト収入	2,640,000	3,328,500	△ 688,500	126%	
	カレンダー連盟	2,200,000	1,958,500	241,500	89%	一部700+送料等
	カレンダー一般	40,000	76,440	△ 36,440	191%	一部1,000+送料等
	ハイキングABC	100,000	181,078	△ 81,078	181%	一部300円
	セカンドステップ	100,000	174,092	△ 74,092	174%	一部400円
	山筋ゴーゴー体操	100,000	42,345	57,655	42%	一部200円
	バッジ・腕章	0	59,300	△ 59,300		バッジ・腕章・旗
	書籍・その他	100,000	836,745	△ 736,745	837%	各種・労山発行の書籍・その他
5	雑収入	0	1,092,403	△ 1,092,403		スポーツ事業継続支援補助金
6	財政安定引当金取崩収入	0	0	0		
<b>当期収入合計(A)</b>		<b>36,571,640</b>	<b>38,343,783</b>	<b>△ 1,772,143</b>	<b>105%</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>		<b>6,198,325</b>	<b>6,198,325</b>	<b>0</b>		
<b>収入合計(B)</b>		<b>42,769,965</b>	<b>44,542,108</b>	<b>△ 1,772,143</b>		

**II 支出の部**

科目	補助科目	2021年予算	2021年決算	予算残	執行率	備考
1	会議費	1,830,000	1,535,604	294,396	84%	
	総会	0	0	0	0%	
	評議会	1,800,000	1,493,950	306,050	0%	
	理事会	30,000	41,654	△ 11,654	139%	
2	部局・委員会活動費	1,890,000	718,560	1,171,440	38%	
	ハイキング委員会	50,000	24,591	25,409	49%	委員交通費、通信費
	海外委員会	10,000	0	10,000	0%	委員交通費、通信費
	遭難対策部	30,000	0	30,000	0%	委員交通費、通信費
	青年学生委員会	10,000	0	10,000	0%	委員交通費、通信費
	女性委員会	150,000	26,000	124,000	17%	委員交通費、通信費・メモリ購入他
	自然保護委員会	390,000	453,199	△ 63,199	116%	委員交通費、自然保護講座
	メディア局	50,000	0	50,000	0%	
	組織部	200,000	66,310	133,690	33%	労山リーフ発行、地方連盟用HP費用
	地方強化会議	400,000	104,110	295,890	26%	地方連盟総会、会議参加交通費と宿泊費
	国際関係	600,000	44,350	555,650	7%	UAAA年会費300USD
3	渉外費・分担金	800,000	373,788	426,212	47%	新日本スポーツ連盟賛助金30万円、その他

II 支出の部

科目	補助科目	2021年予算	2021年決算	予算残	執行率	備考
4	全国集会関係費	800,000	134,757	665,243	17%	
	ハイキング交流集会	400,000	134,757	265,243	0%	中止
	女性と登山全国集会	400,000	0	400,000	-	
	登山者自然保護集会	0	0	0	0%	
5	機関担当者会議	1,200,000	77,728	1,122,272	6%	
	自然保護担当者会議	800,000	0	800,000	-	
	機関誌担当者会	400,000	77,728	322,272	0%	9月、全国連盟会議室WEB開催
		0	0	0	-	
6	機関誌関係費	3,000,000	3,000,000	0	100%	機関誌会計へ
7	事務局関係費	8,660,000	7,560,228	1,099,772	87%	
	水道光熱費	400,000	384,480	15,520	96%	水道代・電気代
	事務機リース料	2,600,000	2,437,296	162,704	94%	コピー印刷複合機×2台、パソコン、電話、LED一式、サーバー関連
	事務消耗費	400,000	320,898	79,102	80%	コピー紙・印刷用紙・インク・トナー・文具等
	事務印刷費	900,000	604,696	295,304	67%	名刺・封筒・複合機カウンター料金
	通信費	350,000	346,501	3,499	99%	郵送料、振込手数料
	電話料	250,000	178,886	71,114	72%	固定電話×1、FAX
	資料費	160,000	182,670	△ 22,670	114%	新聞・書籍・資料購入・NHK受信料
	ホームページ・PC関係費	900,000	727,469	172,531	81%	プロバイダー費、ホームページ費、WEB会議関連
	顧問料	600,000	583,000	17,000	97%	税制経営研究所顧問料、飯田社会保険事務所包括受託報酬料
	雑費	200,000	136,454	63,546	68%	ごみ処理券、諸会費、電柱広告、非接触温度計、カメラ三脚等
	ニュース関係費	1,200,000	1,158,179	41,821	97%	6月、12月に発行
	会員証製作費	700,000	499,699	200,301	71%	作成・発送、アルバイト
8	事務所関係費	3,487,270	3,570,800	△ 83,530	102%	
	固定資産税	850,000	845,800	4,200	100%	土地、建物
	建物保険料・警備費	420,000	507,730	△ 87,730	121%	セコム警備費・火災保険料、故障修理91,740円
	減価償却費引当金支出	2,217,270	2,217,270	0	100%	2021年度分減価償却
9	役員行動費	2,000,000	1,308,664	691,336	65%	会長・副会長・理事交通費・宿泊費(広域理事含む)
10	職員関係費	13,600,000	13,484,828	115,172	99%	
	職員給与	11,400,000	11,352,196	47,804	100%	職員2名
	法定福利費	1,950,000	1,921,673	28,327	99%	社会保険事業主負担、労働保険料
	福利厚生費	250,000	210,959	39,041	84%	通勤定期、健康診断
11	カレンダー・テキスト費	2,350,000	1,880,029	469,971	80%	
	カレンダー	2,200,000	1,691,698	508,302	77%	制作費、送料 光陽メディア4,500部=121,200円
	ハイキングABC	20,000	20,400	△ 400	102%	送料
	セカンドステップ	20,000	13,409	6,591	67%	送料
	山筋ゴーゴー体操	50,000	7,053	42,947	14%	原稿修正・3,500部製作、発送
	バッジ・腕章	10,000	1,184	8,816	0%	
	その他書籍購入費	50,000	146,285	△ 96,285	293%	登山詳細図等仕入れ、その他書籍発行料
12	特定預金支出	700,000	700,000	0	100%	
	退職金引当積立金支出	700,000	700,000	0	100%	
	財政安定積立金支出	0	0	0	0%	2021年度なし
13	予備費	500,000	124,050	375,950	25%	パートナーズ検証委員会交通費、他
14	その他の支出	0	0	0	-	未収連盟費(2017年分沖縄県連)
当期支出合計(C)		40,817,270	34,469,036	6,348,234	84%	
当期収支差額(A)-(C)		△ 4,245,630	3,874,747	△ 8,120,377		
次期繰越収支差額(B)-(C)		1,952,695	10,073,072	△ 8,120,377		

財産目録など

決議・決定集(冊子)を参照ください。

**2021年(第35期上期) 特別会計決算書**

2021年1月1日～12月31日

**《安全対策基金》**

**I 収入の部**

(単位:円)

科目	補助科目	2021年予算	2021年決算	予算残	執行率	備考
1	労山基金振替収入	10,000,000	10,000,000	0	100%	基金払込金の20%ただし1,500万円を限度とする。(定款第4章11条の3)
2	雑収入	-	95	△ 95	-	預金利息
3	ココヘリ繰入金	600,000	758,164	△ 158,164	126%	ココヘリ代理店マージン
当期収入合計(A)		10,600,000	10,758,259	△ 158,259	101%	
前期繰越収支差額		10,345,329	10,345,329	0		
収入合計(B)		20,945,329	21,103,588	△ 158,259		

**II 支出の部**

科目	補助科目	2021年予算	2021年決算	予算残	執行率	備考
1	全国雪崩講習会	1,600,000	830,561	769,439	52%	例年通り
2	中央セミナー関係費	800,000	0	800,000	0%	
3	ハイキング学校関係費	0	0	0	-	
4	技術教育関係費	2,600,000	1,227,185	1,372,815	47%	
	登山技術講習会	1,000,000	315,446	684,554	32%	山筋ゴーゴー講座、若手クライミング講習
	役員・講師派遣費用	1,000,000	620,574	379,426	62%	地方連盟への役員・講師派遣交通費補助他
	MFA講習費	100,000	3,485	96,515	3%	
	学習資料作成費	200,000	0	200,000	0%	
	全国登山学校担当者交流会	300,000	287,680	12,320	96%	11月
5	救助隊関係費	700,000	581,090	118,910	83%	
	全国救助技術交流会	600,000	581,090	18,910	-	
	全国救助技術研修会	0	0	0	0%	
	測定器他維持管理費	100,000	0	100,000	0%	
6	遭難対策関係費	1,600,000	938,308	661,692	59%	
	遭難対策研究集会	0	0	0	0%	
	遭難担当者会議	0	0	0	0%	
	全国山岳遭難対策協議会	20,000	2,760	17,240	14%	
	S&R支部会議	0	0	0	-	
	S&R研究機構	300,000	200,000	100,000	67%	事故調査分担金、研究支援金
	各学会参加費	80,000	0	80,000	0%	日本雪氷学会、日本山岳救助委員会他
	部員研修・資料費	500,000	423,988	76,012	85%	
	器材購入費	400,000	5,598	394,402	-	
	岩場ゲレンデ環境整備費	200,000	300,000	△ 100,000	150%	
	ココヘリ補助金労山捜索隊	100,000	5,962	94,038	6%	
7	地方協議会補助費	2,890,000	1,600,000	1,290,000	55%	
	ブロック雪崩講習会補助	1,650,000	1,050,000	600,000	64%	※1
	ブロック安全対策講習会補助	1,240,000	550,000	690,000	44%	※2
8	地方連盟登山学校・講習会補助	5,330,000	4,100,500	1,229,500	77%	※3
9	事務費	1,200,000	1,815,436	△ 615,436	151%	遭難対策活動費・振込手数料その他
10	予備費	1,000,000	0	1,000,000	0%	ココヘリ登山時報掲載料
	雑費	100,000	0	100,000	0%	
当期支出合計(C)		17,820,000	11,093,080	6,726,920	62%	
当期収支差額(A)-(C)		△ 7,220,000	△ 334,821	△ 6,885,179		
次期繰越収支差額(B)-(C)		3,125,329	10,010,508	△ 6,885,179		

※1 ブロック雪崩講習会補助は北海道30万円・他15万円×9ブロック

※2 ブロック救助隊交流会補助:10万円×10ブロック

※3 20万円×5地方連盟(1,000人以上)+15万円×6地方連盟(600人以上~1,000人未満)

+12万円×5地方連盟(300人~600人未満)+10万円×18地方連盟(100人~300人未満)+8万円×15地方連盟(100人未満)

財産目録など

決議・決定集(冊子)を参照ください。

## 2021年(第35期下期) 機関誌会計決算書

2021年1月1日～12月31日

### I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2021年予算	2021年決算	予算残	執行率	備考
1	購読料	7,500,000	6,746,597	753,403	90%	
	団体購読	7,000,000	6,074,190	925,810	87%	
	個人購読	500,000	672,407	△ 172,407	134%	
3	広告料	500,000	360,000	140,000	72%	
4	編集助成金	3,000,000	3,000,000	0	100%	一般会計より機関誌発行への助成金
5	雑収入	0	13	△ 13		受取利息、寄付金
当期収入合計(A)		11,000,000	10,106,610	893,390	92%	
前期繰越収支差額		91,737	91,737	0		
収入合計(B)		11,091,737	10,198,347	893,390		

### II 支出の部

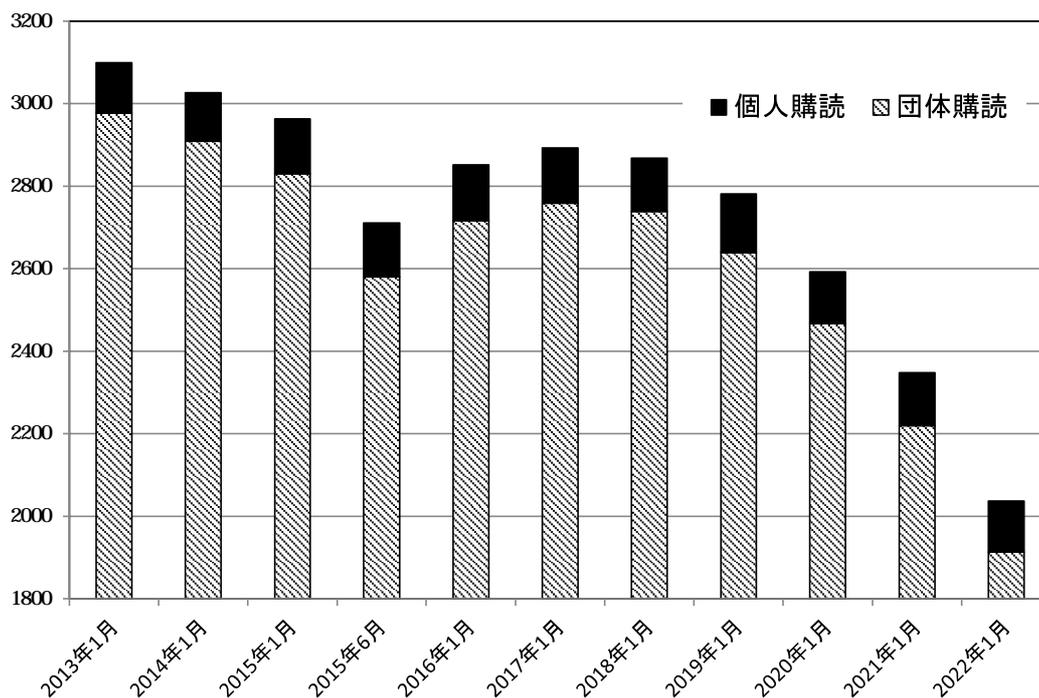
科目	補助科目	2021年予算	2021年決算	予算残	執行率	備考
1	印刷関係費	7,800,000	7,842,450	△ 42,450	101%	
2	発送関係費	1,800,000	1,757,895	42,105	98%	時報発送料
3	原稿料	1,200,000	1,085,106	114,894	90%	
4	編集取材費	190,000	196,937	△ 6,937	104%	
	旅費交通費	50,000	50,590	△ 590	101%	交通費・宿泊費
	通信費	100,000	67,317	32,683	67%	送料
	会議費	10,000	0	10,000	0%	
	編集費	20,000	79,030	△ 59,030	395%	編集スタッフ謝礼
	資料費	10,000	0	10,000	0%	
5	消費税	0	0	0	-	
6	雑費	160,000	252,435	△ 92,435	158%	
7	予備費	10,000	0	10,000	0%	
当期支出合計(C)		11,160,000	11,134,823	25,177	100%	
当期収支差額(A)-(C)		△ 160,000	△ 1,028,213	868,213		
次期繰越収支差額(B)-(C)		△ 68,263	△ 936,476	868,213		

財産目録など

決議・決定集(冊子)を参照ください。

## 登山時報購読数の推移

	2013年1月 (2月号)	2014年1月 (2月号)	2015年1月 (2月号)	2015年6月 (7月号)	2016年1月 (2月号)	2017年1月 (2月号)	2018年1月 (2月号)	2019年1月 (2月号)	2020年1月 (2月号)	2021年1月 (2月号)	2022年1月 (2月号)
団体購読	2977	2909	2830	2580	2716	2759	2739	2639	2467	2219	1913
個人購読	122	118	133	131	136	134	129	142	125	129	124
	3099	3027	2963	2711	2852	2893	2868	2781	2592	2348	2037



## 1. 加入者と運用の概況

労山基金個人の今期加入者数は**15,986**名（前年度比**639**名減）で、11月末の会員数に対する加入比率は**93.6%**（前年**94.7%**）だった。労山基金の寄付金は、個人が**66,053,900**円（前年度比約**550**万円減）、団体は**698,000**円（前年度比**124,000**円増）の入金で、寄付金合計が**66,751,900**円（前年度比約**535**万円の減）となった。

交付件数は今年度**186**件**188**名（前年度比**15**件**14**名減）で、交付金額は**24,825,185**円（前年度比約**105**万円の増）、寄付金の総額に対する交付金の率は**37.2%**の交付率となった。20年度と比べると**105**万円ほど増加したが、新型コロナウイルス禍の影響により慎重な登山活動が続いていると思われる。今期の収入合計は寄付金、受取利息、減価償却引当金、その他を含めて**70,192,962**円となり、交付金支払いや事務経費の支出合計は**53,663,294**円となった、差し引き**16,529,668**円を安全対策引当勘定に繰り入れた。

## 2. 交付内容の内訳と前年度比

死亡・行方不明者の推移は、**2019**年度**4**名、**20**年度**5**名、**21**年度は**5**名と3年連続して一桁台前半にとどまった。**2021**年度の死亡交付者数は**6**名で、死亡交付金**660**万円（前年度**160**万円）だった。交付金額が昨年度と同程度に少なかったのは全体としての山行回数減少、チャレンジ的な山行を控える傾向が続いているためと思われる。

一方、救助・捜索の交付金額は**230,185**円（前年度**2,083,097**円で前年度比**11.0%**）と二桁台も少なかった。これは新型コロナの影響で海外登山が出来なかったことが最大の要因と思われる。救援者費用は一件もなかった。

入通院の交付は**182**名（前年度比**13**名の減）で、交付金額は**18,013,510**円（前年度約**350**万円減）これは単純に新型コロナの影響により慎重な登山活動が続いているためで、コロナ感染拡大が収束すればまた増加する可能性は大きい。これまでの全加入者数に対する登山中の事故交付率の平均は**1.2%**程度だったが、**16**年度以降毎年上昇し**19**年度は**1.4%**にピークを迎えたが、**20**年度**1.15%**、**21**年度**1.24%**と低レベルで推移している。

## 3 活動の概要

### (1) 交付申請の審議

事故一報、交付申請の遅れが数件あり厳正に審議した。遅れるに正当な理由があり、会が今後同じ間違いを起こさない為の対応策を会内に周知徹底することを条件に受理した。

また、3倍交付特典申請においては、コースを特定するために多大な労力を要した。昭文社の地図に該当がないものは公的な資料を要求して審査した。

### (2) 基金実務担当者会議の開催

**2021**年**6**月**26**日（土）

長野県連盟の説明会を松本で行った。9会（17人）が出席し、4会が欠席した。

**2021**年**10**月**2**日（土）

奥羽・東北ブロックの説明会を新型コロナの感染が拡大のためズームで行った。16人が出席した。

## 2021年(第35期上期) 労山山岳事故対策基金会計決算書

2021年1月1日～12月31日

## 第一種基金

## I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2021年予算	2021年決算	差異	比率	備考
1	第一種払込金	0	0	0		
当期収入合計		0	0	0		
前期繰越収支差額		1,750,000	1,750,000			第一種基金2021年期首残高

## II 支出の部

科目	補助科目	2021年予算	2021年決算	差異	比率	備考
1	第一種払込金解除	0	4,439,806	△ 4,439,806		
当期支出合計		0	10,220,000	△ 4,439,806		第一種基金制度廃止により返金
当期収支差額		0	△ 10,220,000			第一種基金2021年度収支差額
次期繰越収支差額		10,750,000	530,000			第一種基金2021年度期末残高

## 第二種基金

## I 収入の部

科目	補助科目	2021年予算	2021年決算	差異	比率	備考
1	第二種個人寄付金	65,047,700	66,053,900	△ 1,006,200	102%	
	継続	62,316,000	62,211,000	105,000	100%	
	新規	2,278,200	3,101,700	△ 823,500	136%	
	増し口(追加)	244,000	393,000	△ 149,000	161%	
	移籍	209,500	348,200	△ 138,700	166%	
2	第二種団体寄付金	702,000	698,000	4,000	99%	
3	受取利息	1,300,000	1,043,792	256,208	80%	有価証券受取利息・運用益・普通預金・定期預金
4	減価償却引当金収入	2,217,270	2,217,270	0	100%	一般会計より建物減価償却分繰入
5	その他収入	0	180,000	△ 180,000	-	寄付
当期収入合計		69,266,970	70,192,962	△ 925,992	101%	
前期繰越収支差額		0	0	0		

## II 支出の部

科目	補助科目	2021年予算	2021年決算	差異	比率	備考
1	交付金	32,464,320	24,858,235	7,606,085	77%	
	交付金	32,404,320	24,825,185	7,579,135	77%	
	交付雑費	60,000	33,050	26,950	55%	交付金の払込手数料
2	無事故報奨金支出	600,000	527,245	72,755	88%	報奨金支払、払込手数料、表彰状交付費用
3	安全対策基金支出	10,000,000	10,000,000	0	100%	特別会計安全対策基金へ
4	地方団体事務推進費	1,700,000	1,671,000	29,000	98%	地方連盟基金加入者数×100円+払込手数料
5	事務委託費	2,200,000	2,200,000	0	100%	一般会計へ
6	事務所維持費	1,800,000	1,800,000	0	100%	
	事務所分担金	1,200,000	1,200,000	0	100%	事務所分担金@10万円×12ヶ月
	事務機器分担金	600,000	600,000	0	100%	コピーリース代@5万円×12ヶ月
7	職員関係費	9,050,000	7,398,736	1,651,264	82%	
	職員関係費	6,550,000	6,472,381	77,619	99%	給与費・法定福利費・福利厚生費・退職金積立支出
	入力作業委託費	2,500,000	926,355	1,573,645	37%	払込金データ入力作業他
8	事務経費	4,640,440	2,990,808	1,649,632	64%	
	パソコン器材・事務用品費	600,000	381,600	218,400	64%	労山システム追加・修正、公益法人会計ソフト保守、OA機器他
	通信費	800,000	670,846	129,154	84%	郵便振替払込手数料、フリーダイヤル、発送費
	委員会活動費	1,500,000	455,402	1,044,598	30%	基金実務担当者講習会・地方連盟説明会交通費、保険業法PT
	印刷・宣伝費	150,000	23,980	126,020	16%	規定、パンフレット、封筒、HP作成
	コンピュータ保守管理費	264,000	264,000	0	100%	パソコンメンテナンス契約 @21,600円/月
	税理士顧問料	440,000	440,000	0	100%	27,000円/月×12ヶ月+決算処理10,8000円
	弁護士顧問料	736,440	736,440	0	100%	55,685円+消費税×12ヶ月
	雑費	150,000	18,540	131,460	12%	振り込み手数料他
9	減価償却引当預金支出	2,217,270	2,217,270	0	100%	2021年度の新事務所減価償却額を定期預金へ
10	安全対策引当金繰入支出	4,594,940	16,529,668	△ 11,934,728	360%	
当期支出合計		69,266,970	70,192,962	△ 925,992		
当期収支差額		0	0			
次期繰越収支差額		0	0			

財産目録など

決議・決定集(冊子)を参照ください。

第一種基金預り金一覧表

NO	団体名	団体番号	2021年出金	2021.12/31
1	帯広勤労者山岳会	013101	100,000	0
2	釜石勤労者山岳会	030201	680,000	0
3	胆江勤労者山岳会	030401	10,000	0
4	花巻山友会	030601	30,000	0
5	朋友会	060602	100,000	0
6	郡山勤労者山岳会	070201	40,000	0
7	樹生勤労者山岳会	080202	40,000	0
8	甘楽町の会	080203	200,000	0
9	高崎溪嶺会	080404	※連絡不通	10,000
10	栃木県勤労者山岳連盟	090000	200,000	0
11	吉河青峰山の会	100202	50,000	0
12	上浦勤労者山岳会	100401	※連絡不通	80,000
13	つくばね山の会	100403	20,000	0
14	あすなろ山岳会	110102	160,000	0
15	本庄 月見山岳会 ※①	110604	310,000	0
16	杉並勤労者山岳会	120306	20,000	0
17	杉並山の会	120308	200,000	0
18	山岳会 ヤマニテ	120310	10,000	0
19	石神井山の会	120317	100,000	0
20	山岳会	120319	60,000	0
21	めぐろ山学クラブ・仲間	120704	70,000	0
22	渋谷山の会		※連絡不通	10,000
23	紅稜クラブ		※連絡不通	180,000
24	山の会 樹嶽霧	120804	60,000	0
25	明治学院大学山水会		※連絡不通	200,000
26	ちば山の会	130401	500,000	0
27	千葉こまくさHC	130403	200,000	0
28	船橋勤労者山の会	130603	380,000	0
29	山の会 岳樺クラブ	130804	100,000	0
30	川崎勤労者山岳会	140201	10,000	0
31	みずなら山の会	140702	200,000	0
32	山梨山の会	150801	400,000	0
33	高岡勤労者山岳会	170401	※連絡不通	10,000
34	富山勤労者山岳会	170403	40,000	0
35	石川県勤労者山岳連盟	180000	500,000	0
36	石川こぶし山岳会 ※②	180101	10,000	0

※寄付の申し出

	全国連盟への寄付
①本庄 月見山岳会=労山及び埼玉県連へ	310,000 150,000
②石川こぶし山岳会=労山へ	10,000 10,000
③下京勤労者山岳会=労山へ	10,000 10,000
④周南勤労者山の会「柳道」=山口県連へ	40,000 -
⑤三池勤労者山岳会=労山へ	10,000 10,000
	<b>180,000</b>
地方連盟への寄付	<b>200,000</b>

2021年12月31日

NO	団体名	団体番号	2021年出金	2021.12/31
37	伊那山仲間	200102	20,000	0
38	山岳会 ロック&ブッシュ	200308	500,000	0
39	山の会ながの	200502	300,000	0
40	磐田山の会ケルン	210101	※連絡中	10,000
41	沼津勤労者山岳会	210501	50,000	0
42	浜北勤労者山岳会	210602	※連絡不通	10,000
43	富士希更山の会		※連絡不通	10,000
44	あつた勤労者山岳会	220104	300,000	0
45	春日井峠の会	220201	10,000	0
46	名古屋山歩会	220502	30,000	0
47	大垣勤労者山岳会	230101	10,000	0
48	滋賀山友会	250301	50,000	0
49	乙訓山の会	260102	50,000	0
50	下京勤労者山岳会 ※③		10,000	0
51	奈良勤労者山岳会	270501	180,000	0
52	紀伊山友会	280701	130,000	0
53	アルペン 芦山	300102	30,000	0
54	神戸カタツムの会	300205	700,000	0
55	神戸中央山の会	300209	300,000	0
56	摩耶山友会	300701	1,000,000	0
57	山の会 かじか	300801	40,000	0
58	鳥取久松山岳会	310401	20,000	0
59	岡山勤労者山岳会	330101	10,000	0
60	倉敷勤労者山岳会	330201	10,000	0
61	倉敷ハイキング倶楽部	330202	10,000	0
62	周南勤労者山の会「柳道」 ※④	350301	40,000	0
63	香川県勤労者山岳連盟	360000	1,000,000	0
64	徳島山と友の会	370405	30,000	0
65	松山勤労者山岳会	390702	300,000	0
66	飯塚山の会	400102	※連絡不通	10,000
67	小倉勤労者山岳会	400204	30,000	0
68	福岡勤労者山岳会	400603	200,000	0
69	マップ山の会	400701	10,000	0
70	三池勤労者山岳会 ※⑤	400702	10,000	0
71	長崎カルチャー山の会	420513	30,000	0
72	熊本勤労者山岳会	430201	10,000	0
<b>合計</b>			<b>530,000</b>	

返金額	9,840,000
地方連盟へ寄付	200,000
全国連盟へ寄付	180,000
連絡不通等	530,000
	10,750,000

日本勤労者山岳連盟貸借対照表総括表

2021年12月31日現在

(単位:円)

科目	合計	一般会計	安全対策基金会計	機関誌会計	労山基金会計
<b>【資産の部】</b>					
流動資産					
現金	1,223,067	599,491	10,161	161,586	451,829
普通預金	47,141,274	9,702,439	6,320,506	610,657	30,507,672
郵便振替	66,829,301	293,490	3,779,841	1,253,739	61,502,231
未収連盟費	325,610	325,610	0	0	0
未収金	624,263	243,500	0	380,763	0
前払金	525,314	371,690	0	153,624	0
第一種基金積立金	530,000	0	0	0	530,000
仮払金	0	0	0	0	0
安全対策現預金	△ 92,461,732	0	0	0	△ 92,461,732
流動資産合計	24,737,097	11,536,220	10,110,508	2,560,369	530,000
固定資産					
基本財産					
土地	76,552,430	0	0	0	76,552,430
建物	27,223,150	0	0	0	27,223,150
減価償却引当定期預金	34,367,685	0	0	0	34,367,685
基本財産引当定期預金	13,856,735	0	0	0	13,856,735
有価証券	148,000,000	0	0	0	148,000,000
現金	0	0	0	0	0
基本財産合計	300,000,000	0	0	0	300,000,000
その他の固定資産					
什器備品	639,579	639,574	4	0	1
構築物	140,764	0	0	0	140,764
安全対策引当有価証券	87,893,044	0	0	0	87,893,044
安全対策引当定期預金	10,000,000	0	0	0	10,000,000
安全対策引当普通預金	106,480,038	0	0	0	106,480,038
安全対策引当立替金	0	0	0	0	0
長期前払費用	522,800	0	0	0	522,800
退職積立金	9,700,000	9,700,000	0	0	0
財政安定積立	6,000,000	6,000,000	0	0	0
その他の固定資産合計	221,376,225	16,339,574	4	0	205,036,647
固定資産合計	521,376,225	16,339,574	4	0	505,036,647
資産合計	546,113,322	27,875,794	10,110,512	2,560,369	505,566,647
<b>【負債の部】</b>					
流動負債					
未払金	871,880	1,005	100,000	770,875	0
前受金	2,725,970	0	0	2,725,970	0
預り金	1,462,143	1,462,143	0	0	0
流動負債合計	5,059,993	1,463,148	100,000	3,496,845	0
固定負債					
第一種基金預り金	530,000	0	0	0	530,000
安全対策引当金	204,373,082	0	0	0	204,373,082
退職給与引当金	9,700,000	9,700,000	0	0	0
財政安定引当金	6,000,000	6,000,000	0	0	0
固定負債合計	220,603,082	15,700,000	0	0	204,903,082
負債合計	225,663,075	17,163,148	100,000	3,496,845	204,903,082
<b>【正味財産の部】</b>					
正味財産	320,450,247	10,712,646	10,010,512	△ 936,476	300,663,565
(うち基本金)					(300,000,000)
負債及び正味財産合計	546,113,322	27,875,794	10,110,512	2,560,369	505,566,647

**固定資産台帳 兼 減価償却額明細書**

2021年1月1日から12月31日まで

《一般会計》

NO	品名	償法	購入年月日	取得価額	耐年	期首帳簿価額	当期償却額	期末帳簿価格	償却累計額
1	人工壁	旧定率	2006.7	1,447,000	25	691,666	52,092	639,574	807,426
	建物 合計			1,447,000		691,666	52,092	639,574	807,426
<b>合計</b>									
				<b>1,447,000</b>		<b>691,666</b>	<b>52,092</b>	<b>639,574</b>	<b>807,426</b>

《特別会計》

NO	品名	償法	購入年月日	取得価額	耐年	期首帳簿価額	当期償却額	期末帳簿価格	償却累計額
1	ウインチ一式	旧定額	2002.5	588,735	10	1	0	1	588,734
2	ウインチ一式	旧定額	2002.5	588,735	10	1	0	1	588,734
3	AED ハートスタートFR2 M3861A	旧定率	2006.7	399,000	5	1	0	1	398,999
4	プロジェクター EMP-1715	旧定率	2007.2	241,500	5	1	0	1	241,495
	什器備品合計			1,817,970		4	0	4	1,817,962
<b>合計</b>									
				<b>1,817,970</b>		<b>4</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>1,817,962</b>

《労山山岳事故対策基金会計》

NO	品名	償法	購入年月日	取得価額	耐年	期首帳簿価額	当期償却額	期末帳簿価格	償却累計額
1	新事務所 建物	旧定額	2006.7	61,590,835	25	29,440,420	2,217,270	27,223,150	34,367,685
	建物 計			61,590,835		29,440,420	2,217,270	27,223,150	34,367,685
1	新事務所 外構工事	旧定額	2006.7	1,507,150	15	164,060	23,296	140,764	1,366,386
	構築物 計			1,507,150		164,060	23,296	140,764	1,366,386
1	セコム設置費用	旧定率	2006.07	2,106,800	6	1	0	1	2,106,799
	器具及び備品 計			2,106,800		1	0	1	2,106,799
<b>合計</b>									
				<b>65,204,785</b>		<b>29,604,481</b>	<b>2,240,566</b>	<b>27,363,915</b>	<b>37,840,870</b>

特別会計/地方協議会補助・地方連盟登山学校補助 2021年

ブロック	道 用	地方協議会雪崩講習会		地方協議会安全対策講習会		地方登山学校・講習会補助			
		北海道30万円他15万円	10～20万円	会員数	予算	送金日	補助金額	実施内容	
北海道	道央	11/5 ¥300,000 第27回北海道雪崩講習会	11/5 ¥100,000 道央地区連盟救助隊2021年度春季訓練	718	150,000	10/1	150,000	第50回北海道登山研究集会 開催	
	道北			27	80,000	11/5	80,000	第50回北海道登山研究集会 開催	
	道東			61	80,000	11/5	80,000	第50回北海道登山研究集会 開催	
奥羽	青森県	11/30 ¥50,000 青森県連盟雪崩講習会2021 11/30 ¥50,000 青森県連盟救助隊交流会		150	100,000	11/30	100,000	第18回登山教室	
	岩手県			257	100,000				
	秋田県			2	80,000				
東北	山形県	2/16 ¥150,000 東北雪崩講習会2021	7/30 ¥100,000 沢救助搬出技術研修会、クライミングレスキュー技術研修会、レスキュー研修会、雪山搬出技術研修会	34	80,000				
	宮城県			131	100,000	5/31	100,000	初めての人のためのクライミング教室、初級沢登り教室、入門冬山登山学校	
	福島県			113	100,000	5/31	100,000	雪山歩行訓練講習会、岩登り講習会、沢登り講習会	
関東	群馬県	11/5 ¥150,000 第29回関東雪崩講習会		364	120,000	5/14	120,000	ロープワーク、地図読、雪山等の講習会	
	栃木県			391	120,000	12/24	120,000	ハイキングセミナー、研修会	
	茨城県			149	100,000	12/24	100,000	安全登山教室、初心者講習ハイク	
	埼玉県			615	150,000	11/5	150,000	第25期登山学校、遭難防止・安全教育委員会、女性・ハイキング・スキー交流会	
	東京都			2,466	200,000	12/24	200,000	東京登山学校「第26期ハイキングリーダーコース」	
	千葉県			663	150,000	10/1	150,000	雪上技術講習会	
	神奈川県			507	120,000				
	山梨県			82	80,000				
	北信越			新潟県	1/28 ¥100,000 第25回 北陸雪崩講習会		254	100,000	
富山県		121	100,000	5/31			100,000	第3回労山登山セミナー	
石川県		259	100,000	11/5			100,000	2021年度 ステップアップ講習会	
福井県		68	80,000						
長野県		288	100,000	5/26			100,000	第106・107回登山学校、コンパニオンレスキュー講習会	
東海	静岡県	11/30 ¥270,000 第20回東海ブロック雪崩講習会		422	120,000	10/1	120,000	登山技術学習会、安全登山講習会	
	愛知県			913	150,000	11/30	150,000	第53期氷雪技術講習会、雪山安全講習会	
	岐阜県			278	100,000	11/30	100,000	雪山歩行技術講習会、県連救助隊冬季訓練	
	三重県			2	80,000				
近畿	滋賀県	11/5 ¥150,000 2021年近畿ブロック雪崩事故を防ぐための講習会(講師研修会)	11/5 ¥180,000 講習動画資料作成	171	100,000	5/31	100,000	安全登山講習会(ステップアップ登山講座2021)	
	京都府			938	150,000	12/24	150,000	第14回初級登山学校	
	奈良県			238	100,000	7/30	70,000	テーピング講習会、広域捜索訓練、ハイカーのための搬出講習会、山筋講習会	
	和歌山県			350	120,000	11/30	120,000	事故防止安全対策講習会	
	大阪府			1,215	200,000	5/26	200,000	中級登山学校、統合初級アルパインリーダー学校他 前年度(2020年)分	
				1,140	200,000	11/30	200,000	中級登山学校、山の教室、はじめての雪山講習会、手話で学ぶ登山入門教室	
	兵庫県			1,967	200,000	12/24	200,000	岩搬出訓練、中級ハイキング講座	
中国	鳥取県			32	80,000				
	島根県			199	100,000				
	岡山県			851	150,000	12/21	150,000	2021年度安全登山講習	
	広島県			256	100,000	8/30	100,000	第3回初級登山学校	
	山口県			80	80,000	12/24	80,000	安全登山ハイキング講座	
四国	香川県			266	100,000	8/30	100,000	ピギナーのための登山入門講座、Enjoy登山学校、山での応急処置	
	徳島県			211	100,000	12/24	100,000	冬山登山教室、まさかのときの対処法研修、岩登り教室	
	高知県			103	100,000				
	愛媛県			49	80,000	12/24	40,500	沢登り安全対策・秋季遭難対策・アイスクライミング・冬山基礎講習会	
九州	福岡県			741	150,000	11/30	150,000	2021年度登山学校	
	佐賀県			80	80,000	11/30	20,000	岩登り講習会	
	長崎県			251	100,000	12/24	100,000	山筋ゴーゴー体操学習会、講習会用の機材購入	
	熊本県			79	80,000				
	大分県			47	80,000	11/30	20,000	登山学校(安全登山訓練)	
	宮崎県			49	80,000				
	鹿児島県			93	80,000	11/30	100,000	安全登山教室	
	沖縄県			24	80,000				
	総合計	1,050,000	550,000					※1 ブロック雪崩講習会補助は北海道30万円・他15万円×9ブロック ※2 ブロック安全対策講習会補助:20万円×1ブロック(5000人以上)+18万円×1ブロック(4000~5000人未満)+12万円×3ブロック(1000~2000人)、10万円×5ブロック(1000人未満)	
	予算額	1,650,000	1,240,000		5,330,000		4,120,500	※3 20万円×3地方連盟(1000人以上)+15万円×7地方連盟(800人以上~1000人未満)+12万円×5地方連盟(300人~800人未満)+10万円×18地方連盟(100人~300人未満)+8万円×16地方連盟(100人未満)	
	%	64%	44%				77%		

赤字は前年度分、緑字は2022年の振込。

## 会計監査報告書

2021年度（自2021年1月1日 至2021年12月31日）日本勤労者山岳連盟の監査を、2022年2月1日に当該全国連盟事務所内において行った結果、下記決算についてすべて公正妥当であり、適正に処理がなされていることを認めます。

### 記

- 1 一般会計
- 2 特別会計
- 3 機関誌会計
- 4 労山基金会計

2022年2月1日

日本勤労者山岳連盟

監事

田村 廣史



渡辺 三男



# 義援金会計報告

2022年2月19日

－2022年度分－

労山全国連盟事務局

2021年度の義援金会計については、入出金のいずれもありませんでした。

したがって、前年からの残額 96万 6742円が、そのまま次期に繰り越されます

# 2022 年度予算編成方針

財政部

## <一般会計>

2022年度は、全国の会員数が17,106名と前年より444名減少し、年間連盟費は約70万円の減収が見込まれる。しかし、昨年もコロナ禍が続いて、例年どおりには活動が実施できなかったため支出も減少した。結果として後年度の活動資金となる繰越金が増加した。また、昨年は「日本スポーツ協会」から「スポーツ事業継続支援補助金」も労山に交付された。こうした結果、2022年度一般会計予算は、例年どおりの予算組みが可能となった。

各項目については前年実績、および活動計画に基づき、算定した。また、労山専従職員が1名交代するので、それを見込んで職員関係費を算定した。機関誌関係費については、後述のように、赤字の繰越金となったため、編集助成金を前年同額としたうえで、労山名誉会員や顧問、関連団体への無料贈呈分の費用を見込んだ。

昨年受領した「スポーツ事業継続支援補助金」については、今後、オンライン会議等をいっそう強化する措置を講じる資金とするため、予備費で多めに計上した。

こうした措置を行ったうえで、今後の安定した財政運営を考慮し、「財政安定積立金」に300万円を積み増しする。

## <安全対策基金>

昨年度も、コロナ禍で予定した諸活動が実施できないなどで、今年度への繰越金は前年度とほぼ同額となった。また、「ココヘリ」への労山会員加入者はさらに増加し、割り戻し収入が85万円と見込まれる。

支出面では、2022年度に予定している事業を考慮して、ほぼ例年どおりの計上ができた。

このため、労山基金会計からの繰入額は、2022年度も1000万円とする。

## <機関誌会計>

「登山時報」の急激な購読者減少が続いている。また、広告料収入もコロナ禍で1社を残し、他社は撤退したため、厳しい状況が続く。このため、昨年度は赤字決算とせざるをえなかった。

このため、2022年度は支出額の削減をはかり、印刷費を年間100万円減少で計上せざるをえなかった。購読料を前納していただいている読者の皆さんには、大変申し訳ないが、ご理解をお願いします。また、これまで労山名誉会員や顧問50名、他の登山団体など関連他団体100団体に、毎月合計150冊を無料贈呈しているが、この費用相当額を、一般会計から補てんすることとした。「登山時報」の今後のあり方については、別途、方針が策定される予定である。

# 一般会計2022年度収支予算書

2022年1月～12月

## I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2022年予算	2021年決算	増減	備考
1	連盟費収入	28,477,560	29,177,880	△ 700,320	577団体、17,106名
2	労山基金事務受託費	2,200,000	2,200,000	0	
3	事務所分担金・コピー機使用料	2,545,000	2,545,000	0	
	労山基金事務所分担金	1,200,000	1,200,000	0	労山基金より 100,000円×12ヶ月
	労山基金事務消耗費	600,000	600,000	0	労山基金より 50,000円×12ヶ月
	東京都連盟事務所分担金	660,000	660,000	0	都連盟より 55,000円×12ヶ月
	会議室分担金	85,000	85,000	0	労山団体1回3,000円
4	カレンダー・テキスト収入	2,460,000	3,328,500	△ 868,500	
	カレンダー連盟	1,900,000	1,958,500	△ 58,500	前年実績による
	カレンダー一般	70,000	76,440	△ 6,440	前年実績による
	ハイキングABC	180,000	181,078	△ 1,078	一部 300円
	セカンドステップ	170,000	174,092	△ 4,092	一部400円
	山筋ゴーゴー体操	40,000	42,345	△ 2,345	一部200円
	バッジ・腕章	0	59,300	△ 59,300	バッジ・腕章・旗
	書籍・その他	100,000	836,745	△ 736,745	UIAAハンドブック、労山の60年、その他
5	財政安定引当金取崩収入	0	0	0	
6	その他収入	0	1,039,000	△ 1,039,000	
7	雑収入	0	53,403	△ 53,403	
当期収入合計(A)		35,682,560	38,343,783	△ 2,661,223	
前期繰越収支差額		10,073,072	6,198,325	3,874,747	
収入合計(B)		45,755,632	44,542,108	1,213,524	

## II 支出の部

科目	補助科目	2022年予算	2021年決算	増減	備考
1	会議費	2,540,000	1,535,604	1,004,396	
	総会	2,500,000	0	2,500,000	2022年総会(リモートも併用)
	評議会	0	1,493,950	△ 1,493,950	
	理事会	40,000	41,654	△ 1,654	全理事招集会議補助
2	部局・委員会活動費	2,040,000	718,560	1,321,440	
	ハイキング委員会	150,000	24,591	125,409	委員交通費・通信費
	海外委員会	10,000	0	10,000	委員交通費・通信費
	遭難対策部	30,000	0	30,000	委員交通費・通信費
	青年学生委員会	10,000	0	10,000	委員交通費・通信費
	女性委員会	100,000	26,000	74,000	委員交通費・通信費
	自然保護委員会	390,000	453,199	△ 63,199	委員交通費・自然保護講座関係費含む
	山筋ゴーゴー体操推進委員会	120,000	0	120,000	委員会活動費
	メディア局	30,000	0	30,000	委員会活動費
	組織部	300,000	66,310	233,690	委員交通費・通信費
	地方強化会議	300,000	104,110	195,890	コロナ終息後の理事地方出張費
	国際関係	600,000	44,350	555,650	UAAA年会費等、総会開催を見込む
3	渉外費・分担金	500,000	373,788	126,212	新日本スポーツ連盟賛助金、その他 例年実績による

## II 支出の部

科目	補助科目	2022年予算	2021年決算	増減	備考
4	<b>全国集会関係費</b>	<b>800,000</b>	<b>134,757</b>	<b>665,243</b>	
	ハイキング交流集会	400,000	134,757	265,243	6月活動者会議、9月交流集会
	女性と登山全国集会	0	0	0	
	登山者自然保護集会	400,000	0	400,000	
5	<b>機関担当者会議</b>	<b>0</b>	<b>77,728</b>	<b>△ 77,728</b>	
	女性担当者会議	0	0	0	開催予定なし
	自然保護担当者会議	0	0	0	開催予定なし
	機関誌担当者会議	0	77,728	△ 77,728	開催予定なし
6	<b>機関誌関係費</b>	<b>3,000,000</b>	<b>3,000,000</b>	<b>0</b>	
7	<b>事務局関係費</b>	<b>7,520,000</b>	<b>7,560,228</b>	<b>△ 40,228</b>	
	水道光熱費	400,000	384,480	15,520	水道代・電気代(東京電力)
	事務機リース料	2,600,000	2,437,296	162,704	コピー・印刷複合機(2台)リース&保守代
	事務消耗費	400,000	320,898	79,102	コピー紙・印刷用紙・インク・トナー・文具等
	事務印刷費	700,000	604,696	95,304	名刺・封筒・複合機カウンター料金
	通信費	350,000	346,501	3,499	郵送料
	電話料	250,000	178,886	71,114	固定電話×1・FAX料金・プレッツ光
	資料費	200,000	182,670	17,330	新聞・書籍・資料購入
	ホームページ・PC関係費	900,000	727,469	172,531	プロバイダー費、ホームページ費、WEB会議費
	顧問料	600,000	583,000	17,000	税制経営研究所顧問料・飯田社会保険事務所包括受託報酬料
	雑費	1,000,000	136,454	863,546	ごみ処理券、諸会費、修繕費、登山時報贈呈分
	ニュース関係費	120,000	1,158,179	△ 1,038,179	労山ニュース 年2回発行
	会員証製作費	0	499,699	△ 499,699	
8	<b>事務所関係費</b>	<b>3,487,270</b>	<b>3,570,800</b>	<b>△ 83,530</b>	
	固定資産税	850,000	845,800	4,200	土地、建物
	建物保険料・警備費	420,000	507,730	△ 87,730	警備費・火災保険料
	減価償却費引当金支出	2,217,270	2,217,270	0	2021年度分減価償却費
9	<b>役員行動費</b>	<b>2,000,000</b>	<b>1,308,664</b>	<b>691,336</b>	会長・副会長・理事交通費・宿泊費(広域理事含む)
10	<b>職員関係費</b>	<b>13,801,717</b>	<b>13,484,828</b>	<b>316,889</b>	
	職員給与	11,838,971	11,352,196		職員2名(1名退職、1名新規採用)
	法定福利費	1,709,876	1,921,673		社会保険事業主負担・労働保険料
	福利厚生費	252,870	210,959		通勤定期・健康診断
11	<b>カレンダー・テキスト費</b>	<b>1,830,000</b>	<b>1,880,029</b>	<b>△ 50,029</b>	
	カレンダー	1,700,000	1,691,698	8,302	
	ハイキングABC	30,000	20,400	9,600	送料
	セカンドステップ	20,000	13,409	6,591	送料
	山筋ゴーゴー体操	20,000	7,053	12,947	送料
	バッジ・腕章	10,000	1,184	8,816	
	その他書籍購入費	50,000	146,285	△ 96,285	
12	<b>特定預金支出</b>	<b>3,700,000</b>	<b>700,000</b>	<b>3,000,000</b>	
	退職金引当積立金支出	700,000	700,000	0	
	財政安定積立金支出	3,000,000	0	3,000,000	
13	<b>予備費</b>	<b>1,500,000</b>	<b>124,050</b>	<b>1,375,950</b>	オンライン会議整備費含む
<b>当期支出合計(C)</b>		<b>42,718,987</b>	<b>34,469,036</b>		
<b>当期収支差額(A)-(C)</b>		<b>△ 7,036,427</b>	<b>3,874,747</b>		
<b>次期繰越収支差額(B)-(C)</b>		<b>3,036,645</b>	<b>10,073,072</b>		

# 安全対策基金2022年度収支予算書

2022年1月～12月

## 《安全対策基金会計》

### I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2022年予算	2021年決算	増減	備考
1	労山基金振替収入	10,000,000	10,000,000	0	第二種基金払込金の20%ただし1,500万円を限度とする。(定款第4章11条の3)
2	雑収入	0	95	△ 95	
3	ココヘリ繰入金	850,000	758,164	91,836	
当期収入合計(A)		10,850,000	10,758,259	91,741	
前期繰越収支差額		10,010,508	10,345,329	△ 334,821	
収入合計(B)		20,860,508	21,103,588	△ 243,080	

### II 支出の部

科目	補助科目	2022年予算	2021年決算	増減	備考
1	全国雪崩講習会	1,600,000	830,561	769,439	2021夏に講師研修会開催
2	全登研(中央セミナー)関係費	800,000	0	800,000	前回(2018年)実績による
3	技術教育関係費	2,700,000	1,227,185	1,472,815	
	登山技術講習会	800,000	315,446	484,554	山筋ゴーゴー体操指導者育成、若手クライミング講習会
	役員・講師派遣費用	1,000,000	620,574	379,426	地方連盟への役員・講師派遣交通費補助他
	MFA講習費	100,000	3,485	96,515	インストラクター養成費用
	学習資料調査・作成費	500,000	0	500,000	雪崩講習会テキスト改訂、テキスト作成に向けた筋力測定、他
	全国登山学校担当者交流会	300,000	287,680	12,320	11月開催予定
5	救助隊関係費	700,000	581,090	118,910	
	全国救助技術交流会	600,000	581,090	18,910	
	全国救助技術研修会	0	0	0	開催予定なし
	測定器他維持管理費	100,000	0	100,000	兵庫県百丈やぐら
6	遭難対策関係費	2,300,000	938,308	1,361,692	
	遭難担当者会議	800,000	0	800,000	7月
	全国山岳遭難対策協議会	20,000	2,760	17,240	
	S&R研究機構	300,000	200,000	100,000	事故調査分担金、総会・会議参加交通費
	各学会参加費	80,000	0	80,000	日本雪氷学界、日本山岳救助委員会他
	部員研修・資料費	500,000	423,988	76,012	登攀事故/沢登り事故の現場検証他
	機材購入費	100,000	5,598	94,402	最新クライミング機器、消耗品購入他
	岩場グレンデ環境整備費	200,000	300,000	△ 100,000	
	ココヘリ補助金労山捜索隊	300,000	5,962	294,038	会議・研修・器材購入費
7	地方協議会補助費	2,890,000	1,600,000	1,290,000	
	ブロック雪崩講習会補助	1,650,000	1,050,000	600,000	※1
	ブロック安全対策講習会補助	1,240,000	550,000	690,000	※2
8	地方連盟登山学校・講習会補助	5,310,000	4,100,500	1,209,500	※3
9	事務費	2,000,000	1,815,436	184,564	遭難対策活動費・振込手数料その他
10	雑支出	100,000	0	100,000	ココヘリ「登山時報」広告料
11	予備費	500,000	0	500,000	
当期支出合計(C)		18,800,000	11,093,080	7,706,920	
当期収支差額(A)-(C)		△ 7,950,000	△ 334,821	△ 7,615,179	
次期繰越収支差額(B)-(C)		2,060,508	10,010,508	△ 7,950,000	

※1 ブロック雪崩講習会補助は北海道30万円・他15万円×9ブロック

※2 ブロック安全対策講習会補助:20万円×1ブロック(5000人以上)、18万円×1ブロック(4000人～5000人未満)、12万円×3ブロック(1000人～2000人未満)、10万円×5ブロック(1000人未満)

※3 地方連盟登山学校・講習会補助:20万円×3地方連盟(1,000人以上)+15万円×7地方連盟(600人以上～1,000人未満)+12万円×5地方連盟(300人～600人未満)+10万円×17地方連盟(100人～300人未満)+8万円×17地方連盟(100人未満)

## 機関誌会計2022年度予算書

2022年1月1日～12月31日

### I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2022年予算	2021年決算	増減	備考
1	購読料	6,505,500	6,746,266	△ 240,766	
	団体購読	5,928,000	6,074,190	△ 146,190	団体購読1900部
	個人購読	577,500	672,076	△ 94,576	個人購読125部
3	広告料	460,000	360,000	100,000	広告1社+ココヘリ広告
4	編集助成金	3,000,000	3,000,000	0	一般会計より機関誌発行への助成金
5	特別補填	850,000	0	850,000	労山顧問・田団体贈呈分
6	雑収入	500	344	156	
当期収入合計(A)		10,816,000	10,106,610	709,390	
前期繰越収支差額		△ 936,476	91,737	△ 1,028,213	
収入合計(B)		9,879,524	10,198,347	△ 318,823	

### II 支出の部

科目	補助科目	2022年予算	2021年決算	増	備考
1	印刷関係費	6,800,000	7,842,450	△ 1,042,450	
2	発送関係費	1,750,000	1,757,895	△ 7,895	
3	原稿料	1,000,000	1,085,106	△ 85,106	
4	編集取材費	250,000	196,937	53,063	
	旅費交通費	50,000	50,590	△ 590	交通費・宿泊費
	通信費	100,000	67,317	32,683	送料
	会議費	10,000	0	10,000	
	編集費	80,000	79,030	970	
	資料費	10,000	0	10,000	
5	雑費	20,000	252,435	△ 232,435	封筒代・請求書代金
6	予備費	10,000	0	10,000	
当期支出合計(C)		9,830,000	11,134,823	△ 1,304,823	
当期収支差額(A)-(C)		986,000	△ 1,028,213	2,014,213	
次期繰越収支差額(B)-(C)		49,524	△ 936,476	986,000	

## 労山基金運営委員会 第35期上期の方針

1. 基金加入者の要望や利益を考えて、引き続き制度の改善に取り組む。
2. 地方連盟単位を基本にして、会・クラブ基金担当者の実務説明会を開催する。  
開催方法はZoomを用いたオンライン会議を主流とするが、リアル方式も併用する。  
また、全国的な開催単位として、会・クラブ基金担当者へのオンライン実務説明会を開催する（6月と1月開催目途）。
3. 新規加入者を増やすため、他山岳保険と労山基金との比較表を作成し労山基金の優位性を訴求していくとともに、広告媒体の充実を図る。
4. 行事主催者賠償責任保険の再開を目指し取り組んでいく。試行的に地方連盟単位の行事主催者行事についての保険料は、当面、基金運営委員会が支払う。会・クラブの会行事についての拡大は別途検討する。  
なお、個人賠償責任保険を必要とする会員には自身の生命保険や自動車保険、ココヘリに付属する保険が適用できることを訴えていく。
5. 共済を考える懇話会などの共同活動を進める。また、山岳共済や民間保険などの情報について広く収集し、労山基金の優位性につなげていく。

2022年(第35期上期) 労山山岳事故対策基金会計予算書

2021年1月1日～12月31日

第一種基金

I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2022年予算/A	2021年決算/B	差異/B-A	比率	備考
1	第一種払込金	0	0	0		
当期収入合計		0	0	0		
前期繰越収支差額		530,000	10,750,000			第一種基金2021年期末首残高

II 支出の部

科目	補助科目	2022年予算	2021年決算	差異	比率	備考
1	第一種払込金解除	530,000	4,439,806	△ 3,909,806		
当期支出合計		530,000	10,220,000	△ 3,909,806		第一種基金制度廃止により返金
当期収支差額		△ 530,000	△ 10,220,000			第一種基金2021年度収支差額
次期繰越収支差額		0	530,000			第一種基金2021年度期末末残高

基金

I 収入の部

科目	補助科目	2022年予算/A	2021年決算/B	差異/B-A	比率	備考
1	個人寄付金	61,013,100	66,053,900	△ 5,040,800	92%	
	継続	58,113,000	62,211,000	△ 4,098,000	93%	
	新規	2,570,400	3,101,700	△ 531,300	83%	
	増し口(追加)	165,000	393,000	△ 228,000	42%	
	移籍	164,700	348,200	△ 183,500	47%	
2	団体寄付金	831,000	698,000	133,000	119%	
3	受取利息	1,000,000	1,043,792	△ 43,792	96%	有価証券受取利息・運用益・普通預金・定期預金
4	減価償却引当金収入	2,217,270	2,217,270	0	100%	一般会計より建物減価償却分繰入
5	その他収入	0	180,000	△ 180,000	-	寄付
当期収入合計		65,061,370	70,192,962	△ 5,131,592	93%	
前期繰越収支差額		0	0	0		

II 支出の部

科目	補助科目	2022年予算/A	2021年決算/B	差異/B-A	比率	備考
1	交付金	26,035,000	24,858,235	1,176,765	105%	
	交付金	26,000,000	24,825,185	1,174,815	105%	
	交付雑費	35,000	33,050	1,950	106%	交付金の払込手数料
2	無事故報奨金支出	600,000	527,245	72,755	114%	報奨金支払、払込手数料、表彰状交付費用
3	安全対策基金支出	10,000,000	10,000,000	0	100%	特別会計安全対策基金へ
4	地方団体事務推進費	1,532,200	1,671,000	△ 138,800	92%	地方連盟基金加入者数×100円+払込手数料
5	事務委託費	2,200,000	2,200,000	0	100%	一般会計へ
6	事務所維持費	1,800,000	1,800,000	0	100%	
	事務所分担金	1,200,000	1,200,000	0	100%	事務所分担金@10万円×12ヶ月
	事務機器分担金	600,000	600,000	0	100%	コピーリース代@5万円×12ヶ月
7	職員関係費	8,160,000	7,398,736	761,264	110%	
	職員関係費	6,660,000	6,472,381	187,619	103%	給与費・法定福利費・福利厚生費・退職金積立支出
	臨時職員	1,500,000	926,355	573,645	162%	払込金データ入力作業他
8	事務経費	4,270,440	2,990,808	1,279,632	143%	
	入力作業委託	800,000	-	-	-	
	パソコン器材・事務用品費	540,000	381,600	158,400	142%	労山システム追加・修正、公益法人会計ソフト保守、OA機器他
	通信費	720,000	670,846	49,154	107%	郵便振替払込手数料、フリーダイヤル、発送費
	委員会活動費	540,000	455,402	84,598	119%	基金実務担当者講習会・地方連盟説明会交通費、保険業法PT
	印刷・宣伝費	180,000	23,980	156,020	751%	規定、パンフレット、封筒、HP作成
	コンピュータ保守管理費	264,000	264,000	0	100%	パソコンメンテナンス契約 @21,600円/月
	税理士顧問料	440,000	440,000	0	100%	27,000円/月×12ヶ月+決算処理10,8000円
	弁護士顧問料	736,440	736,440	0	100%	55,685円+消費税×12ヶ月
	雑費	50,000	18,540	31,460	270%	振り込み手数料他
9	減価償却引当預金支出	2,217,270	2,217,270	0	100%	2021年度の新事務所減価償却額を定期預金へ
10	抛財産	3,000,000	0	3,000,000		一般財団法人山岳基金設立への抛財産
11	安全対策引当金繰入支出	5,246,460	16,529,668	△ 11,283,208	32%	
当期支出合計		65,061,370	70,192,962	△ 8,131,592		
当期収支差額		0	0			
次期繰越収支差額		0	0			

第35期上期(2022年)連盟費一覽表

連盟費	団体数	加入人数	第26期上期連盟費		合計	1期 納期 3/31	2期 納期 6/30	3期 納期 9/30	4期 納期11/30
			一律分担金	比例分担金					
道 央	17	732	61,200	1,141,920	1,203,120	300,780	300,780	300,780	300,780
道 北	2	27	7,200	42,120	49,320	12,330	12,330	12,330	12,330
道 東	3	66	10,800	102,960	113,760	28,440	28,440	28,440	28,440
青森県	5	162	18,000	252,720	270,720	67,680	67,680	67,680	67,680
岩手県	9	252	32,400	393,120	425,520	106,380	106,380	106,380	106,380
秋田県	1	2	3,600	3,120	6,720	1,680	1,680	1,680	1,680
山形県	2	31	7,200	48,360	55,560	13,890	13,890	13,890	13,890
宮城県	5	135	18,000	210,600	228,600	57,150	57,150	57,150	57,150
福島県	6	100	21,600	156,000	177,600	44,400	44,400	44,400	44,400
群馬県	12	336	43,200	524,160	567,360	141,840	141,840	141,840	141,840
栃木県	11	372	39,600	580,320	619,920	154,980	154,980	154,980	154,980
茨城県	8	140	28,800	218,400	247,200	61,800	61,800	61,800	61,800
埼玉県	31	620	111,600	967,200	1,078,800	269,700	269,700	269,700	269,700
東京都	109	2,393	392,400	3,565,920	3,958,320	989,580	989,580	989,580	989,580
千葉県	16	657	57,600	1,024,920	1,082,520	270,630	270,630	270,630	270,630
神奈川県	18	520	64,800	811,200	876,000	219,000	219,000	219,000	219,000
山梨県	2	75	7,200	117,000	124,200	31,050	31,050	31,050	31,050
新潟県	10	249	36,000	388,440	424,440	106,110	106,110	106,110	106,110
富山県	4	124	14,400	193,440	207,840	51,960	51,960	51,960	51,960
石川県	6	255	21,600	397,800	419,400	104,850	104,850	104,850	104,850
福井県	5	68	18,000	106,080	124,080	31,020	31,020	31,020	31,020
長野県	12	255	43,200	397,800	441,000	110,250	110,250	110,250	110,250
静岡県	14	378	50,400	589,680	640,080	160,020	160,020	160,020	160,020
愛知県	21	893	75,600	1,393,080	1,468,680	367,170	367,170	367,170	367,170
岐阜県	7	284	25,200	443,040	468,240	117,060	117,060	117,060	117,060
三重県	1	2	3,600	3,120	6,720	1,680	1,680	1,680	1,680
滋賀県	6	164	21,600	255,840	277,440	69,360	69,360	69,360	69,360
京都府	20	927	72,000	1,446,120	1,518,120	379,530	379,530	379,530	379,530
奈良県	8	225	28,800	351,000	379,800	94,950	94,950	94,950	94,950
和歌山県	11	347	39,600	541,320	580,920	145,230	145,230	145,230	145,230
大阪府	51	1,059	183,600	1,644,960	1,828,560	457,140	457,140	457,140	457,140
兵庫県	43	1,923	154,800	2,889,120	3,043,920	760,980	760,980	760,980	760,980
鳥取県	1	4	3,600	6,240	9,840	2,460	2,460	2,460	2,460
島根県	6	189	21,600	294,840	316,440	79,110	79,110	79,110	79,110
岡山県	9	815	32,400	1,271,400	1,303,800	325,950	325,950	325,950	325,950
広島県	11	258	39,600	402,480	442,080	110,520	110,520	110,520	110,520
山口県	2	84	7,200	131,040	138,240	34,560	34,560	34,560	34,560
香川県	8	252	28,800	393,120	421,920	105,480	105,480	105,480	105,480
徳島県	7	219	25,200	341,640	366,840	91,710	91,710	91,710	91,710
高知県	3	98	10,800	152,880	163,680	40,920	40,920	40,920	40,920
愛媛県	3	49	10,800	76,440	87,240	21,810	21,810	21,810	21,810
福岡県	27	753	97,200	1,174,680	1,271,880	317,970	317,970	317,970	317,970
佐賀県	2	70	7,200	109,200	116,400	29,100	29,100	29,100	29,100
長崎県	8	252	28,800	393,120	421,920	105,480	105,480	105,480	105,480
熊本県	6	82	21,600	127,920	149,520	37,380	37,380	37,380	37,380
大分県	2	51	7,200	79,560	86,760	21,690	21,690	21,690	21,690
宮崎県	3	47	10,800	73,320	84,120	21,030	21,030	21,030	21,030
鹿児島県	2	90	7,200	140,400	147,600	36,900	36,900	36,900	36,900
沖縄県	1	20	3,600	31,200	34,800	8,700	8,700	8,700	8,700
合計	577	17,106	2,077,200	26,400,360	28,477,560	7,119,390	7,119,390	7,119,390	7,119,390

都道府県連盟別組織推移表（2021年11月末日数）

年度 都道府県	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
										団体	会員数
全体	20472	20426	20636	19985	19528	19029	18802	18238	17550	577	17106
北海道	791	796	813	806	807	822	821	829	806	22	825
青森県	199	189	192	187	165	181	175	160	150	5	162
岩手県	302	300	307	300	290	285	280	265	257	9	252
秋田県	5	5	5	5	5	5	5	2	2	1	2
山形県	10	12	17	17	17	45	35	35	34	2	31
宮城県	198	166	163	113	122	122	122	116	131	5	135
福島県	109	114	122	133	131	130	133	106	113	6	100
群馬県	492	420	419	406	403	394	408	387	364	12	336
栃木県	455	480	485	471	474	470	457	440	391	11	372
茨城県	216	218	221	206	190	179	176	166	149	8	140
埼玉県	637	665	678	661	647	632	621	608	615	31	620
東京都	2885	2865	2906	2761	2700	2613	2588	2547	2466	109	2393
千葉県	770	768	774	768	756	754	696	694	663	16	657
神奈川県	639	666	670	656	654	635	623	521	507	18	520
山梨県	92	85	84	74	72	69	70	68	82	2	75
新潟県	265	271	280	269	267	277	284	275	254	10	249
富山県	147	143	146	136	128	135	138	123	121	4	124
石川県	286	314	302	295	261	270	275	275	259	6	255
福井県	70	65	50	58	62	76	69	72	68	5	68
長野県	426	425	425	407	373	358	339	313	288	12	255
静岡県	704	706	683	640	570	566	515	445	422	14	378
愛知県	1147	1148	1145	1175	1128	1019	996	976	913	21	893
岐阜県	270	288	308	295	294	298	295	288	278	7	284
三重県	10	10	10	10	10	2	2	2	2	1	2
滋賀県	278	269	252	230	220	216	209	207	171	6	164
京都府	926	923	940	966	1002	1019	1000	954	938	20	927
奈良県	299	293	290	283	275	233	233	224	238	8	225
和歌山県	400	409	420	409	395	366	347	352	350	11	347
大阪府	1525	1435	1434	1411	1348	1275	1252	1215	1140	51	1059
兵庫県	2075	2099	2209	2118	2124	2043	2067	2025	1967	42	1923
鳥取県	35	33	33	33	28	24	34	32	32	1	4
島根県	210	208	211	211	213	208	203	196	199	6	189
岡山県	721	771	828	791	806	805	844	867	851	9	815
広島県	273	267	261	254	264	246	255	270	256	11	258
山口県	81	77	64	64	57	74	78	79	80	2	84
香川県	325	324	280	261	255	252	252	261	266	8	252
徳島県	237	238	247	247	225	221	211	217	211	7	219
高知県	142	130	130	140	137	117	128	117	103	3	98
愛媛県	67	73	75	63	65	66	66	57	49	3	49
福岡県	961	954	976	928	873	856	829	807	741	27	753
佐賀県	95	95	95	85	80	78	80	80	80	2	70
長崎県	272	253	257	246	248	261	280	270	251	8	252
熊本県	94	97	92	89	88	85	83	81	79	6	82
大分県	39	40	39	40	48	54	48	42	47	2	51
宮崎県	68	71	74	60	57	62	59	54	49	3	47
鹿児島県	126	130	124	124	123	109	100	100	93	2	90
沖縄県	98	118	100	90	71	22	21	18	24	2	20

## 2020年、2021年組織数比較表

	2020	2021		増 減		2020	2021		増 減
	会員数	団体	会員数	増減数		団体	会員数	団体	会員数
合 計	17550	577	17106	-444	岐阜県	278	7	284	6
北海道央	718	17	732	14	三重県	2	1	2	0
北海道北	27	2	27	0	滋賀県	171	6	164	-7
北海道東	61	3	66	5	京都府	938	20	927	-11
青森県	150	5	162	12	奈良県	238	8	225	-13
岩手県	257	9	252	-5	和歌山県	350	11	347	-3
秋田県	2	1	2	0	大阪府	1140	51	1059	-81
山形県	34	2	31	-3	兵庫県	1967	43	1923	-44
宮城県	131	5	135	4	鳥取県	32	1	4	-28
福島県	113	6	100	-13	島根県	199	6	189	-10
群馬県	364	12	336	-28	岡山県	851	9	815	-36
栃木県	391	11	372	-19	広島県	256	11	258	2
茨城県	149	8	140	-9	山口県	80	2	84	4
埼玉県	615	31	620	5	香川県	266	8	252	-14
東京都	2466	109	2393	-73	徳島県	211	7	219	8
千葉県	663	16	657	-6	高知県	103	3	98	-5
神奈川県	507	18	520	13	愛媛県	49	3	49	0
山梨県	82	2	75	-7	福岡県	741	27	753	12
新潟県	254	10	249	-5	佐賀県	80	2	70	-10
富山県	121	4	124	3	長崎県	251	8	252	1
石川県	259	6	255	-4	熊本県	79	6	82	3
福井県	68	5	68	0	大分県	47	2	51	4
長野県	288	12	255	-33	宮崎県	49	3	47	-2
静岡県	422	14	378	-44	鹿児島県	93	2	90	-3
愛知県	913	21	893	-20	沖縄県	24	1	20	-4

## 会員数100人以上の会・クラブ一覧

連盟	団体名	人数	連盟	団体名	人数
道央	札幌中央勤労者山岳会	152	和歌山	みちくさハイキングクラブ	109
群馬	太田ハイキングクラブ	126	大阪	豊中勤労者山岳会	135
栃木	宇都宮ハイキングクラブ	195	兵庫	神戸中央山の会	136
東京	ぶなの会	118	兵庫	西宮明昭山の会	300
東京	町田グlaus山の会	142	兵庫	摩耶山友会	148
千葉	ちば山の会	103	兵庫	武庫勤労者山岳会	117
千葉	千葉こまくさハイキングクラブ	122	岡山	倉敷ハイキング倶楽部	238
神奈川	川崎ハイキングクラブ	103	岡山	山陽カルチャーマウンテンクラブ	382
金沢	金沢ハイキングクラブ	102	徳島	徳島山と友の会	107
愛知	名古屋山岳同志会	111	福岡	あだると山の会	127
愛知	東三河山ぼ会	151	福岡	みどる山の会	147
京都	西山ハイキングクラブ	129	兵庫	神戸中央山の会	136
奈良	奈良勤労者山岳会	104	兵庫	西宮明昭山の会	300

## 2022年版労山カレンダー (2022/1/13)

販売（地方連盟・加盟団体扱い） ※無印は減少 / +は前年以上 / -は前年より15部以上減

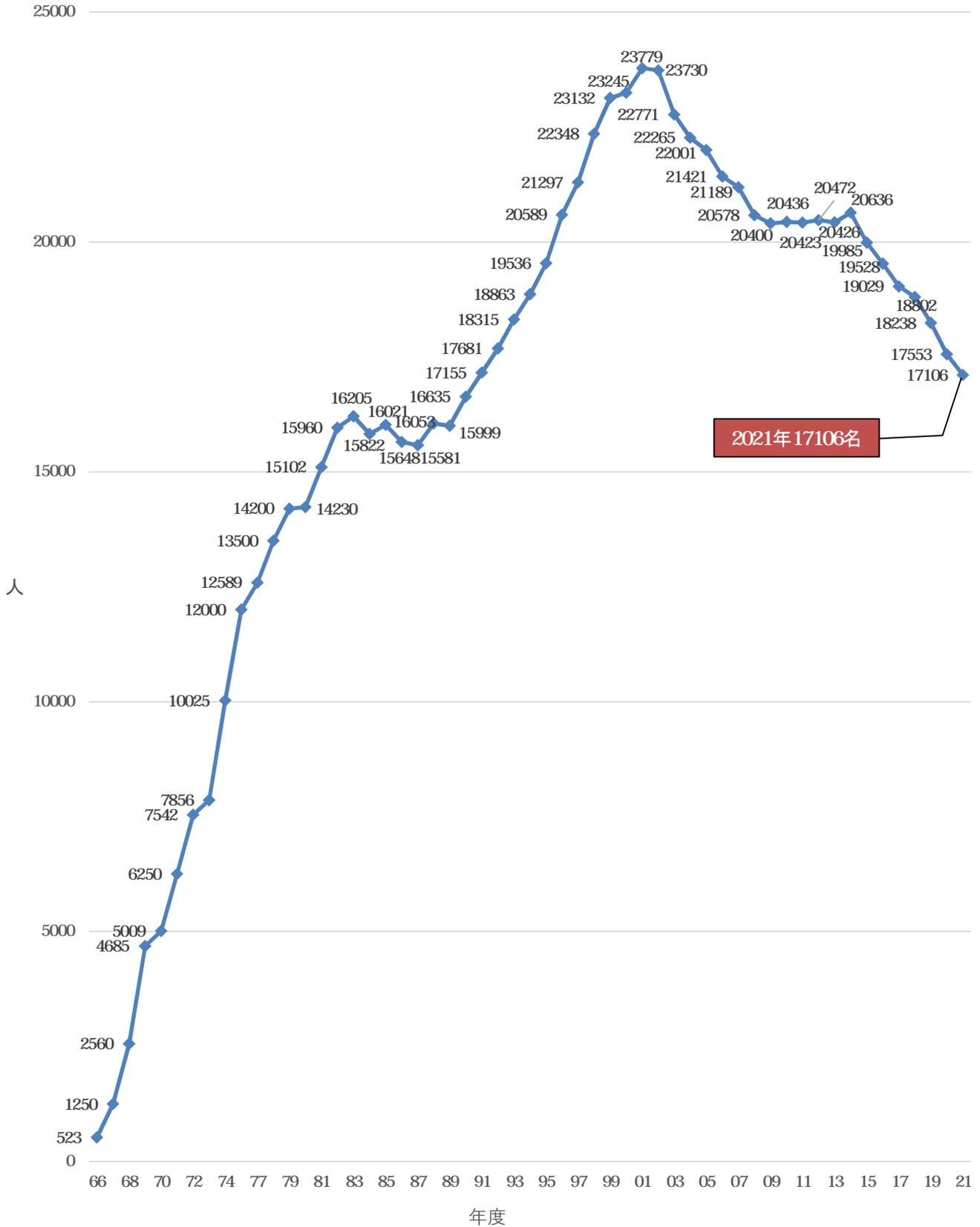
道央	32	栃木	69	福井	0	大阪	48-	愛媛	20+
道北	0	茨城	60+	長野	40	兵庫	120-	福岡	250-
道東	0	埼玉	144	静岡	77-	鳥取	4	佐賀	17+
青森	33	東京	214	愛知	88	島根	45+	長崎	50+
岩手	122	千葉	86-	岐阜	60	岡山	92	熊本	30
秋田	0	神奈川	31	三重	0	広島	42	大分	40+
山形	3+	山梨	10	滋賀	17	山口	30	宮崎	8
宮城	68	新潟	114-	京都	255-	香川	67	鹿児島	47+
福島	36-	富山	0	奈良	12	徳島	40+	沖縄	20+
群馬	67	石川	54	和歌山	50	高知	32	合計	2,951

販売（一般）	92	写真採用者の予約購入、全国連盟直販	1部1,000円
販売店	30	カモシカスポーツへの納入部数	
贈呈（一般）	205	名誉会員・顧問、カレンダー製作（写真応募者 各1部など）	
贈呈（	125	地方連盟見本49部、事務所見本や破損11部、送料なし贈呈65部	

※合計の出荷部数3,192（うち贈呈330部）。作成部数3,500部。

※21年版実績＝地方連盟販売3,212部、直販36部、贈呈553部、販売店18部

# 労山会員数の推移



2021年 17106名



脱退・解散届け 第34期下期(2021年度)

	受理番号	地方連盟	団体名	加盟年月	脱退年月	会員数	脱退の原因・理由
1	212101	東京	IACアルパイン	1991/12	2021/03	3	会員の高齢化で活動がなくなった。
2	212102	大阪	風の子ハイキングクラブ	2004/07	2021/03	10	高齢化のため会を解散した。
3	212103	石川	こだま山岳会		2021/06	7	高齢化で役員としての活動が困難なため脱退。
4	212104	香川	坂出ハイキングクラブ	2012/04	2021/06	12	会長の逝去で会の存続が困難となり解散。
5	212105	大阪	AIMAクラブ	2004/12	2021/10	4	個人山行しかできず、山岳会の意味をなしていないので解散。
6	212106	沖縄	フォレストウォーカー	2016/11	2021/10	4	会員の退会があり会としての存続ができない。
7	212107	山口	倶楽部OKB	2018/11	2021/11	6	会員数の減少と他の労山会所属も多いため。
8	212108	鳥取	鳥取久松山岳会	1978/11	2021/12	16	会員の高齢化と登山志向の変化で労山活動が困難になった。
9	212109	茨城	水戸かわせみ山岳会	2009/11	2021/12	3	会員が減少し高齢化したため。
10	212110						
11	212111						
12	212112						
13	212113						
14	212114						
15	212115						
16	212116						
17	212117						
18	212118						
19	212119						
20	212120						

加盟団体一覧表 (2021年11月末日 現在)

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	19末 会員数	20末 会員数	21末 会員数	21末 (男性)	21末 (女性)	労山基金 加入者数	登山時報 購読数
	総計 (団体数)			592	584	577				722
	総計 (会員数)			18,281	17,474	17,106	8,725	8,381	15,927	2,051
北海道・道央地区連盟	団体数			17	17	17			17	8
	小計 会員数			737	718	732	371	361	640	38
	小樽勤労者山岳会	66.01	011101	39	36	33	23	10	24	2
	札幌FC GROUPE DE ROCHER	92.04	011201	18	14	11	7	4	11	0
	札幌中央勤労者山岳会	76.07	011301	173	168	152	86	66	133	18
	札幌ピオレ山の会	76.08	011302	45	44	42	21	21	43	3
	札幌北稜クラブ	76.07	011303	51	45	38	29	9	35	3
	札幌山びこ山友会	81.01	011304	53	44	44	20	24	43	5
	札幌登攀倶楽部	83.06	011305	10	10	9	8	1	9	0
	山遊会 ル・レラ	13.03	011311	4	4	4	2	2	4	0
	さっぽろ山遊会	14.12	011312	39	44	53	22	31	51	
	スマイル・マウンテン・クラブ		011313	21	39	53	29	24	51	0
	同人ラリーグラス	06.10	011402	9	13	11	0	11	12	0
	同人スソク	16.02	011403	5	4	4	2	2	4	
	ハイキングクラブみどりの風	82.04	011601	50	42	48	14	34	46	3
	百松山岳会	85.12	011602	45	44	44	25	19	35	0
	ハイキングネットワークこだま倶楽部	90.12	011603	14	13	13	7	6	14	0
	函館山楽クラブ	97.06	011604	51	56	75	25	50	43	1
	バビシエ・マウンテン・クラブ	07.04	011605	110	98	98	51	47	82	3
北海道・道北地区連盟	団体数			2	2	2			2	1
	小計 会員数			27	27	27	18	9	14	2
	旭川勤労者山岳会	70.04	012101	23	23	23	15	8	11	2
	オホーツク山の会	05.06	012103	4	4	4	3	1	3	0
北海道・道東地区連盟	団体数			3	3	3			3	1
	小計 会員数			65	61	66	40	26	63	1
	帯広勤労者山岳会	71.11	013101	36	33	35	21	14	34	0
	釧路勤労者山岳会	68.12	013201	24	22	25	16	9	23	0
	北見勤労者山岳会	16.11	013203	5	6	6	3	3	6	1
青森県	団体数			5	5	5			4	4
	小計 会員数			160	150	162	86	76	135	37
	青森勤労者山岳会	71.02	020101	71	70	82	40	42	76	16
	青森ファミリーハイキングクラブ	83.12	020103	18	17	17	8	9	14	1
	白神・十二湖ハイキングクラブ	06.05	020301	8	8	6	3	3	0	0
	八戸勤労者山岳会		020601	17	16	18	13	5	18	3
	弘前勤労者山岳会	72.06	020603	46	39	39	22	17	27	17
岩手県	団体数			9	9	9			7	8
	小計 会員数			265	257	252	125	127	246	86
	一関勤労者山岳会	70.04	030101	3	3	3	3	0	0	0
	アウトドアを楽しむ会	98.06	030102	45	45	40	17	23	46	16
	いわて生協山の会	98.06	030103	14	14	14	3	11	16	2
	釜石勤労者山岳会	66.05	030201	35	35	35	18	17	36	14
	胆江勤労者山岳会	70.01	030401	22	22	22	15	7	16	7
	花巻山友会	75.09	030601	31	28	32	12	20	32	7
	宮古勤労者山岳会	74.11	030701	9	8	7	3	4	0	3
	盛岡山友会	87.01	030702	90	82	79	42	37	83	36
	RAM	16.	030901	16	20	20	12	8	17	1
秋田県	団体数			2	1	1			0	0
	小計 会員数			5	2	2	1	1	2	0
	T C山ぶどう	13.03	040401	2	2	2	1	1	2	0
山形県	団体数			2	2	2			2	2
	小計 会員数			30	34	31	25	6	33	9
	やまがた山歩会	96.07	050701	8	12	10	8	2	12	3
	Rousan鶴岡	17.04	050901	22	22	21	17	4	21	6
宮城県	団体数			4	5	5			4	5
	小計 会員数			116	131	135	80	55	149	31
	石巻山の会	70.08	060101	25	30	32	21	11	37	14
	同人すばる	86.02	060402	5	5	5	4	1	0	1
	古川どっぽ山の会	79.07	060601	6	8	7	3	4	9	2
	朋友会	69.06	060602	80	80	80	48	32	91	13
	みやぎトレッキングクラブ	20.11	060701		8	11	4	7	12	1
福島県	団体数			6	6	6			5	3
	小計 会員数			106	113	100	64	36	95	26
	郡山勤労者山岳会	66.02	070201	37	46	47	31	16	45	4
	喜多方山想会	01.07	070203	13	12	7	5	2	10	0
	鹿島厚生病院山クラブ	10.12	070204	4	4	4	2	2	0	0
	相馬山歩会	96.09	070301	22	22	19	9	10	21	13
	福島勤労者山の会	70.06	070601	14	13	9	7	2	8	9
	フィエスタの谷	05.04	070605	16	16	14	10	4	11	0

# 加盟団体一覧表（2021年11月末日 現在）

都道府県	団体名		加盟年月	コード番号	19末 会員数	20末 会員数	21末 会員数	21末 (男性)	21末 (女性)	労山基金 加入者数	登山時報 購読数		
群馬県		団体数			13	13	12			12	5		
		会員数			387	352	336	168	168	359	15		
		小計											
		太田ハイキングクラブ		75.04	080105	141	120	126	54	72	137	7	
		NJKクラブ高峰			080106	3	3	3	1	2	2	0	
		桐生勤労者山岳会		68.01	080202	3	3	3	2	1	3	0	
		甘楽町山の会		86.04	080203	22	19	17	10	7	14	1	
		高崎勤労者山岳会			080401	13	12	12	9	3	12	0	
		ぼんぼこ山の会			080601	12	13	13	7	6	15	0	
		PURPLE SNOW & WIND			080602	25	30	29	20	9	30	0	
		前橋勤労者山岳会		68.02	080701	25	20	20	13	7	26	0	
		前橋ハイキングクラブ		81.09	080703	86	84	68	27	41	72	3	
		モンテ アルパインクラブ		00.02	080704	16	13	11	9	2	11	0	
		毛ッ久里山の会		10.06	080705	15	20	20	12	8	22	1	
	やまなみ（山脈）		03.12	080801	15	15	14	4	10	15	3		
栃木県		団体数			11	11	11			11	6		
		会員数			440	391	372	171	201	406	19		
		小計											
		宇都宮山の会		75.03	090102	7	7	8	6	2	11	0	
		宇都宮ハイキングクラブ		81.04	090103	230	210	195	84	111	217	3	
		上三川ハイキングクラブ		03.06	090201	13	10	13	8	5	21	4	
		栃木岳人クラブ		96.04	090401	5	5	5	3	2	5	1	
		つむぎ山悠会		14.04	090403	18	16	16	6	10	16	5	
		野木山想会		92.03	090502	102	83	75	37	38	67	0	
		南那須山楽会		78.06	090701	3	3	3	3	0	3	0	
		マロニエハイキングクラブ		94.04	090702	24	24	22	8	14	23	0	
		マウントアンサンブル		05.04	090703	6	5	5	2	3	6	0	
		山人（やまんど）クラブ		03.04	090802	30	26	28	12	16	35	4	
	労山かぬま		05.11	090901	2	2	2	2	0	2	2		
茨城県		団体数			10	9	8			9	2		
		会員数			166	149	140	72	68	168	7		
		小計											
		笠間おちこち山の会		72.12	100102	8	8	7	6	1	8	0	
		古河青峰山の会		73.02	100202	5	5	6	6	0	7	0	
		取手山の会		76.05	100402	37	33	38	21	17	39	2	
		つくばね山の会		84.01	100403	24	18	21	9	12	26	5	
		チームやまや		11.02	100405	6	6	6	4	2	6	0	
		ハイキングクラブ のんびり		76.09	100601	26	24	22	11	11	26	0	
		水戸っ歩山の会		03.05	100704	37	37	32	11	21	47	0	
	脱退	水戸かわせみ山岳会		09.10	100705	6	4	脱退					
	ラリグラス		99.01	100901	14	14	8	4	4	9	0		
埼玉県		団体数			30	30	31			31	16		
		会員数			608	615	620	316	304	622	149		
		小計											
		あすなろ山岳会		68.11	110102	4	4	4	4	0	2	0	
		浦和くまざさ山岳会		70.07	110103	14	16	15	11	4	15	0	
		大宮勤労者山岳会		65.04	110104	64	74	82	44	38	74	21	
		アルパインクラブNPOさいたま		06.07	110112	21	31	31	21	10	29	31	
		熊谷トレッキング同人		96.12	110201	33	30	27	20	7	19	7	
		登山クラブやまなみ		91.07	110205	32	27	25	13	12	32	4	
		北本山の会		00.05	110206	10	10	10	3	7	10	2	
		ハイキングクラブ上里		01.01	110207	7	8	8	5	3	7	0	
		クライミングさいたま			110209	3	3	6	4	2	4	0	
		深谷山の子倶楽部		89.04	110301	9	9	9	3	6	9	3	
		川越ハイキングクラブ・ビスターリ		95.12	110303	21	22	21	12	9	26	0	
		山楽童人グループマジ		13.03	110304	5	5	5	4	1	4	0	
		彩の山友会		13.03	110305	7	7	7	5	2	7	0	
		紫翠山岳会		16.04	110307	11	12	11	4	7	12	0	
		椽山岳会		66.09	110401	4	4	4	4	0	5	0	
		所沢ハイキングクラブ		70.06	110402	42	35	32	17	15	36	1	
		登攀クラブ岩つばめ		92.11	110403	7	7	7	5	2	8	0	
		秩父アルペンクラブ		05.01	110405	25	25	23	7	16	23	5	
		新座山の会		93.07	110501	52	53	47	19	28	54	13	
		日進山岳会		08.02	110502	30	29	27	16	11	29	1	
		飯能勤労者山岳会		76.01	110602	18	19	17	11	6	22	8	
		深谷こまくさ山の会		84.01	110605	27	26	26	10	16	29	6	
		富士見市峠山の会		92.11	110606	31	32	35	10	25	36	6	
		ハイジアルペンクラブ		97.11	110607	23	22	22	12	10	23	0	
		日和田アルパインクラブ		98.12	110609	7	7	7	5	2	6	0	
		パル・ブラン		10.07	110611	6	6	6	3	3	4	0	
	新規		蓮田山の会		21.05	110612			5	4	1	3	0
			三郷山の会		94.05	110701	40	36	36	14	22	35	7
			わらび山の会		66.09	110802	23	23	30	12	18	20	20
		榎歩富士見山の会		90.04	110804	29	30	32	13	19	36	14	
	山ぼうし		19.02	110805	3	3	3	1	2	3	0		

# 加盟団体一覧表 (2021年11月末日 現在)

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	19末 会員数	20末 会員数	21末 会員数	21末 (男性)	21末 (女性)	労山基金 加入者数	登山時報 購読数
東京都		団体数		110	109	109			102	43
	小計	会員数		2588	2402	2,393	1,321	1,072	2356	228
東京都・千代田区連盟				270	191	195	129	66	203	0
	同人クライミングファイト	95.01	120414	49	49	49	31	18	50	0
	ぶなの会	66.11	120605	138	142	146	98	48	153	0
東京都・中央区連盟				85	84	86	49	37	57	3
	銀座山の会	66.11	120207	34	31	32	20	12	29	0
	山岳会ヤマニテ	73.07	120310	27	28	30	15	15	28	3
	山の会樹眩霧	66.12	120804	24	25	24	14	10	0	0
東京都・港区連盟				52	53	45	24	21	48	3
	東京みなと山の会	66.11	120417	44	46	38	19	19	45	3
	東京港区ハイキングクラブ	76.07	120418	8	7	7	5	2	3	0
東京都・新宿区連盟				86	85	83	50	33	82	16
脱退	IACアルパイン	91.12	120104	3	3	脱退				
	溪嶺会	69.01	120202	8	9	8	7	1	8	1
	光陽山の会	73.04	120203	8	8	8	8	0	8	2
	東京岳遊会	66.12	120444		15	15	13	2	13	0
	グルッペ わたすげ	03.04	120220	8	8	6	3	3	3	1
	新宿山の会		120304	6	6	6	2	4	6	5
	東京ろうあ者山の会	74.09	120403	17	15	15	6	9	16	0
	峰凌倶楽部	75.06	120603	12	12	12	10	2	12	0
	山の会 さくら草	14.11	120819			6	1	5	9	5
	山の会 こぶし	14.11	120820	9	9	7	0	7	7	2
東京都・文京区連盟				24	26	26	15	11	25	2
	神楽坂アルパインクラブ	95.06	120112	4	6	6	3	3	6	0
	日本ロープレスキュー協会	98.04	120327	2	2	2	2	0	2	0
	民医連東京共済山の会	90.02	120707	18	18	18	10	8	17	2
東京都・東部地区連盟				134	123	118	70	48	123	19
	あらかわ山の会		120101	8	8	6	5	1	6	4
	江戸川山の会	66.04	120102	14	11	12	7	5	13	0
	墨田山の会	78.02	120301	51	48	45	24	21	40	15
	東部教職員山の会	76.10	120401	6	6	6	3	3	0	0
	登嶺会	69.01	120402	10	10	10	7	3	12	0
	好好山の会	68.08	120601	18	17	17	14	3	18	0
	らくらくハイキングクラブ	83.07	120901	20	16	15	6	9	15	0
	わたすげハイキングクラブ	97.04	120904	7	7	7	4	3	19	0
東京都・目黒区連盟				21	21	19	8	11	18	4
	めぐろ山の会	90.01	120706	21	21	19	8	11	18	4
東京都・みなみ地区連盟				243	243	237	107	130	239	34
	大田山の会	66.04	120107	58	53	52	36	16	65	0
	大田ハイキングクラブ	73.08	120108	66	67	64	17	47	52	5
	大田山友会	90.04	120109	12	11	10	6	4	9	1
	大田・わたすげの会	00.08	120121	6	7	6	1	5	7	1
	品川山の会・さんかくてん	85.08	120316	55	55	55	26	29	54	17
	めぐろ山学クラブ・仲間	65.11	120704	14	14	14	6	8	14	6
	目黒ハイキングクラブ		120705	27	30	30	13	17	32	2
	山の仲間「山風」	98.01	120813	2	2	2	2	0	2	2
	山の会 白銀	09.09	120817	3	4	4	0	4	4	0
東京都・城西地区連盟				156	153	144	76	68	147	5
	狛江山遊会	87.12	120213	27	27	25	11	14	20	3
	世田谷山ぞくの会	72.12	120314	4	3	3	2	1	3	1
	世田谷山友会	00.03	120315	40	40	40	20	20	51	1
	さわらび山の会	00.07	120331	25	25	26	14	12	22	0
	山の会 やまづと	08.06	120339	48	46	38	22	16	38	0
	山セミの会	96.06	120807	12	12	12	7	5	13	0
東京都・渋谷区連盟				40	32	33	23	10	30	1
	渋谷山の会 ウルスカディ	09.01	120124	22	20	22	16	6	19	0
	こまくさ山の会	84.06	120205	18	12	11	7	4	11	1
東京都・中野区連盟				6	6	6	3	3	6	0
	登攀クラブNCP	84.04	120408	6	6	6	3	3	6	0
東京都・杉並区連盟				161	144	138	75	63	129	5
	杉並勤労者山岳会	66.06	120306	84	78	77	49	28	69	0
	杉並山の会	78.02	120308	63	55	51	19	32	48	5
	プリムラ山の会	83.10	120607	11	11	10	7	3	12	0
東京都・練馬区連盟				199	202	194	104	90	208	25
	ぐるうぶ山人	74.07	120208	45	44	40	15	25	43	10
	石神井山の会	93.09	120317	89	89	82	42	40	88	12
	山岳同人かわせみ	92.01	120324	4	4	4	4	0	4	0
	練馬山の会	71.06	120504	61	65	68	43	25	73	3

# 加盟団体一覧表（2021年11月末日 現在）

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	19末 会員数	20末 会員数	21末 会員数	21末 (男性)	21末 (女性)	労山基金 加入者数	登山時報 購読数
東京都・豊島区連盟				28	37	35	27	8	35	1
	東京雪稜会	76.06	120410	26	24	23	17	6	23	0
	目白山岳会	74.12	120701	12	13	12	10	2	12	1
東京都・板橋区連盟				40	40	40	27	13	44	0
	板橋勤労者山岳会	66.03	120111	40	40	40	27	13	44	0
東京都・北区連盟				66	66	64	44	20	66	7
	田端雪稜山岳会	79.09	120412	14	14	12	11	1	13	6
	淡歩歩山の会	05.07	120434	26	30	34	22	12	34	0
	東京緑峰クラブ	09.03	120439	3	4	3	2	1	2	0
	モンテローザ山の会	80.06	120702	23	18	15	9	6	17	1
東京都・多摩東部連盟				148	141	135	65	70	125	23
	北多摩山の会		120211	28	30	28	14	14	28	13
	グループ・どっぺる	78.04	120212	31	28	28	7	21	28	3
	山座会	70.06	120319	50	44	41	27	14	35	1
	ふくろうハイキングクラブ	97.02	120608	18	17	17	5	12	17	0
	むさしの山の会	66.03	120708	17	18	17	9	8	17	6
	むさしの“どっぽ”	89.12	120709	4	4	4	3	1	0	0
東京都・多摩西部連盟				153	146	143	73	70	141	25
	八王子おおるり山の会	97.03	120113	107	103	99	47	52	96	24
	ハイキングクラブ四季	79.06	120609	16	13	13	11	2	11	0
	ハイキングクラブ・ジャンダルム	93.09	120611	16	15	14	6	8	17	1
	HC Wild Berry	17.11	120909	14	15	17	9	8	17	0
東京都・多摩北部連盟				146	133	113	44	69	117	9
	多摩みどり山遊会	00.04	120426	15	14	11	7	4	13	1
	チーム バガボンズ	05.01	120432	2	2	2	1	1	2	0
	野火止山の会	75.09	120505	79	68	65	24	41	66	7
	コスモス山の会	91.04	120612	50	49	35	12	23	36	1
東京都・府中市連盟				38	37	33	16	17	31	1
	Climbing NAKAMA	03.12	120334	2	2	2	1	1	2	0
	山の会「かたつむり」	84.07	120809	36	35	31	15	16	29	1
東京都・町田市（準地区連盟）				151	148	142	68	74	140	28
	町田グライウス山の会	84.03	120710	151	148	142	68	74	140	28
東京都（その他）				354	274	352	215	137	326	17
	アルムクラブTokyo	10.11	120126	8	9	8	5	3	8	0
	神田山の会	66.12	120206	59	49	52	28	24	51	15
	C・C” 昴”	01.04	120218	5	3	3	2	1	3	0
	Team悠	08.12	120438	4	3	3	0	3	3	0
	oak	09.07	120125	7	6	6	4	2	6	0
	MGC	14.12	120127	16	11	11	9	2	11	0
	AMC	15.04	120128	2	1	1	0	1	1	0
	アルペンブルーメ	20.07	120129		5	6	2	4	6	2
	クラウドナイン・クライマーズ・ネット	08.04	120222	5	5	5	2	3	0	0
	K9-SAR 岳の会		120224	4	4	4	2	2	0	0
	新婦人青梅ハイキング小組・スイトビ一班	98.09	120326	14	10	12	1	11	12	0
	雲表倶楽部	04.02	120335	29	26	33	26	7	33	0
	山岳同人GRAPPA	08.06	120340	4	4	4	3	1	4	0
	G登攀クラブ	09.03	120341	15	16	20	15	5	19	0
	新婦人けやき班ハイキング小組	12.03	120344	11	10	10	0	10	10	0
	じょうなんハイカーズ	20.07	120347		2	2	1	1	1	0
	チーム 吾亦紅（われもこう）	07.03	120436	4	4	4	2	2	4	0
	地形図研究会	10.06	120440	6	5	5	1	4	5	0
	痛恨	13.03	120441	5	4	4	4	0	4	0
	Team CELL	14.3	120442	14	15	9	5	4	9	0
	Team Diagonal	14.12	120443	11	13	13	9	4	13	0
	日本エキスパートクライマーズクラブ	04.03	120510	30	30	29	22	7	29	0
	ポーラスター山岳会	01.12	120617	5	5	5	3	2	0	0
	5.10クラブ	04.08	120619	5	5	5	2	3	4	0
	ポレポレ倶楽部山の子	07.03	120621	14	16	20	11	9	21	0
	ハルヒラークラブ	15.01	120623	10	10	11	10	1	10	0
	無想・転生	09.07	120713	5	4	4	3	1	4	0
	山の会ふみあと	73.07	120810	23	23	23	15	8	20	0
	雪豹同人	13.05	120818	2	2	2	1	1	1	0
	ROUSANパートナーズ	17.11	120910	37	36	36	25	11	34	0
	労山マスターズ	19.06	120911		2	2	2	0	0	0
東京都・学生団体				19	17	12	9	3	16	0
	東京農工大学ワンダーフォーゲル部	97.05	120506	19	17	12	9	3	16	0

# 加盟団体一覧表 (2021年11月末日 現在)

都道府県	団体名		加盟年月	コード番号	19末 会員数	20末 会員数	21末 会員数	21末 (男性)	21末 (女性)	登山基金 加入者数	登山時報 購読数	
千葉県		団体数			17	16	16			15	10	
		小計	会員数		694	663	657	326	331	669	58	
		市川山の会		00.10	130101	10	10	10	6	4	8	0
		君津ケルン山の会		70.02	130201	18	15	16	9	7	17	3
		かがりび山の会		95.08	130202	43	43	45	23	22	50	3
		岳人あびこ		96.10	130203	50	48	52	23	29	55	0
		ちば山の会		66.11	130401	99	104	103	58	45	112	13
		千葉こまくさハイキングクラブ		84.01	130403	122	109	122	57	65	106	3
		東葛山の会		84.05	130404	53	53	48	21	27	51	11
		船橋勤労者山の会		77.06	130603	56	52	40	28	12	39	3
		ふわくハイキングサークル		97.05	130604	60	61	59	18	41	62	9
		茂原道標山の会		71.04	130701	12	12	12	6	6	13	0
		松戸山の会		83.04	130702	88	86	79	43	36	84	8
		まつど山翠会		01.11	130705	24	22	22	11	11	19	1
		まつど遠足クラブ1年さくら組		04.01	130706	15	14	13	4	9	14	0
	山の会らんたん		84.12	130802	24	20	22	10	12	23	4	
	千葉民医連山を歩こう会		93.03	130803	4	5	5	2	3	5	0	
	山の会「岳樺クラブ」		94.02	130804	13	9	9	7	2	11	0	
神奈川県		団体数			18	18	18			18	7	
		小計	会員数		521	507	520	293	227	484	45	
		小田原ナーゲル山の会		71.01	140102	19	16	18	11	7	15	0
		M&C		11.03	140104	19	20	23	18	5	20	0
		川崎勤労者山岳会		67.01	140201	25	25	23	15	8	23	0
		川崎ハイキングクラブ		78.02	140202	117	105	103	50	53	72	14
		川崎柴笛クラブ		74.01	140203	17	20	17	10	7	13	0
		カモの会		98.03	140209	62	57	60	36	24	59	0
		Grazie(グラーチエ)		13.10	140211	6	6	8	4	4	12	0
		銀嶺会			140212	5	5	4	0	4	4	0
		相模アルパインクラブ		74.01	140301	30	34	40	27	13	33	8
		さがみ山友会		93.03	140304	12	9	12	10	2	13	0
		山岳素行童人メーグリ家		08.07	140307	11	12	11	6	5	11	0
		地平線の会		00.04	140401	5	6	6	1	5	6	4
		藤沢山の会		82.06	140601	98	91	90	40	50	99	0
		みずなら山の会		88.11	140702	39	36	37	23	14	32	7
		アルパインクラブ横浜			140801	24	25	28	20	8	32	2
		雪童山の会		00.01	140807	13	16	16	11	5	16	0
		やま++ (やまぶらぶら)		03.01	140808	13	18	19	11	8	19	6
		山ブキの会		07.04	140809	6	6	5	0	5	5	4
山梨県		団体数			1	2	2			2	1	
		小計	会員数		68	82	75	34	41	68	7	
		彷徨倶楽部関東		20.03	150601		11	14	5	9	7	0
	山梨山の会		98.03	150801	68	71	61	29	32	61	7	
新潟県		団体数			10	10	10			10	6	
		(男女比は便宜上記入) 小計	会員数		275	254	249	125	124	282	45	
		糸魚川勤労者山岳会		76.01	160101	34	30	23	不明	不明	30	5
		十日町おだまき山の会		82.09	160102	42	42	39	不明	不明	43	8
		阿賀山の会		98.06	160103	16	16	17	不明	不明	19	0
		清津山の会		76.12	160201	23	23	22	不明	不明	22	4
		長岡勤労者山岳会		69.01	160501	42	41	37	不明	不明	42	16
		新潟山友会		76.08	160502	10	10	10	不明	不明	9	0
		新潟クライミングクラブ		96.07	160503	15	22	26	不明	不明	27	1
		新潟岳遊塾		05.01	160504	4	4	4	不明	不明	4	0
	みちぐさ山の会		69.07	160701	60	39	53	不明	不明	62	11	
	りんどう岳志山岳会		01.05	160901	29	27	18	不明	不明	24	0	
富山県		団体数			4	4	4			4	2	
		小計	会員数		123	121	124	58	66	124	11	
		富山勤労者山岳会		66.07	170403	30	30	33	23	10	29	0
		富山ハイキングクラブ		78.01	170404	50	50	50	16	34	52	4
		辿山会			170407	3	3	3	2	1	3	0
	三島野スポーツクラブ		99.05	170701	40	38	38	17	21	40	7	
石川県		団体数			7	7	6			7	4	
		小計	会員数		275	259	255	149	106	255	12	
	でんでん虫倶楽部		74.12	180201	9	9	8	7	1	8	0	
脱退		こだま山岳会			180202	7	7	脱退				
		小松ブルーベル山の会			180203	51	52	61	40	21	58	1
		金沢ハイキングクラブ		81.01	180204	110	99	102	46	56	110	7
		チャムラン山の会		80.01	180401	45	44	42	26	16	36	0
		めっこ山岳会		66.10	180701	35	33	28	23	5	27	3
	白山フウロ山岳会		84.10	180702	18	15	14	7	7	16	1	

# 加盟団体一覧表（2021年11月末日 現在）

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	19末 会員数	20末 会員数	21末 会員数	21末 (男性)	21末 (女性)	登山基金 加入者数	登山時報 購読数	
福井県	小計	団体数 会員数		5 72	5 68	5 68	42	26	5 69	0 0	
	あしハイキングクラブ		00.03 190101	22	16	16	9	7	19	0	
	あし山遊会		190102	15	16	16	5	11	16	0	
	ケルン山の会		00.03 190201	13	13	13	12	1	10	0	
	ベルグラ山の会		00.03 190602	13	14	14	12	2	15	0	
	山っ子の会		00.03 190801	9	9	9	4	5	9	0	
長野県	小計	団体数 会員数		14 313	13 288	12 255	173	82	13 258	7 30	
	伊那山仲間		75.01 200102	28	29	31	24	7	19	0	
	大町勤労者山の会		66.08 200103	34	29	26	19	7	26	7	
	駒ヶ根山岳会		66.01 200202	14	14	13	9	4	9	3	
	かざこし山の会		88.03 200204	7	2	2	2	0	2	0	
	クライミングメイト山の子		01.07 200205	11	11	10	9	1	13	3	
	上小山の会		66.01 200301	18	18	23	15	8	22	0	
	佐久アッセントクラブ		75.07 200303	36	37	42	23	19	44	5	
	佐久山の会		66.08 200304	26	24	29	18	11	27	2	
	茅野しらびそ山の会		77.07 200306	11	10	10	5	5	13	0	
	山岳会ロック&ブッシュ		80.07 200308	24	23	19	17	2	21	0	
	まみくとい山の会		68.01 200501	47	44	33	22	11	50	9	
	脱退 山の会ながの		66.01 200502	34	31	脱退					
	松本勤労者山岳会		66.01 200701	18	16	17	10	7	12	1	
	静岡県	小計	団体数 会員数		14 445	14 422	14 378	198	180	14 423	11 58
		伊豆ハイキングクラブ		87.12 210103	50	50	35	13	22	78	4
あさぎり山の会			89.11 210104	71	62	53	21	32	50	7	
静岡勤労者山岳会			66.08 210301	58	53	47	30	17	55	12	
清水勤労者山岳会			66.08 210302	18	17	17	9	8	17	2	
静岡安倍っ子山の会			84.04 210303	30	29	27	14	13	24	14	
裾野麗峰山の会			94.03 210305	11	10	8	5	3	9	0	
沼津勤労者山岳会			85.01 210501	17	16	16	9	7	17	1	
ナチュラルマウンテリングクラブ			00.04 210502	10	10	11	6	5	11	2	
浜松勤労者山岳会			85.04 210604	48	50	45	26	19	45	2	
浜松山の会フレンズ			87.08 210606	13	12	11	8	3	12	0	
ふじ山楽歩山の会			07.12 210609	20	30	31	13	18	21	0	
三島勤労者山岳会			73.01 210701	54	45	40	20	20	46	1	
焼津山の会			79.12 210802	8	8	7	4	3	7	5	
山登歩勤労者山の会			89.01 210803	37	30	30	20	10	31	8	
愛知県		小計	団体数 会員数		21 976	21 913	21 893	476	417	21 861	14 86
	あつた勤労者山岳会		69.03 220104	56	55	48	32	16	49	7	
	おやこ山の会		82.09 220111	5	6	5	2	3	1	0	
	犬山勤労者山の会マップ		85.07 220112	49	54	55	22	33	56	6	
	アリス山の会		97.09 220113	6	5	6	2	4	6	1	
	春日井峠の会		74.06 220201	42	43	46	22	24	44	5	
	かわせみ山楽会		82.04 220202	19	18	15	9	6	15	0	
	じねんじよ山の会		82.07 220303	48	40	43	24	19	45	10	
	スルジェ山の会		220304	34	33	36	18	18	32	7	
	東海山岳会		69.03 220403	32	27	25	20	5	24	1	
	ちんぐるま		87.06 220404	5	5	5	5	0	4	1	
	名古屋山岳同志会		73.05 220501	127	111	105	67	38	112	3	
	名古屋山歩会		74.05 220502	19	18	18	11	7	16	0	
	低い山を楽しむ会		71.11 220503	12	12	12	8	4	8	0	
	名古屋ありんこ山岳会		81.02 220506	31	31	30	18	12	18	0	
	名古屋アルパインスピリッツクラブ		93.02 220511	19	21	22	16	6	20	0	
	ふわく山の会		79.04 220602	126	79	65	31	34	56	9	
	半田ファミリー山の会		81.12 220603	69	70	63	28	35	63	3	
	東三河山ぼ会		84.07 220604	156	151	152	73	79	150	13	
みどり山の会		98.11 220703	32	36	33	7	26	36	6		
若駒山岳会		69.03 220801	20	25	32	18	14	28	0		
山の会「くらら」		96.01 220802	69	73	77	43	34	78	14		
岐阜県	小計	団体数 会員数		7 288	7 278	7 284	164	120	7 283	5 22	
	大垣勤労者山岳会		70.12 230101	55	54	57	34	23	56	13	
	あるばいんKANI		10.04 230102	6	6	7	6	1	7	1	
	岐阜ケルン山岳会		69.04 230201	45	38	42	29	13	46	1	
	多治見勤労者山岳会		230401	49	47	40	20	20	34	4	
	中津川勤労者山岳会		69.05 230501	20	19	18	14	4	18	3	
	瑞浪山の会		74.01 230701	24	22	21	14	7	21	0	
みのハイキングクラブ		97.11 230702	89	92	99	47	52	101			

加盟団体一覧表（2021年11月末日 現在）

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	19末 会員数	20末 会員数	21末 会員数	21末 (男性)	21末 (女性)	労山基金 加入者数	登山時報 購読数	
三重県	小計	団体数 会員数			1 2	1 2			1 1	0 0	
	松阪勤労者山岳会		71.08 240701		2	2	1	1	1	0	
	滋賀県	団体数 会員数		6 207	6 171	6 164	90	74	6 138	1 8	
滋賀県	湖南岳友会		78.01 250201	52	38	33	19	14	7	0	
	滋賀山友会		71.11 250301	71	60	57	29	28	59	0	
	シャクナゲ廻行クラブ		95.05 250302	5	5	5	3	2	5	0	
	ちごゆり山歩会		86.09 250402	17	16	15	8	7	15	0	
	比良雪稜会		79.01 250602	48	43	44	25	19	44	8	
	彷徨倶楽部		01.08 250605	14	9	10	6	4	8	0	
	京都府	団体数 会員数			20 954	20 938	20 927	395	532	20 870	13 138
京都府	乙訓山の会		260102	84	77	77	41	36	62	2	
	京都右京勤労者山岳会		260201	65	69	69	28	41	62	13	
	京都左京勤労者山岳会		68.06 260204	28	28	28	19	9	23	8	
	京都明峯勤労者山岳会		78.02 260207	59	60	58	24	34	56	33	
	京都洛中勤労者山岳会		260208	93	96	93	46	47	95	16	
	WAO亀岡		260209	41	42	39	17	22	39	8	
	チーム クラマガチ		97.04 260210	3	3	3	3	0	3		
	京都伏見山の会		09.05 260212	52	49	51	21	30	51	10	
	樹の根17組		17.06 260213	8	10	11	0	11	11	0	
	丹波勤労者山岳会		83.09 260401	17	17	16	10	6	8		
	西山ハイキングクラブ		86.11 260501	144	135	129	37	92	137	26	
	福知山山の会		98.08 260603	52	41	35	17	18	36	0	
	舞鶴勤労者山岳会		77.05 260701	23	22	22	8	14	22	4	
	ハイキングクラブ舞鶴山遊会		9801 260702	26	28	34	15	19	33	2	
	京都田辺山友会		80.06 260801	27	33	37	13	24	36	3	
	やましな山の会		86.09 260802	105	99	95	46	49	70	7	
	山城・山の会		96.11 260803	24	27	24	7	17	23	0	
	丹後山の会（与謝山の会）		02.10 260804	39	36	40	14	26	40	0	
	らくなん山の会		01.04 260904	61	58	57	25	32	57	6	
	Lantan		19.04 260905	3	8	9	4	5	6	0	
奈良県	団体数 会員数			7 224	8 238	8 225			7 207	2 15	
奈良県	オオヤマレンゲ山の会		02.05 270103	18	18	15	6	9	15	0	
	ジョイ アセット クラブ		13.03 270301	3	3	3	2	1	3		
	山風舎		20.04 270302		5	5	1	4	0	0	
	奈良勤労者山岳会		69.04 270501	106	113	104	59	45	92	7	
	奈良ハイキングクラブ		75.08 270502	75	75	75	35	40	72	8	
	西大和山の会		82.05 270504	14	16	15	5	10	17	0	
	山行人山楽会		11.07 270801	4	4	4	1	3	4	0	
	やまと山遊会		11.07 270802	4	4	4	4	0	4	0	
	和歌山県	団体数 会員数			11 352	11 350	11 347			9 305	5 25
和歌山県	有田山の会		75.08 280101	47	42	42	21	21	33	8	
	紀峰山の会		74.01 280201	69	70	70	41	29	70	6	
	紀北亀足会		95.08 280202	3	3	3	2	1	0		
	さんぽの会		280301	4	4	6	1	5	6	3	
	はしもと山の会		83.05 280601	7	8	8	8	0	6	1	
	ハハコグサトレッキングクラブ		280602	5	5	4	1	3	4	0	
	紀州山友会		74.11 280701	40	40	40	20	20	40	0	
	みちくさハイキングクラブ		79.06 280702	109	109	109	54	55	94	0	
	やまなみハイキングクラブ		280704	3	3	3	2	1	0	0	
	和歌山アルパインクラブ		280801	6	6	6	5	1	6	0	
	わかやまハイキングクラブ		75.04 280802	59	60	56	21	35	46	7	
大阪府	団体数 会員数			55 1215	53 1140	51 1,059			50 1067	24 76	
大阪府	安治川山の会		68.05 290101	20	25	22	9	13	23	2	
	COWAC		75.02 290102	13	13	13	9	4	10	0	
	大阪たつの子勤労者山岳会		72.04 290104	22	20	21	16	5	21	1	
	大阪中郵勤労者山岳会		76.07 290105	7	7	7	6	1	7	1	
	大阪志峰会		290107	21	20	19	13	6	16	7	
	大阪ぼっぽ会		75.12 290108	49	52	51	30	21	40	0	
	勤労者山岳会ひまやま		290109	31	27	20	5	15	23	2	
	大阪勤労者登攀クラブ(OWCC)		83.06 290112	7	5	6	5	1	6	1	
	大阪マウンテンクラブ		92.05 290117	3	3	3	3	0	3	2	
	A・T・C(オール・デション・クライマーズ)		98.02 290118	9	9	9	6	3	8	0	
	大阪スキーハイキングクラブ		01.11 290120	6	7	5	3	2	5	0	
	アウトドア オールラウンダーズ		03.04 290121	10	10	10	5	5	10	1	
	脱退	AIMAクラブ		04.12 290122	5	4	脱退				

加盟団体一覧表（2021年11月末日 現在）

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	19末 会員数	20末 会員数	21末 会員数	21末 (男性)	21末 (女性)	労山基金 加入者数	登山時報 購読数
	北大阪のぼろう会 (KONK)	75.06	290201	21	21	21	12	9	21	0
	きたろうハイキングクラブ	76.03	290202	90	80	70	31	39	69	9
	このはな山の会	77.03	290205	33	32	31	23	8	27	3
	くすのき山遊会	93.04	290207	20	20	18	10	8	18	1
	加島ルーズクライミングクラブ	01.04	290210	10	10	9	4	5	9	0
	山の会カランクルン	01.06	290211	60	59	50	22	28	44	2
	遡行同人 溪游会	03.02	290212	31	29	27	20	7	9	0
	山の会こもれび	04.03	290214	34	33	31	11	20	23	2
脱退	風の子ハイキングクラブ	04.08	290215	10	2	脱退				
	吹田勤労者山岳会		290302	48	49	45	17	28	55	4
	泉州勤労者山岳会		290303	53	54	43	26	17	46	17
	雑木の会	76.04	290306	27	25	26	14	12	26	0
	高槻勤労者山岳会	69.09	290401	33	20	17	9	8	29	2
	豊中勤労者山岳会		290402	135	135	135	67	68	141	2
	山の会 TENSION	03.12	290408	20	20	20	10	10	27	0
	西淀川勤労者山岳会	66.06	290502	42	37	36	22	14	36	6
	虹	10.08	290506	2	2	2	2	0	2	0
	福島勤労者山岳会	71.06	290601	5	6	6	4	2	6	0
	白峰山の会		290605	16	16	16	7	9	16	0
	女性ハイキングクラブ・ハイジ	92.01	290607	11	11	11	0	11	11	1
	なにわこぶしの会	96.07	290609	13	11	7	3	4	7	1
	ハイキングクラブ げんごろう	97.11	290610	22	18	15	4	11	19	0
	ふれんず	99.01	290611	15	15	15	8	7	14	0
	山之会バックス	01.11	290612	9	9	9	7	2	9	0
	ハイキングクラブELF	05.05	290613	14	14	14	6	8	14	1
	ピトンの会	06.03	290614	18	18	15	8	7	15	0
	H. C. teruru	08.05	290615	27	30	32	13	19	31	0
	H. C. モンテス	11.10	290617	16	12	10	5	5	16	0
	H. C. J U K E	12.11	290618	10	10	10	3	7	12	0
	箕面勤労者山岳会		290704	3	3	3	2	1	0	0
	ももんが山岳会		290706	13	13	12	3	9	12	0
	八尾山の会	66.04	290801	23	19	21	9	12	24	0
	山の虫クレマントクラブ	78.12	290804	10	8	8	3	5	8	1
	淀屋橋勤労者山岳会	67.02	290806	21	20	16	8	8	15	3
	山の会くまごろう	96.04	290807	22	19	19	13	6	25	0
	山の会ROCKY	00.03	290808	18	16	14	7	7	13	0
	山の会Monterey	07.05	290809	13	13	12	7	5	13	0
	山の会 ポレポレ	10.05	290810	11	8	6	1	5	11	0
	山の会二十渉	14.04	290811	12	10	10	6	4	10	0
	つりばし		290902	11	11	11	8	3	12	4
兵庫県		団体数		43	42	43	939	984	37	26
	小計	会員数		2024	1967	1,923	939	984	1212	137
	アルペン芦山		300102	45	56	56	25	31	51	0
	尼崎山の会		300103	4	4	4	4	0	1	1
	淡路勤労者山岳会	80.01	300104	2	2	2	0	2	0	0
	伊丹勤労者山岳会	72.08	300105	29	31	26	13	13	24	2
	尼崎ハイキングクラブ	80.07	300106	75	75	75	25	50	19	0
	やまぼうし	82.02	300107	25	24	24	6	18	20	2
	明石山の会	88.01	300109	35	32	36	18	18	18	0
	甲山勤労者山岳会	71.12	300201	73	73	73	37	36	52	9
	神戸カタツムリの会	75.08	300205	72	76	73	30	43	59	10
	神戸勤労者山岳会	71.12	300206	53	48	48	31	17	39	4
	神戸みなと勤労者山岳会		300207	41	45	43	22	21	33	1
	神戸港山の会	76.08	300208	35	44	28	15	13	16	3
	神戸中央山の会	80.09	300209	144	136	136	68	68	119	0
	神戸ハイキングクラブ	81.06	300210	15	10	9	3	6	0	1
	北須磨山の会	87.09	300211	8	7	7	3	4	6	0
	神戸山スキークラブ	12.02	300213	20	20	17	15	2	11	0
	神戸クマーズクラブ	13.06	300214	8	9	11	10	1	11	0
	神戸ハム&ハイキングクラブ	13.06	300215	4	4	2	1	1	0	0
	宝塚山の会	75.01	300301	42	44	46	22	24	26	1
	山岳会ホワイトピーク	77.01	300302	14	21	21	8	13	23	0
	須磨勤労者山岳会		300305	30	31	28	21	7	26	0
	山楽会 七色十色	18.11	300307	12	8	8	4	4	6	0
	但馬勤労者山岳会	75.12	300401	5	5	4	2	2	3	3
	垂水ハイキングクラブ	85.08	300404	18	16	15	5	10	0	0
	垂水勤労者山岳会	76.07	300405	38	37	38	19	19	37	5
	地球クラブ	01.04	300407	2	2	2	1	1	2	0
	高御位山遊会	01.07	300408	95	84	84	39	45	86	23
	西神戸山の会	74.07	300501	62	65	65	30	35	53	17
	西宮北口勤労者山岳会	75.09	300502	32	33	31	10	21	19	13

加盟団体一覧表（2021年11月末日 現在）

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	19末 会員数	20末 会員数	21末 会員数	21末 (男性)	21末 (女性)	労山基金 加入者数	登山時報 購読数
	西宮山岳会	64.02	300503	75	70	70	34	36	59	1
	西宮明昭山の会	75.12	300504	300	300	300	150	150	0	6
	東灘勤労者山岳会	75.09	300603	7	7	7	5	2	7	0
	北摂山の会	00.09	300609	48	49	51	34	17	48	6
	HCはりま	04.02	300610	44	33	30	15	15	29	1
	はりま明姫修験ネット	20.10	300612	12		2	1	1	0	0
	摩耶山友会	74.07	300701	151	150	148	80	68	103	3
	武庫勤労者山岳会	72.07	300702	112	110	117	50	67	84	7
	メラ・ピークKOBÉ	91.04	300703	12	10	8	5	3	9	4
	山の会かじか	73.03	300801	50	55	50	23	27	40	3
	山歩溪山岳会	76.08	300802	109	89	80	40	40	49	6
	山の会アルプ	84.08	300803	28	27	24	7	17	4	3
	山の会ささやま	09.07	300804	30	18	15	8	7	11	2
	ハイキングクラブ レディバード	04.04	300902	8	7	9	0	9	9	0
鳥取県		団体数		2	2	1			2	0
	小計	会員数		32	32	4	3	1	3	0
脱退	鳥取久松山岳会	78.11	310401	16	16	脱退				
	米子勤労者山岳会		310801	16	16	4	3	1	3	0
島根県		団体数		7	6	6			5	2
	小計	会員数		196	199	189	101	88	171	2
	出雲山の会	74.08	320101	14	13	13	6	7	13	1
	エッサッサ山の会	97.12	320102	29	28	23	10	13	26	0
	神名火山の会	06.01	320203	22	22	22	19	3	36	0
	白樺クラブ	05.04	320301	8	7	5	2	3	2	0
	松江アルペンクラブ	74.12	320701	44	48	45	30	15	31	0
	松江ハイキングクラブ	82.04	320702	77	81	81	34	47	63	1
岡山県		団体数		9	9	9			9	5
	小計	会員数		867	851	815	363	452	701	138
	岡山勤労者山岳会	66.12	330101	16	19	22	14	8	19	0
	倉敷勤労者山岳会	70.05	330201	20	18	17	11	6	15	9
	倉敷ハイキング倶楽部	90.06	330202	277	267	238	88	150	250	19
	クラブMONTATA	10.10	330203	8	8	8	6	2	8	0
	山陽カルチャーマウンテンクラブ	99.09	330301	378	384	382	165	217	257	105
	玉野ハイキング同好会	87.03	330402	64	58	48	20	28	52	1
	新見ハイキングクラブ	05.08	330501	33	30	30	15	15	30	0
	ピーク・フレンズ・クラブ	98.09	330601	13	9	11	8	3	11	0
	みまさか山の会	84.08	330701	58	58	59	36	23	59	4
広島県		団体数		11	11	11			10	6
	小計	会員数		270	256	258	127	131	248	36
	安佐岳友クラブ	09.06	340101	5	5	5	3	2	5	1
	呉勤労者山の会	68.01	340201	42	47	42	21	21	38	0
	佐伯山の会	79.01	340301	42	44	46	29	17	47	12
	山岳同人RAIZ	14.03	340304	6	6	7	6	1	7	0
	福山とんど	02.04	340401	4	4	4	2	2	4	0
	桃源郷クラブ	14.03	340402	12	11	12	5	7	12	1
	広島勤労者山の会	83.01	340601	41	27	23	14	9	23	5
	広島勤労者HCやまぼうし	88.05	340602	70	61	59	27	32	59	15
	ひろしま令峰クラブ		340604	9	13	24	6	18	19	0
	県北山の会	93.04	340701	37	36	34	13	21	34	2
	山の会 道	00.09	340801	2	2	2	1	1	0	0
山口県		団体数		3	3	2			3	2
	小計	会員数		86	80	84	22	62	75	6
	登山・ハイキングサークル コンパス	83.02	350201	48	45	44	15	29	46	2
脱退	倶楽部OKB	18.11	350202	10	3	脱退				
	山口県教職員登山サークル「ぼればれ」		350801	28	32	40	7	33	29	4
香川県		団体数		9	9	8			9	8
	小計	会員数		261	266	252	141	111	238	73
	観音寺あけぼの山の会	75.01	360201	43	42	42	27	15	42	26
	観音寺ハイキングクラブ	79.09	360202	25	24	24	6	18	24	3
	丸亀しわく山の会	76.06	360303	54	61	63	38	25	55	12
	善通寺山の会	81.07	360304	55	64	62	34	28	56	13
脱退	坂出ハイキングクラブ	12.04	360305	26	12	脱退				
	山岳同人・五色の峰	16.03	360306	6	11	9	8	1	9	1
	高松勤労者山の会	67.04	360401	22	16	19	11	8	19	7
	高松ハイキングクラブ	72.11	360402	6	4	4	1	3	4	1
	さぬき山歩会	87.06	360403	24	32	29	16	13	29	10

# 加盟団体一覧表（2021年11月末日 現在）

都道府県	団体名	加盟年月	コード番号	19末 会員数	20末 会員数	21末 会員数	21末 (男性)	21末 (女性)	労山基金 加入者数	登山時報 購読数	
徳島県	小計	団体数 会員数		7 217	7 211	7 219	107	112	7 185	6 40	
	阿波あすなる山の会		83.05 370102	32	29	32	16	16	39	3	
	小松島ハイキングクラブ		78.11 370203	30	30	31	15	16	43	5	
	徳島市勤労者山の会		73.11 370401	14	15	19	13	6	19	0	
	徳島ハイキングクラブ		80.01 370402	14	14	14	6	8	12	1	
	健生山の会		87.06 370403	8	10	9	5	4	5	2	
	徳島山岳同人倶楽部		370404	8	7	7	3	4	5	4	
	徳島山と友の会		93.03 370405	111	106	107	49	58	62	25	
高知県	小計	団体数 会員数		3 117	3 103	3 98	43	55	3 86	3 28	
	あるぷハイキングクラブ		78.11 380101	41	31	30	12	18	23	4	
	高知勤労者山岳会		66.07 380203	60	57	52	25	27	46	16	
	かめのこ山の会		87.11 380205	16	15	16	6	10	17	8	
愛媛県	(男女比は便宜上記入) 小計	団体数 会員数		4 57	3 49	3 49	25	24	2 50	3 16	
	南予のぼろう会		74.07 390501	26	25	25	不明	不明	23	1	
	松山勤労者山岳会		71.05 390702	12	10	10	不明	不明	11	4	
	山の子		05.04 390801	12	14	14	不明	不明	16	11	
福岡県	小計	団体数 会員数		27 807	26 741	27 753	354	399	25 742	17 64	
	あしび山の会		69.05 400101	45	36	39	14	25	32	8	
	大川山人会		400103	34	31	34	13	21	35	3	
	大牟田勤労者山岳会		64.01 400104	15	16	16	9	7	16	2	
	大牟田ハイキングクラブ		400105	69	62	67	26	41	67	11	
	あだると山の会		80.09 400107	139	134	127	52	75	132	0	
	奥岳山の会		84.12 400108	5	5	5	3	2	3	4	
	往還倶楽部		400109	2	4	6	4	2	1	1	
	小倉勤労者山岳会		73.03 400204	18	14	14	7	7	11	1	
	R K A C		96.04 400208	57	56	56	37	19	55	5	
	久留米山の会		96.08 400209	27	22	20	14	6	20	1	
	すばる山の会		99.04 400301	19	18	11	4	7	11	0	
	山岳チーム 風はるか		18.03 400303	3	4	4	2	2	4	3	
	新規	山学山遊会		21.10 400304			2	2	0	2	0
	田川かたつわり山の会		95.11 400401	17	15	16	9	7	16	3	
	チーム・アース		14.04 400403	9	7	6	3	3	2	3	
	ピナクル山の会		71.11 400601	49	41	37	23	14	39	0	
	福岡勤労者山岳会		400603	34	42	46	27	19	50	0	
	フェニックスマウンテニアリングチーム		84.12 400610	7	6	6	4	2	7	6	
	福岡想山会		86.11 400611	42	42	44	24	20	45	3	
	山岳冒険倶楽部 星と焚火		03.05 400616	5	6	7	4	3	8	0	
	Back Country Club-ef		11.05 400619	6	7	5	2	3	6	3	
	マップ山の会		65.06 400701	27	27	26	13	13	25	3	
	門司勤労者山岳会		720.1 400703	4	4	2	2	0	0	0	
	みどる山の会		82.11 400706	148	133	147	50	97	149	4	
	M o v e (ムーヴ)		98.05 400707	2	2	2	2	0	1	0	
	ゆるパインクラブ		20.01 400802		6	7	3	4	5	0	
若宮山岳会		06.09 400901	1	1	1	1	0	0	0		
佐賀県	小計	団体数 会員数		2 80	2 80	2 70	39	31	2 75	2 2	
	からつ勤労者山岳会		88.04 410201	30	30	25	15	10	18	1	
	佐賀勤労者山岳会		71.03 410301	50	50	45	24	21	57	1	
長崎県	小計	団体数 会員数		8 270	8 251	8 252	116	136	8 246	6 39	
	オレンジハイキングクラブ		75.12 420103	40	40	42	21	21	38	8	
	長崎あゆみハイキングクラブ		97.04 420104	90	68	60	26	34	68	11	
	佐世保こもれびハイキングクラブ		94.08 420301	5	5	5	1	4	5	1	
	長崎東部勤労者山岳会		66.08 420502	26	25	26	10	16	22	4	
	長崎へバルナ山の会		75.06 420505	15	15	17	9	8	15	3	
	長崎南稜山岳会		79.08 420506	19	19	19	8	11	17	0	
	長崎朝霧山の会		84.06 420511	19	23	26	11	15	26	0	
	長崎カルチャー山の会		03.11 420513	56	56	57	30	27	55	12	
	熊本県	小計	団体数 会員数		6 81	6 79	6 82	36	46	3 36	4 20
天草山の会			84.05 430101	3	3	3	2	1	2	1	
天草アルパインクラブ			88.02 430102	4	4	4	3	1	0	0	
熊本勤労者山岳会			72.06 430201	33	29	30	15	15	20	8	
熊本山遊会			96.12 430203	13	13	13	5	8	0	0	
人吉球磨ハイキングクラブ			01.08 430601	18	18	18	6	12	0	9	
八代勤労者山岳会			68.12 430801	10	12	14	5	9	14	2	

### 加盟団体一覧表（2021年11月末日 現在）

都道府県	団体名		加盟年月	コード番号	19末 会員数	20末 会員数	21末 会員数	21末 (男性)	21末 (女性)	労山基金 加入者数	登山時報 購読数
大分県		団体数			2	2	2			2	2
		小計 会員数			42	47	51	22	29	55	4
		大分勤労者山岳会		440101	30	35	38	17	21	42	2
	大分山歩会		440301	12	12	13	5	8	13	2	
宮崎県		団体数			3	3	3			2	1
		小計 会員数			54	49	47	27	20	44	1
		西都山岳会	99.06	450301	31	29	27	12	15	26	1
		祝子川山岳会	04.10	450601	21	18	18	14	4	18	0
	比叡RCC	11.11	450602	2	2	2	1	1	0	0	
鹿児島県		団体数			3	2	2			1	2
		小計 会員数			100	93	90	38	52	89	34
		鹿児島勤労者山岳会	67.09	460201	63	58	56	27	29	55	27
	山坂達者の会	96.11	460801	35	35	34	11	23	34	7	
沖縄県		団体数			2	2	1			2	0
		小計 会員数			18	24	20	6	14	19	0
	花いかだ コザ			470601	13	19	20	6	14	19	0
脱退	フォレストウォーカー			470602	5	5	脱退				

# 労山システム入力データより

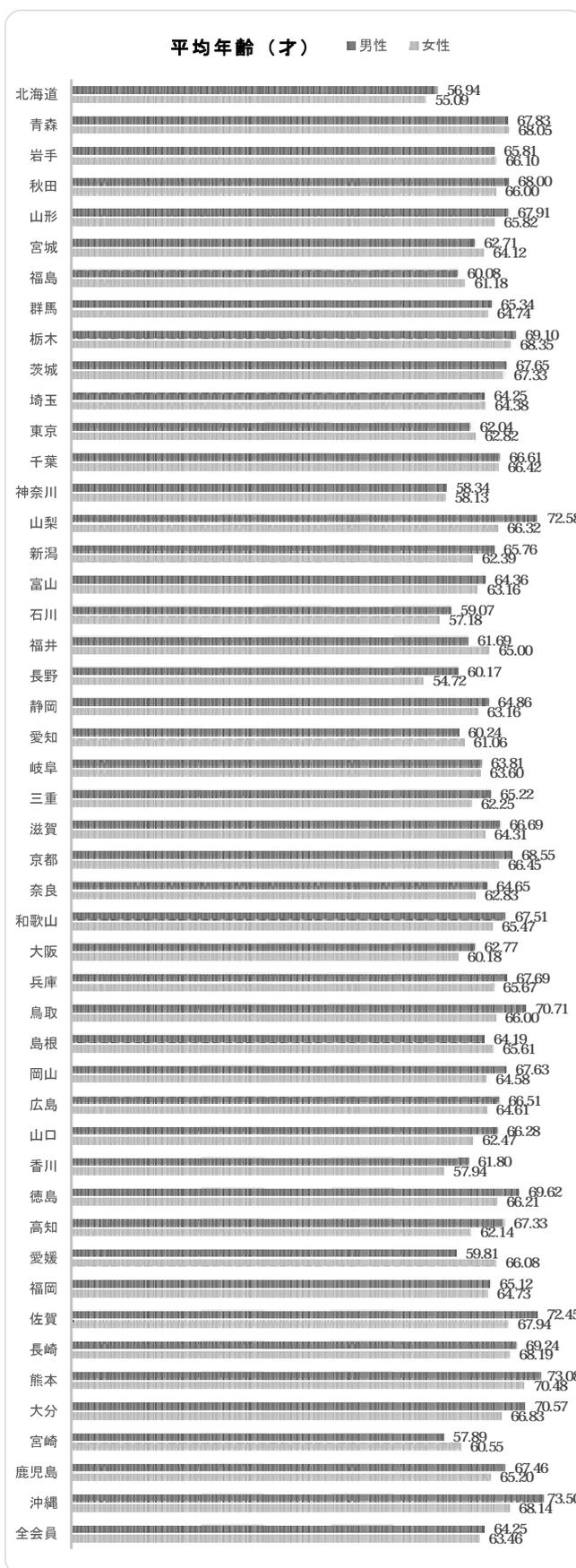
データ数 19397 (2022/2/4)

※除外 = 会員番号5・7・9番代

※除外 = 年齢不明、性別不明、1905年以前生まれ

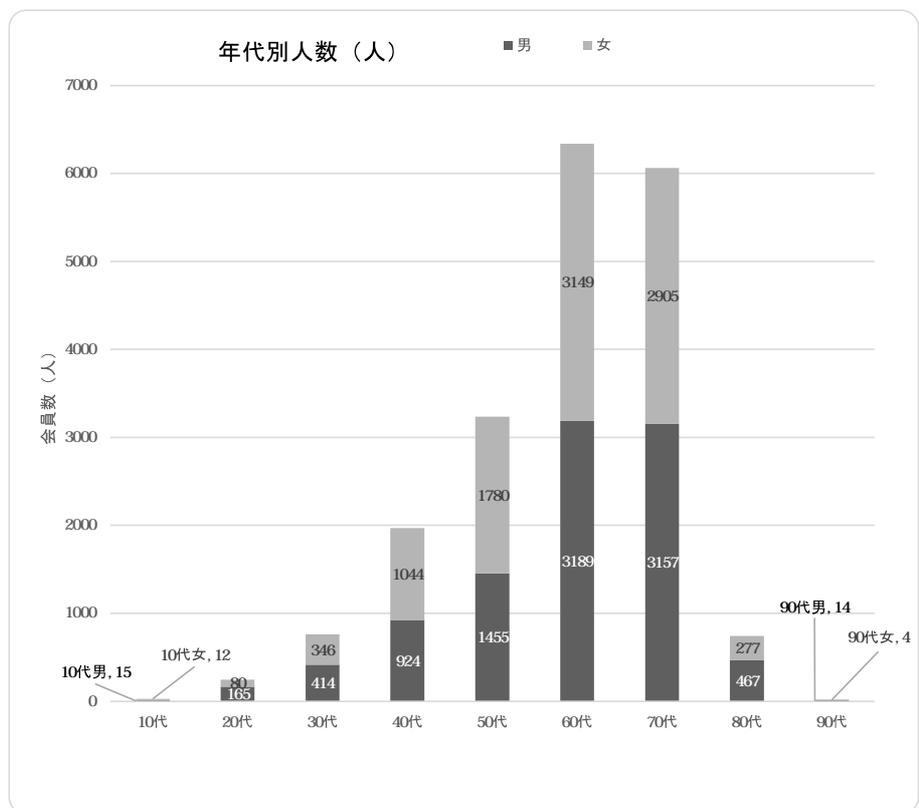
## 平均年齢 (才)

都道府県	男性	女性	全体
北海道	56.94	55.09	56.04
青森	67.83	68.05	67.94
岩手	65.81	66.10	65.97
秋田	68.00	66.00	67.00
山形	67.91	65.82	67.37
宮城	62.71	64.12	63.24
福島	60.08	61.18	60.47
群馬	65.34	64.74	65.04
栃木	69.10	68.35	68.68
茨城	67.65	67.33	67.50
埼玉	64.25	64.38	64.31
東京	62.04	62.82	62.39
千葉	66.61	66.42	66.51
神奈川	58.34	58.13	58.24
山梨	72.58	66.32	69.23
新潟	65.76	62.39	64.42
富山	64.36	63.16	63.73
石川	59.07	57.18	58.27
福井	61.69	65.00	62.92
長野	60.17	54.72	58.11
静岡	64.86	63.16	64.08
愛知	60.24	61.06	60.64
岐阜	63.81	63.60	63.72
三重	65.22	62.25	64.31
滋賀	66.69	64.31	65.57
京都	68.55	66.45	67.34
奈良	64.65	62.83	63.73
和歌山	67.51	65.47	66.46
大阪	62.77	60.18	61.50
兵庫	67.69	65.67	66.61
鳥取	70.71	66.00	68.06
島根	64.19	65.61	64.83
岡山	67.63	64.58	65.94
広島	66.51	64.61	65.56
山口	66.28	62.47	63.33
香川	61.80	57.94	60.11
徳島	69.62	66.21	67.80
高知	67.33	62.14	64.43
愛媛	59.81	66.08	62.83
福岡	65.12	64.73	64.92
佐賀	72.45	67.94	70.46
長崎	69.24	68.19	68.67
熊本	73.08	70.48	71.60
大分	70.57	66.83	68.29
宮崎	57.89	60.55	59.00
鹿児島	67.46	65.20	66.15
沖縄	73.50	68.14	69.75
全会員	64.25	63.46	63.86



年代別人数（人）

年代	男	女
10代	15	12
20代	165	80
30代	414	346
40代	924	1044
50代	1455	1780
60代	3189	3149
70代	3157	2905
80代	467	277
90代	14	4
合計	9,800	9,597



1931年以前の生誕会員は23名（2022年1月1日までに確認）

イニシャル	年齢	性別	団体	連盟
			西淀川勤労者山岳会	大阪
			武庫勤労者山岳会	兵庫
			アルペン芦山	兵庫
			甲山勤労者山岳会	兵庫
			武庫勤労者山岳会	兵庫
			徳島山と友の会	徳島
			南予のぼろう会	愛媛
			玉野ハイキング同好会	岡山
			西宮明昭山の会	兵庫
			大田ハイキングクラブ	東京
			練馬山の会	東京
			わかやまハイキングクラブ	和歌山
			西山ハイキングクラブ	京都
			長岡勤労者山岳会	新潟
			ぶなの会	東京
			徳島山と友の会	徳島
			みどる山の会	福岡
			山陽加チャ-マウンテンクラブ	岡山
			佐賀勤労者山岳会	佐賀
			摩耶山友会	兵庫
			西宮明昭山の会	兵庫
			尼崎ハイキングクラブ	兵庫
			阿波あすなろ山の会	徳島

5年に一度の会員証更新にさいし、23名の90歳以上の会員を確認しました。人生の先輩である方々が山の仲間として在籍していることは、全ての労山会員の励みとなります。

これからも安全な山歩きで、ご健康であることを祈念いたします。

## 栄誉功労賞贈呈一覧

決議・決定集（冊子）を参照ください。

## 2021年度 無事故報奨金一覧

No.	地方連盟	団体ID	団体名称	報奨金金額
1	道央地区	011402	同人 ラリーグラス	7,180
2	道央地区	011603	ハイキング ネットワークこだま倶楽部	1,970
3	道北地区	012101	旭川勤労者山岳会	7,240
4	道北地区	012103	オホーツク山の会	300
5	青森県	020301	白神・十二湖ハイキングクラブ	500
6	岩手県	030103	いわて生協山の会	4,900
7	岩手県	030601	花巻山友会	4,330
8	岩手県	030702	盛岡山友会	35,780
9	山形県	050701	やまがた山歩会	4,900
10	福島県	070601	福島勤労者山の会	1,300
11	福島県	070605	フィエスタの谷	8,600
12	群馬県	080202	桐生勤労者山岳会	1,400
13	群馬県	080203	甘楽町山の会	5,300
14	栃木県	090102	宇都宮山の会	1,400
15	栃木県	090201	上三川ハイキングクラブ	2,900
16	栃木県	090401	栃木岳人クラブ	5,000
17	栃木県	090701	南那須山楽会	1,800
18	栃木県	090901	労山 かぬま	1,000
19	茨城県	100102	笠間おちこち山の会	2,800
20	茨城県	100202	古河青峰山の会	3,700
21	茨城県	100405	チーム やまや	1,600
22	埼玉県	110102	あすなろ山岳会	600
23	埼玉県	110103	浦和くまざさ山岳会	4,700
24	埼玉県	110207	ハイキングクラブ上里	2,000
25	埼玉県	110301	山の子倶楽部	2,700
26	埼玉県	110401	椽山岳会	2,700
27	埼玉県	110502	日進山岳会	8,100
28	埼玉県	110607	ハイジアルペンクラブ	10,450
29	埼玉県	110611	パル・ブランチ	2,200
30	埼玉県	110802	わらび山の会	12,500
31	東京都	120102	江戸川山の会	6,400
32	東京都	120112	神楽坂アルパインクラブ	10,000
33	東京都	120202	渓嶺会	7,100
34	東京都	120203	光陽山の会	1,200
35	東京都	120208	ぐるうぶ山人	11,770
36	東京都	120218	C・C"昴"	3,000
37	東京都	120304	新宿山の会	2,000
38	東京都	120314	世田谷山ぞくの会	1,600
39	東京都	120324	山岳同いかわせみ	800
40	東京都	120334	C l i m b i n g N A K A M A	2,000
41	東京都	120327	日本ロープレスキュー協会	2,000
42	東京都	120402	登嶺会	1,200
43	東京都	120403	東京ろうあ者山の会	1,700
44	東京都	120412	田端雪稜山岳会	6,000
45	東京都	120418	東京港区ハイキングクラブ	1,190
46	東京都	120438	T e a m 悠 (はるか)	1,100

No.	地方連盟	団体ID	団体名称	報奨金金額
47	東京都	120506	東京農工大学ワグダ-フォーゲル部	13,700
48	東京都	120601	好好山の会	6,600
49	東京都	120611	ハイキングクラブ ジャンダルム	2,140
50	東京都	120617	ポ-ラスター山岳会	500
51	東京都	120702	モンテローザ山の会	10,100
52	東京都	120707	民医連東京共済山の会	4,800
53	東京都	120708	むさしの山の会	2,600
54	東京都	120713	無想・転生	1,600
55	東京都	120810	山の会ふみあと	3,300
56	東京都	120813	山の仲間「山風」	1,000
57	東京都	120904	わたすげハイキングクラブ	1,900
58	千葉県	130201	君津ケルン山の会	5,200
59	千葉県	130803	千葉民医連山を歩こう会	900
60	神奈川県	140102	小田原ナーゲル山の会	5,000
61	神奈川県	140809	山ブキの会	1,500
62	新潟県	160101	糸魚川勤労者山岳会	13,280
63	新潟県	160501	長岡勤労者山岳会	10,280
64	新潟県	160502	新潟山友会	3,000
65	新潟県	160504	新潟岳遊塾	1,600
66	富山県	170701	三島野スポーツクラブ	5,030
67	福井県	190201	ケルン山の会	1,700
68	福井県	190801	山っ子の会	1,900
69	長野県	200204	かざこし山の会	2,000
70	静岡県	210303	静岡安倍っ子山の会	6,400
71	静岡県	210606	浜松山の会フレンズ	7,100
72	静岡県	210802	焼津山の会	3,800
73	愛知県	220111	おやこ山の会	2,500
74	愛知県	220113	アリス山の会	3,200
75	愛知県	220404	ちんぐるま	1,400
76	愛知県	220502	名古屋山歩会	7,500
77	愛知県	220503	低い山を楽しむ会	1,600
78	岐阜県	230102	あるばいんKANI	3,700
79	岐阜県	230501	中津川勤労者山岳会	6,900
80	三重県	240701	松阪勤労者山岳会	300
81	滋賀県	250302	シャクナゲ溯行クラブ	3,000
82	滋賀県	250402	ちごゆり山歩会	3,400
83	京都府	260210	チーム クラマガチ	900
84	京都府	260401	丹波勤労者山岳会	2,200
85	京都府	260701	舞鶴勤労者山岳会	5,700
86	京都府	260702	ハイキングクラブ 舞鶴山遊会	8,460
87	奈良県	270103	オオヤマレンゲ山の会	2,000
88	奈良県	270801	山行人山楽会	710
89	和歌山県	280601	はしもと山の会	1,200
90	和歌山県	280801	和歌山アルパインクラブ	1,200
91	大阪府	290102	C O W A C	4,500
92	大阪府	290105	大阪中央郵便局勤労者山岳会	2,000
93	大阪府	290112	OWCC大阪勤労者登攀クラブ	5,100

No.	地方連盟	団体ID	団体名称	報奨金金額
94	大阪府	290117	大阪マウンテンクラブ	3,000
95	大阪府	290120	大阪スキ-ハイキングクラブ	2,800
96	大阪府	290121	アウトドアオールラウンダーズ	6,000
97	大阪府	290506	虹	600
98	大阪府	290611	ふれんず	10,700
99	大阪府	290613	ハイキングクラブ E L F	5,500
100	大阪府	290801	八尾山の会	5,800
101	大阪府	290808	山の会 R o c k y	7,800
102	大阪府	290809	山の会 Monterey	4,400
103	大阪府	290902	つりばし	3,500
104	兵庫県	300103	尼崎山の会	1,200
105	兵庫県	300211	北須磨山の会	900
106	兵庫県	300301	宝塚山の会	12,300
107	兵庫県	300502	西宮北口勤労者山岳会	3,300
108	兵庫県	300804	山の会 ささやま	4,760
109	島根県	320101	出雲山の会	1,300
110	島根県	320102	エッサッサ山の会	3,700
111	島根県	320203	神名火山の会	7,500
112	島根県	320301	白樺クラブ	600
113	岡山県	330501	新見ハイキングクラブ	10,700
114	岡山県	330601	P F Cピーク・フレンズ・クラブ	4,800
115	広島県	340401	福山とんど	400
116	香川県	360202	観音寺ハイキングクラブ	3,500
117	香川県	360401	高松勤労者山の会	8,050
118	香川県	360402	高松ハイキングクラブ	800
119	香川県	360403	さぬき山歩会	11,010
120	徳島県	370401	徳島市勤労者山の会	4,590
121	徳島県	370403	健生山の会	1,000
122	徳島県	370404	徳島山岳同人倶楽部	1,840
123	高知県	380205	かめのご山の会	4,320
124	愛媛県	390501	南予のぼろう会	2,300
125	福岡県	400108	奥岳山の会	2,800
126	福岡県	400204	小倉勤労者山岳会	3,800
127	福岡県	400401	田川かたつむり山の会	4,800
128	長崎県	420103	オレンジハイキングクラブ	7,210
129	長崎県	420505	長崎へバルナ山の会	3,000
130	長崎県	420506	長崎南稜山岳会	2,900
131	熊本県	430101	天草山の会	600
132	熊本県	430801	八代勤労者山岳会	2,870
133	鹿児島県	460801	山坂達者の会	8,000
134	沖縄県	470601	花いかだ コザ	5,700
134団体				573,960

【リニア署名集計一覧表】

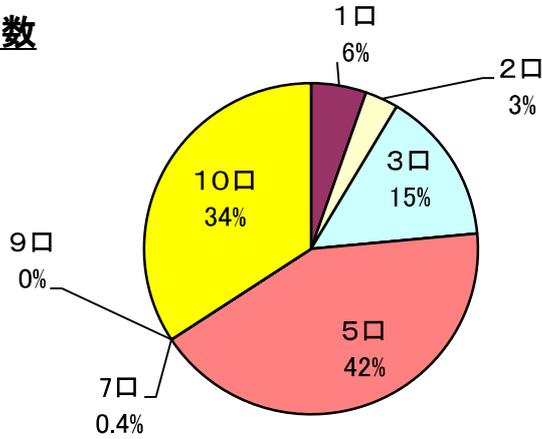
2020年2021年

地方連盟	12月累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
北海道連盟 (3地区)	10													10
青森県連	126													126
秋田県連	0													0
山形県連	0													0
岩手県連	167													167
宮城県連	60													60
福島県連	30													30
群馬県連	72													72
栃木県連	203													203
茨城県連	0													0
埼玉県連	802						20					10		832
東京都連盟	1568												10	1578
千葉県連	451													451
神奈川県連	314													314
山梨県連	0													0
長野県連	0													0
新潟県連	0													0
富山県連	0													0
石川県連	0													0
福井県連	0													0
静岡県連	3260	2										277		3539
愛知県連	169						30							199
岐阜県連	65													65
三重県連	0													0
滋賀県連	351													351
京都府連盟	1403		43						93					1539
奈良県連	176								1			18		195
和歌山県連	208								10					218
大阪府連盟	1922												10	1932
兵庫県連	1054													1054
鳥取県連	0													0
島根県連	108													108
岡山県連	56													56
広島県連	129													129
山口県連	980		12											992
香川県連	70													70
徳島県連	20													20
高知県連	44													44
愛媛県連	0													0
福岡県連	118													118
佐賀県連	0													0
大分県連	30													30
長崎県連	61													61
熊本県連	30													30
宮崎県連	17													17
鹿児島県連	56													56
沖縄県連	0													0
事務局 (全国連盟)	1416	12	10	160	145	24	182	60	9	80	38			2136
合計	15546	14	65	160	145	24	232	60	113	80	38	305	20	16802

# 労山基金 <登録口数と交付件数および交付金額>

2021年12月31日 労山基金交付金データより

## 交付件数



## 交付件数／交付人数

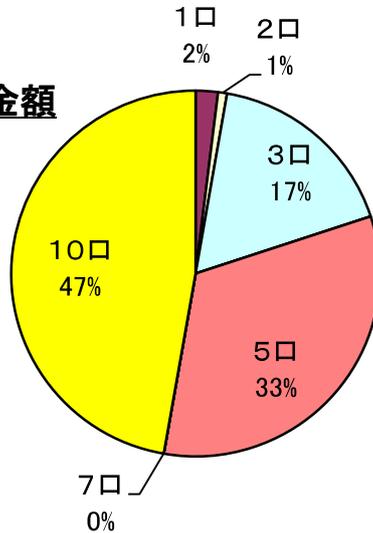
口数	交付件数	件数の比率	交付人数
0口	0	0.0%	0
1口	10	5.4%	10
2口	6	3.2%	6
3口	28	15.1%	29
4口	0	0.0%	0
5口	79	42.5%	79
6口	0	0.0%	0
7口	0	0.0%	0
8口	0	0.0%	0
9口	0	0.0%	0
10口	64	34.4%	64
計	186		188

(重複あり)

## 交付金額

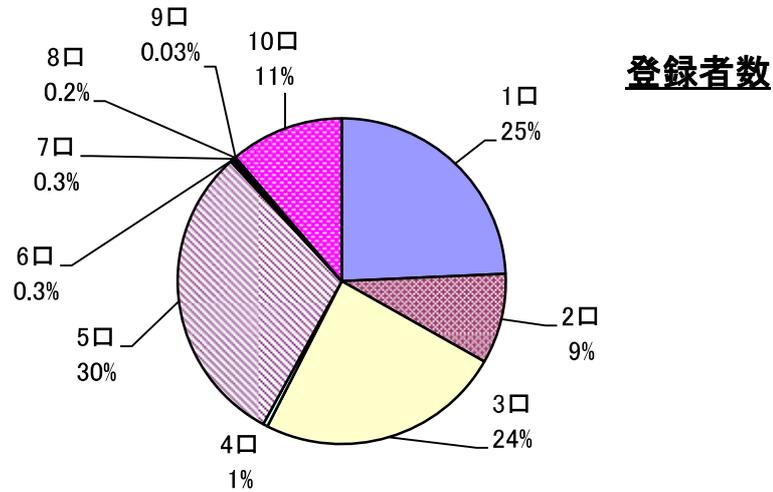
口数	交付金額	金額の比率
0口	0	0.0%
1口	482,250	1.9%
2口	202,000	0.8%
3口	4,264,600	17.2%
4口	0	0.0%
5口	8,151,425	32.8%
6口	0	0.0%
7口	0	0.0%
8口	0	0.0%
9口	0	0.0%
10口	11,724,910	47.2%
計	24,825,185	

## 交付金額



# 労山基金 <2021年 登録口数と登録者数および寄付金額>

2021年12月31日 労山基金・寄付金データより



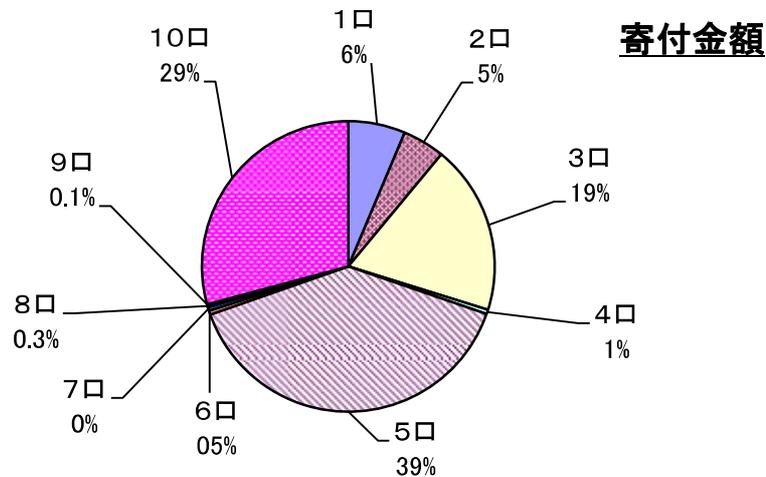
**登録件数** 15992人

口数	登録者数	比率
1口	3,883	24.3%
2口	1,431	8.9%
3口	3,878	24.2%
4口	74	0.5%
5口	4,831	30.2%
6口	44	0.3%
7口	36	0.2%
8口	22	0.1%
9口	2	0.0%
10口	1,791	11.2%
計	15,992	

**寄付金額** 61,034,400円

口数	寄付金額	比率
1口	3,840,900	6.3%
2口	2,841,800	4.7%
3口	11,528,400	18.9%
4口	296,000	0.5%
5口	23,994,700	39.3%
6口	264,000	0.4%
7口	250,600	0.4%
8口	176,000	0.3%
9口	18,000	0.03%
10口	17,824,000	29.2%
計	61,034,400	

※脱退会を含む



\*寄付金額のグラフは、月割りの新規登録の場合も定額計算となっています。

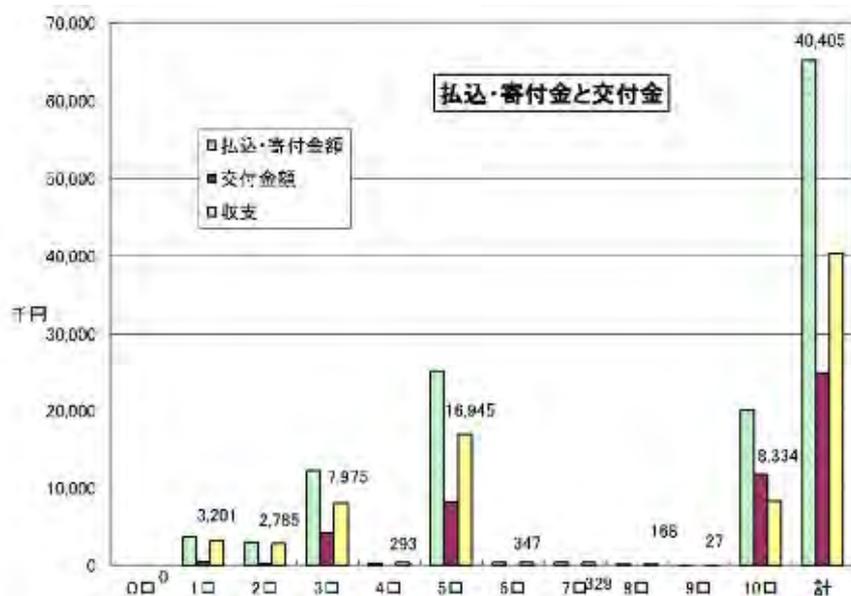
### 労山基金 <口座ごとの寄付金額と交付金額>

2021年12月31日労山基金・寄付金及び交付金データより

(円)

口座	払込・寄付金額	交付金額	収支
0口	0	0	0
1口	3,683,700	482,250	3,201,450
2口	2,987,400	202,000	2,785,400
3口	12,239,300	4,264,600	7,974,700
4口	293,000	0	293,000
5口	25,096,700	8,151,425	16,945,275
6口	347,000	0	347,000
7口	329,000	0	329,000
8口	168,000	0	168,000
9口	27,000	0	27,000
10口	20,059,000	11,724,910	8,334,090
計	65,230,100	24,825,185	40,404,915

※寄付金額は2020年度の申込みから算出



## 交付金額の分析

2021年12月31日 労山基金・交付金データより

山行形態	無雪期登山	積雪期登山	登攀	冬季登攀	沢登り	氷瀑	人工壁	山スキー・スノーボード	海外登山	海外トレッキング・スキー	訓練	フリークライミング	その他	計
救助・捜索 交付金額	206,760	0	0	0	23,425	0	0	0	0	0	0	0	0	230,185
救助捜索交付の比率	90%	0%	0%	0%	10%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
救助捜索交付の件数と人数	3件3人	-	-	-	2件2人	-	-	-	-	-	-	-	-	5件5人
救助捜索交付の人数の比率	60%	0%	11%	0%	40%	0%	0%	11%	11%	11%	11%	0%	0%	
入院 交付金額	6,228,200	906,800	3,306,400	198,000	2,847,710	200,000	1,524,400	2,182,000	0	0	8,000	612,000	0	18,013,510
入院交付の比率	35%	5%	18%	1%	16%	1%	8%	12%	0%	0%	0%	3%	0%	
入院交付の件数と人数	82件83人	10件11人	33件33人	2件2人	21件21人	1件1人	13件13人	14件14人	-	-	1件1人	3件3人	-	180件182人
入院交付の人数の比率	46%	6%	18%	1%	11%	1%	7%	8%	0%	0%	1%	2%	0%	
合計 交付金額	6,434,960	906,800	3,306,400	198,000	2,871,135	200,000	1,524,400	2,182,000	0	0	8,000	612,000	0	18,243,695
の比率	35%	5%	18%	1%	16%	1%	8%	12%	0%	0%	0%	3%	0%	

※交付特典額・団体交付額を含まない  
※死亡交付を含まない

### 交付総額

交付事故件数	交付総人数	交付総金額
186	188	24,825,185

### うち公開山行(見舞金)

件数	人数	金額
0	0	0

### うち、死亡・行方不明の交付分析

死亡・行方不明の件数		
交付事故件数	交付人数	交付総額
6	6	6,806,760

※救助捜索費・特典交付を含む

### 救助・捜索交付

件数	人数	金額
5	5	230,185

### 団体交付

払込金	交付金
92団体	3件
831,000	20,600

### 死亡・行方不明の救助・捜索交付

件数	人数	金額
3	3	206,760

### 入院交付

件数	人数	金額
180	182	18,013,510

### 死亡交付

件数	人数	金額
6	6	6,600,000

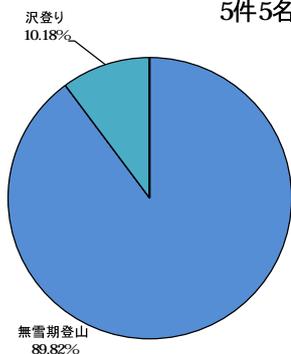
※特典交付を含む

### 交付の特典

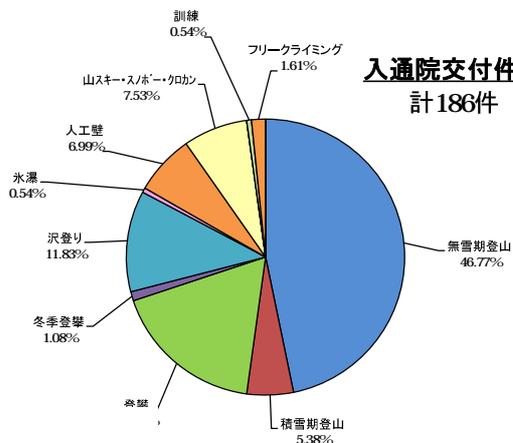
件数	人数	金額
25	26	3,831,200

※救助・捜索交付なし。通常交付との重複あり

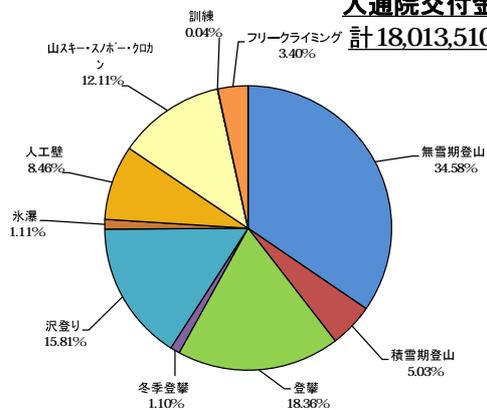
**救助・搜索交付金額**  
5件5名 230,185円



**入通院交付件数**  
計186件



**入通院交付金額**  
計18,013,510円



## 2021年度 事故の概況

事故一報（2021年1月1日～12月31日）より

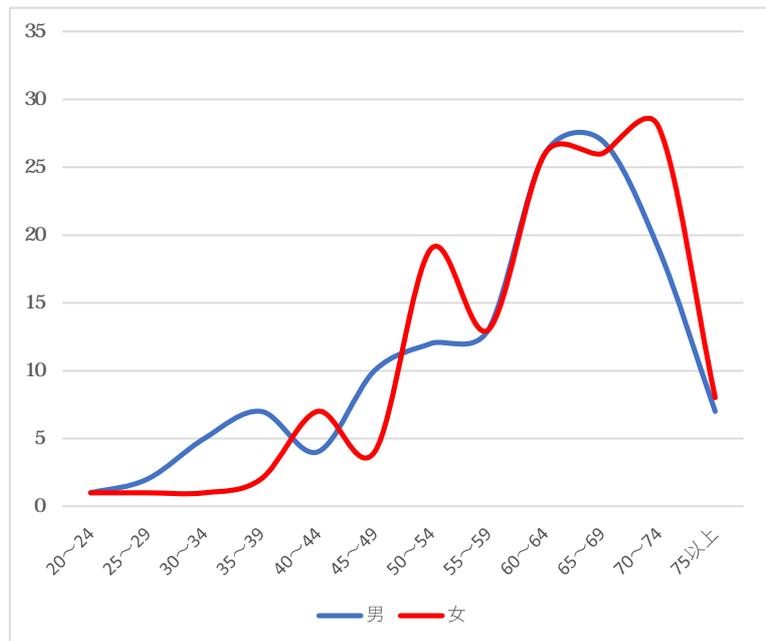
### 1. 過去10年間の事故の推移

年	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
事故者数	306	307	316	288	299	312	313	330	239	269
死亡行方不明	10	14	10	12	8	6	10	4	5	4



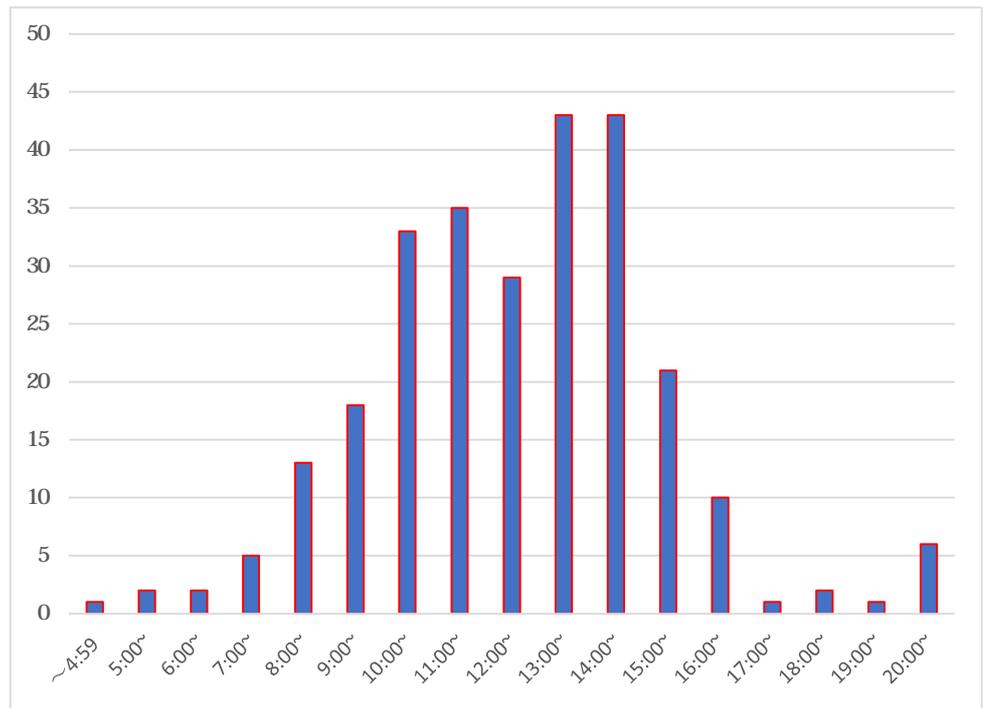
## 2.年代別・男女別事故者の状況

年代	男	女	小計
20～24	1	1	2
25～29	2	1	3
30～34	5	1	6
35～39	7	2	9
40～44	4	7	11
45～49	10	4	14
50～54	12	19	31
55～59	13	13	26
60～64	26	26	52
65～69	27	26	53
70～74	19	28	47
75以上	7	8	15
合計	133	136	269



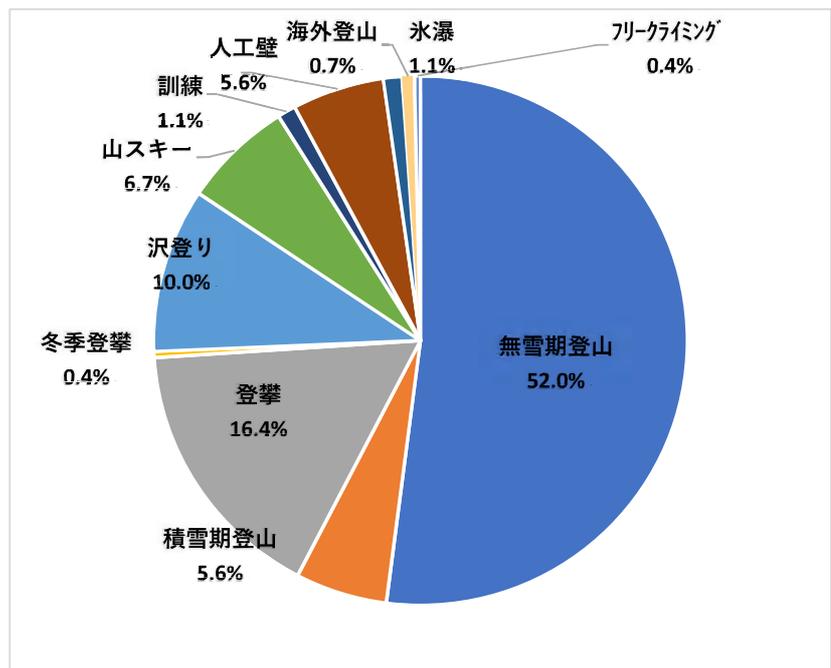
### 3.時間帯別事故者の状況

時間帯	事故者数
～4:59	1
5:00～	2
6:00～	2
7:00～	5
8:00～	13
9:00～	18
10:00～	33
11:00～	35
12:00～	29
13:00～	43
14:00～	43
15:00～	21
16:00～	10
17:00～	1
18:00～	2
19:00～	1
20:00～	6
未記入	4
	269



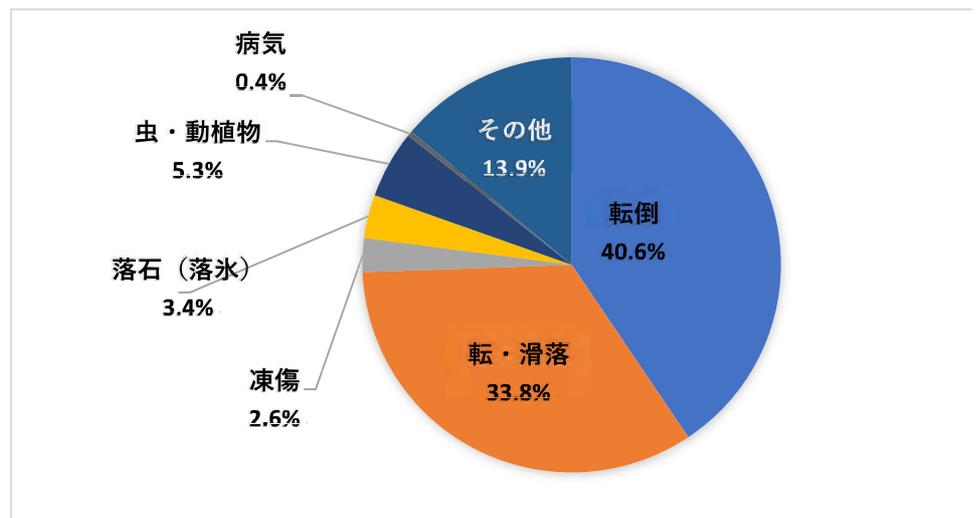
#### 4.形態別事故者の状況

山行状態	事故者数
無雪期登山	140
積雪期登山	15
登攀	44
冬季登攀	1
沢登り	27
山スキー	18
訓練	3
人工壁	15
氷瀑	3
海外登山	2
フリークライミング	1
合計	269



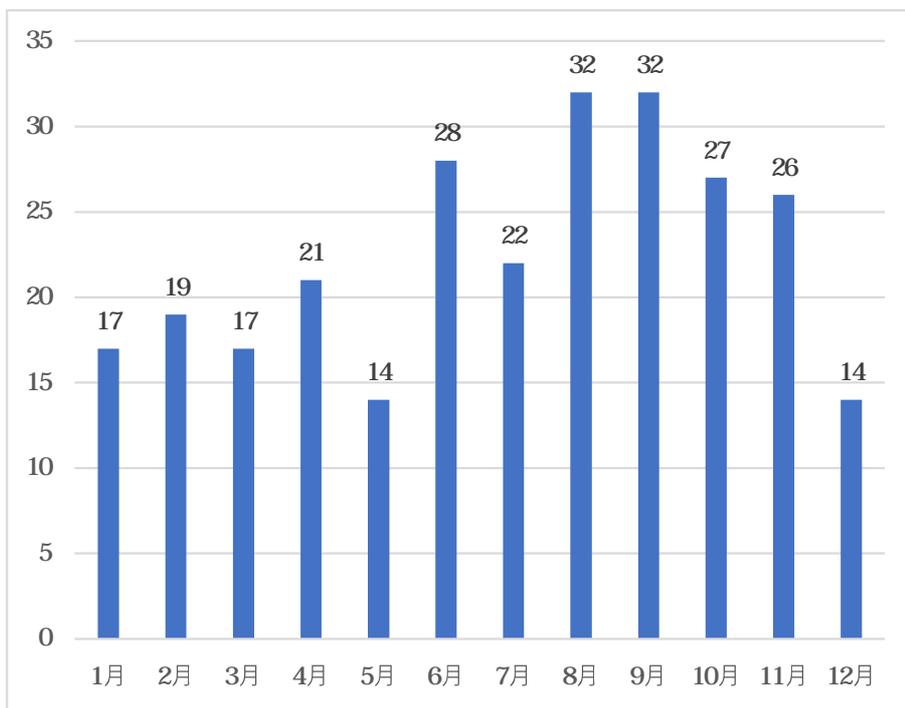
## 5.原因別事故の状況

原因名	事故者数
転倒	108
転・滑落	90
凍傷	7
落石（落水）	9
虫・動植物	14
病気	1
その他	37
未記入	3
合計	269



## 6.月間別事故の状況

月	事故者数
1月	17
2月	19
3月	17
4月	21
5月	14
6月	28
7月	22
8月	32
9月	32
10月	27
11月	26
12月	14
合計	269



## 7.連盟別事故者数

連盟名	事故者数	連盟名	事故者数	連盟名	事故者数
東京都	<b>44</b> ①	千葉県	<b>5</b>	滋賀県	<b>2</b>
2393	1.84%	657	0.76%	164	1.22%
兵庫県	<b>28</b>	岡山県	<b>5</b>	徳島県	<b>2</b>
1923	1.46%	815	0.61%	219	0.91%
道央地区	<b>23</b>	宮城県	<b>5</b>	新潟県	<b>2</b>
732	3.14%	135	3.70%	249	0.80%
埼玉県	<b>21</b>	鹿児島県	<b>5</b>	茨城県	<b>1</b>
620	3.39%	90	5.56%	140	0.71%
長崎県	<b>11</b> ①	石川県	<b>5</b>	道東地区	<b>1</b>
252	4.37%	255	1.96%	66	1.52%
神奈川県	<b>16</b>	静岡県	<b>4</b>	島根県	<b>1</b>
520	3.08%	378	1.06%	189	0.53%
京都府	<b>15</b>	岐阜県	<b>4</b>	愛媛県	<b>1</b>
927	1.62%	284	1.41%	49	2.04%
愛知県	<b>14</b>	岩手県	<b>3</b>	青森県	<b>1</b>
893	1.57%	252	1.19%	162	0.62%
群馬県	<b>10</b>	富山県	<b>2</b>	山口県	<b>1</b>
336	2.98%	124	1.61%	84	1.19%
大阪府	<b>8</b>	和歌山県	<b>2</b> ①	佐賀県	<b>1</b>
1059	0.76%	347	0.58%	70	1.43%
福岡県	<b>7</b>	香川県	<b>2</b>	高知県	<b>1</b>
753	0.93%	252	0.79%	98	1.02%
広島県	<b>6</b>	奈良県	<b>2</b>		
258	2.33%	225	0.89%		
長野県	<b>5</b>	栃木県	<b>2</b>		
255	1.96%	372	0.54%		
				合計	<b>577</b>
				17106	3.37%

# 第35期 日本勤労者山岳連盟 役員

2022年2月20日 確定

役 職	氏 名	地方連盟	所 属 団 体
会 長	浦添 嘉徳	東 京	石神井山の会
	今村 正一	鹿児島	鹿児島勤労者山岳会
副会長	渡邊 健治	岩 手	盛岡山友会
理 事 長	川嶋 高志	東 京	神楽坂アルパインクラブ
副理事長 ( 4 )	石川 昌	千 葉	船橋勤労者山の会
	臼井 邦徳	東 京	溪嶺会
	久保 典子	埼 玉	新座山の会
	今野 善伸	栃 木	野木山想会
事務局長	小池 藍	東 京	ポレポレ倶楽部山の子
理 事 ( 20 )	赤間 弘記	宮 城	朋友会
	浅瀬 和人	石 川	めっこ山岳会
	阿部 哲也	香 川	さぬき山歩会
	石川 友好	千 葉	船橋勤労者山の会
	大和田 英子	東 京	神楽坂アルパインクラブ
	佐藤 久子	埼 玉	三郷山の会
	三瓶 健	神奈川	山岳素行童人メーグリ家
	清野 嘉樹	青 森	弘前勤労者山岳会
	田上 千俊	東 京	八王子おおるり山の会
	竹本 幸造	静 岡	静岡安倍っ子山の会
	新田 尚広	東 京	八王子おおるり山の会
	野々脇 千沙	兵 庫	神戸中央山の会
	三代 一宏	島 根	松江アルペンクラブ
	武笠 真次	埼 玉	わらび山の会
	八木澤 昌通	栃 木	宇都宮ハイキングクラブ
	山本 尚徳	千 葉	かがりび山の会
	山本 裕之	道 央	札幌北稜クラブ
	吉川 幸一	愛 知	名古屋山岳同志会
	吉永 直樹	福 岡	山岳チーム 風はるか
	監 事 ( 2 )	田村 廣史	東 京
渡辺 三男		神奈川	相模アルパインクラブ



全国登山学校担当者交流会（兵庫県姫路市・雪彦山地蔵岳東稜）



若手クライミング講習会（長野県川上村・金峰山荘前）



〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24 日本勤労者山岳連盟  
電話 03-3260-6331 FAX 03-3235-4324  
E-mail [jwaf@jwaf.jp](mailto:jwaf@jwaf.jp) ホームページ [www.jwaf.jp](http://www.jwaf.jp)



JWAF